

美祢市
総合計画策定のためのアンケート調査
報告書

令和6年2月

美祢市

目次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 抽出方法	1
4 調査方法	1
5 調査時期	1
6 回収結果	1
7 数値等の基本的な取扱いについて	1
8 標本誤差	2
アンケート結果	4
1 回答者の属性	4
2 住みよさ	11
3 居住意向	15
4 暮らし続けるために特に必要なこと	18
5 美祿市の自慢(良い所)と不満(悪い所)	21
6 現在の「満足度」と、今後の「重要度」	27
7 観光や産業振興のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと	58
8 健康や福祉の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと	62
9 生活環境や安全安心の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと	66
10 子育てや学校教育の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと	70
11 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには	76
12 より良い行財政運営のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと	78
13 人口減少や少子高齢化があなたの生活に特に関係するもの	80
14 どの程度幸せですか?	82
15 「幸せ」であるために、特に重要だと思うこと	87
16 「幸せ」をさらに高めるために、今足りていない(高めたい)と思うこと	89
17 参加している(参加したことがある)活動	91
18 市民活動や協働でのまちづくりに参加しやすくなるためには	93
19 市民の意見の反映	95
20 市民の意見の反映のために力を入れるべきこと	96
21 市政に関する情報の入手方法	98
22 広報紙やホームページなどの活用程度	100
23 入手したい情報の分野	101
24 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用	103
25 デジタル化の取組で期待すること	105

調査の概要

1 調査の目的

美祢市では、現在、「第二次美祢市総合計画」により市政を推進しています。この第二次総合計画の前期基本計画が令和6年度をもって5年の計画期間を終えるため、その点検・評価をしながら、令和7年度からはじまる後期基本計画の策定作業を進めています。

この調査は、今後のまちづくりの方向性や課題を検討する上での貴重な資料とさせていただくことを目的としています。

2 調査対象

美祢市内にお住まいの18歳以上の方

3 抽出方法

無作為抽出

4 調査方法

郵送による調査票の配布・回収、及び Web 回答

5 調査時期

令和5年9～10月

6 回収結果

配布数 3,000 (名宛人不在で帰ってきたもの 6)

回収数 1,240 (Web 回答 188)

回収率 41.4%

7 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率は全て百分率(%)で表し、少数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数又は該当者数)
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各界の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー(選択肢)の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。
- ・本文中の“[”内は[アンケートの回答項目]、“[”内は[アンケートの回答項目を複数あわせて表示したもの]となります。

8 標本誤差

統計調査のなかで、調べたい対象全体を調べる（悉皆調査）のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を**標本調査**といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する**標本誤差**というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。

標本誤差は、無作為標本調査による**推計結果値が真の値からどのくらい離れているかの幅**を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約95パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法（無作為抽出の方法という意味）や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響を受けますが、最も関連性を持つのが「**標本数の大きさ**」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標本誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標本誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくするようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいこととなりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、むやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

従って、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分になりますが、これを「**標本設計**」と呼んでいます。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なります。

$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$	N = 母数集団（美祢市の18歳以上人口） n = 比率算出の基数（回答者数） p = 測定値
--	---

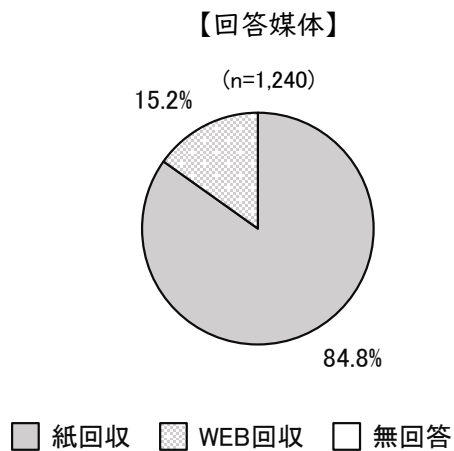
そこで、市民アンケートの母数集団(令和5年9月の18歳以上人口)19,543、サンプル数 3,000、有効回答者数 1,240、回収率は41.4%であり、これを上式にあてはめての標本誤差について計算すると、

測定値(%)	信頼区間の1/2幅(%)
50	2.7
45・55	2.7
40・60	2.7
35・65	2.6
30・70	2.5
25・75	2.4
20・80	2.2
15・85	2.0
10・90	1.6
5・95	1.2

となり、すべての区間において誤差率は3パーセント以内に納まっています。

この表の使い方は、ある設問に対する回答が50%であったとすると、測定値50%の1/2幅は2.7%ですから、同じアンケートを対象者全数に行っても、47.3~52.7%の間で回答が得られるということを示しています。

アンケート結果

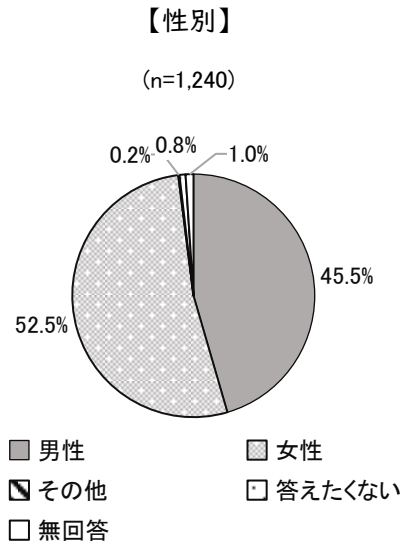


I 回答者の属性

問 I あなたの性別、年齢、住所、職業を教えてください。(それぞれ1つに○、年齢は数値を記入)

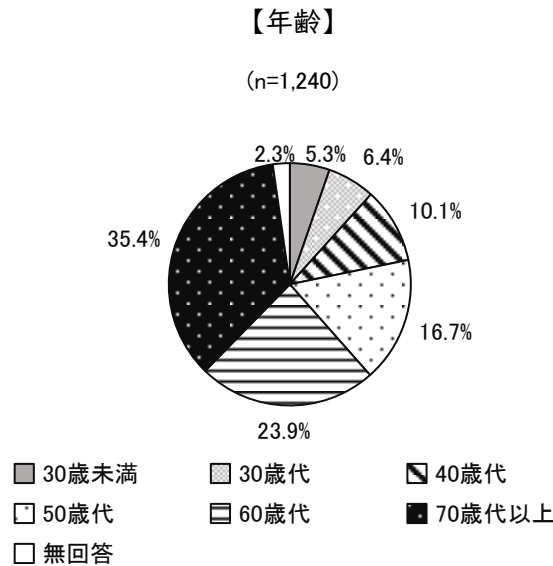
(I) 性別

性別については、「男性」が45.5%、「女性」が52.5%、「答えたくない」が0.8%となっています。



(2) 年齢(令和5年9月1日現在)

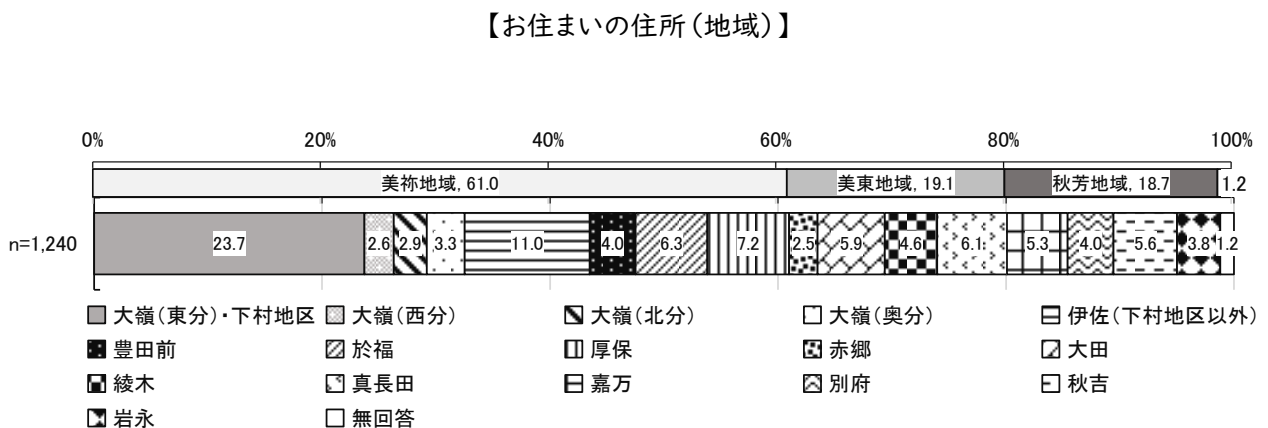
年齢については、「70歳代以上」が35.4%と最も高く、次いで「60歳代」(23.9%)、「50歳代」(16.7%)、「40歳代」(10.1%)、「30歳代」(6.4%)、「30歳未満」(5.3%)の順となっています。



(3) 住所(地域)

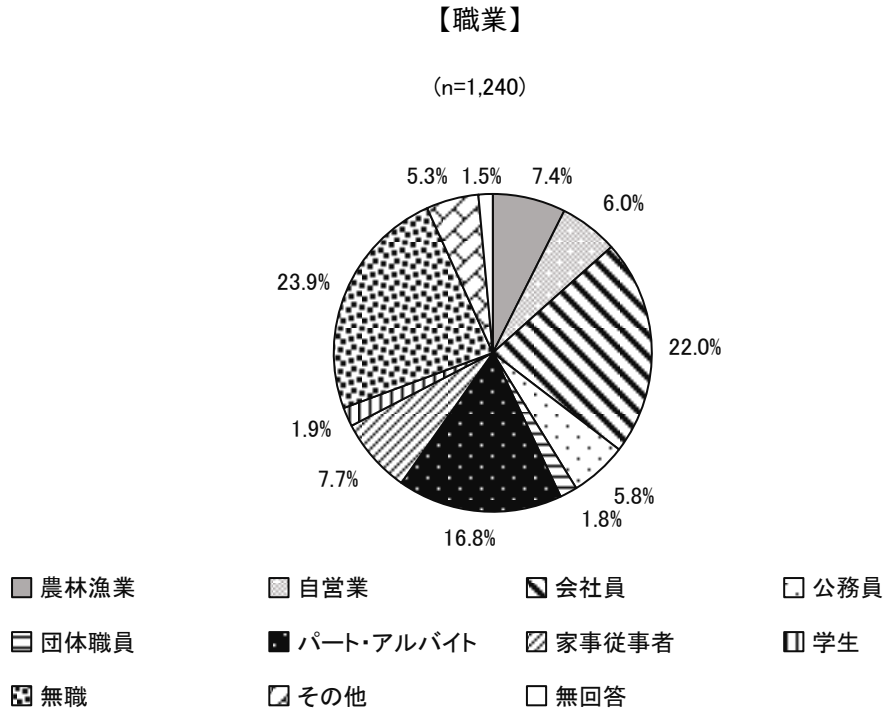
お住まいの住所(地域)については、「美祢地域」が61.0%、「美東地域」が19.1%、「秋芳地域」が18.7%となっています。

地区ごとでは、「大嶺(東分)・下村地区」が23.7%と最も高く、次いで「伊佐(下村地区以外)」(11.0%)、「厚保」(7.2%)、「於福」(6.3%)等の順となっています。



(4) 職業

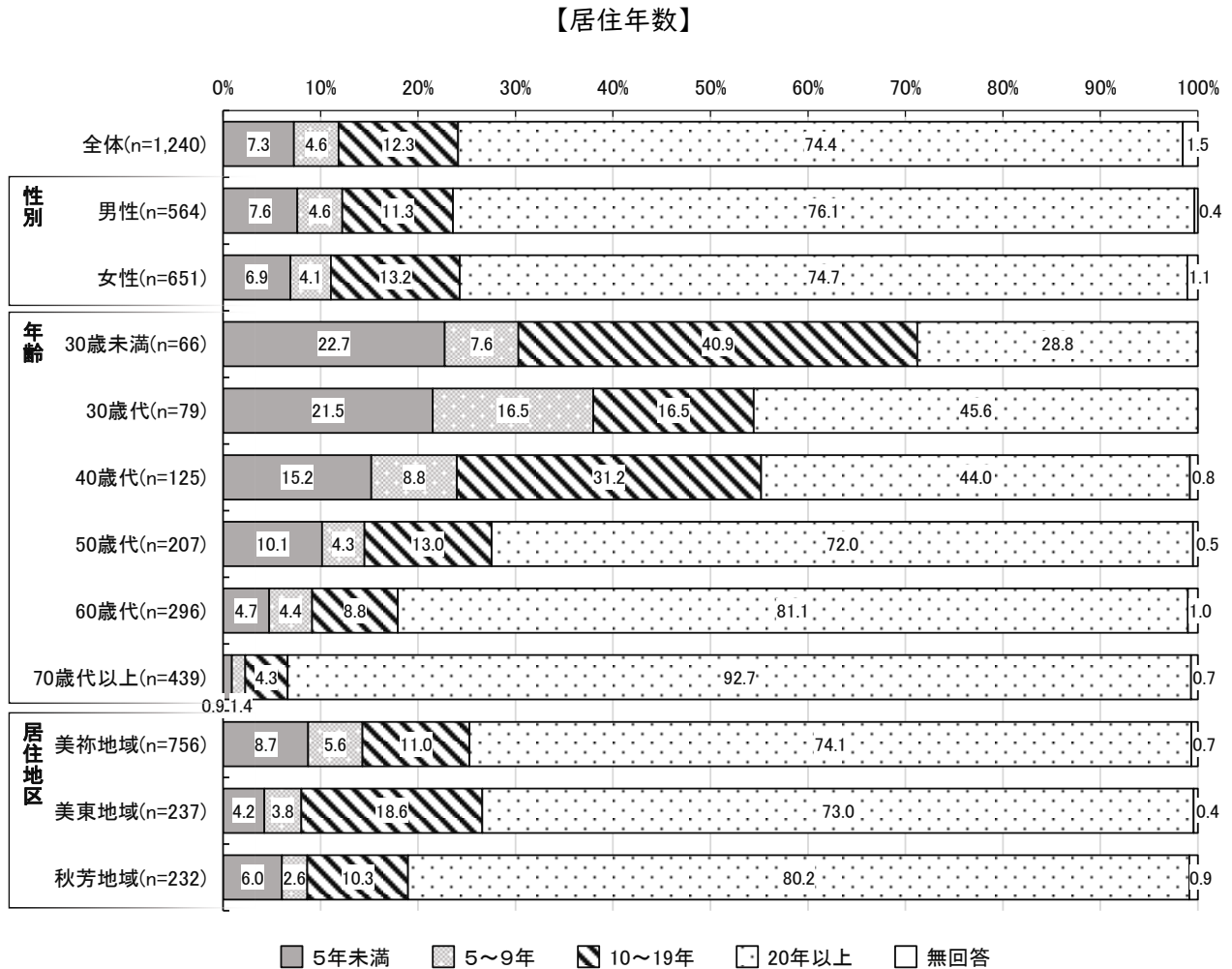
職業については、「無職」が23.9%と最も高く、次いで「会社員」(22.0%)、「パート・アルバイト」(16.8%)、「家事従業者」(7.7%)、「農林漁業」(7.4%)、「自営業」(6.0%)、「公務員」(5.8%)、「学生」(1.9%)、「団体職員」(1.8%)の順となっています。



(5) 居住年数

居住年数については、「20年以上」が74.4%と最も高く、次いで「10～19年」(12.3%)、「5年未満」(7.3%)、「5～9年」(4.6%)の順となっています。

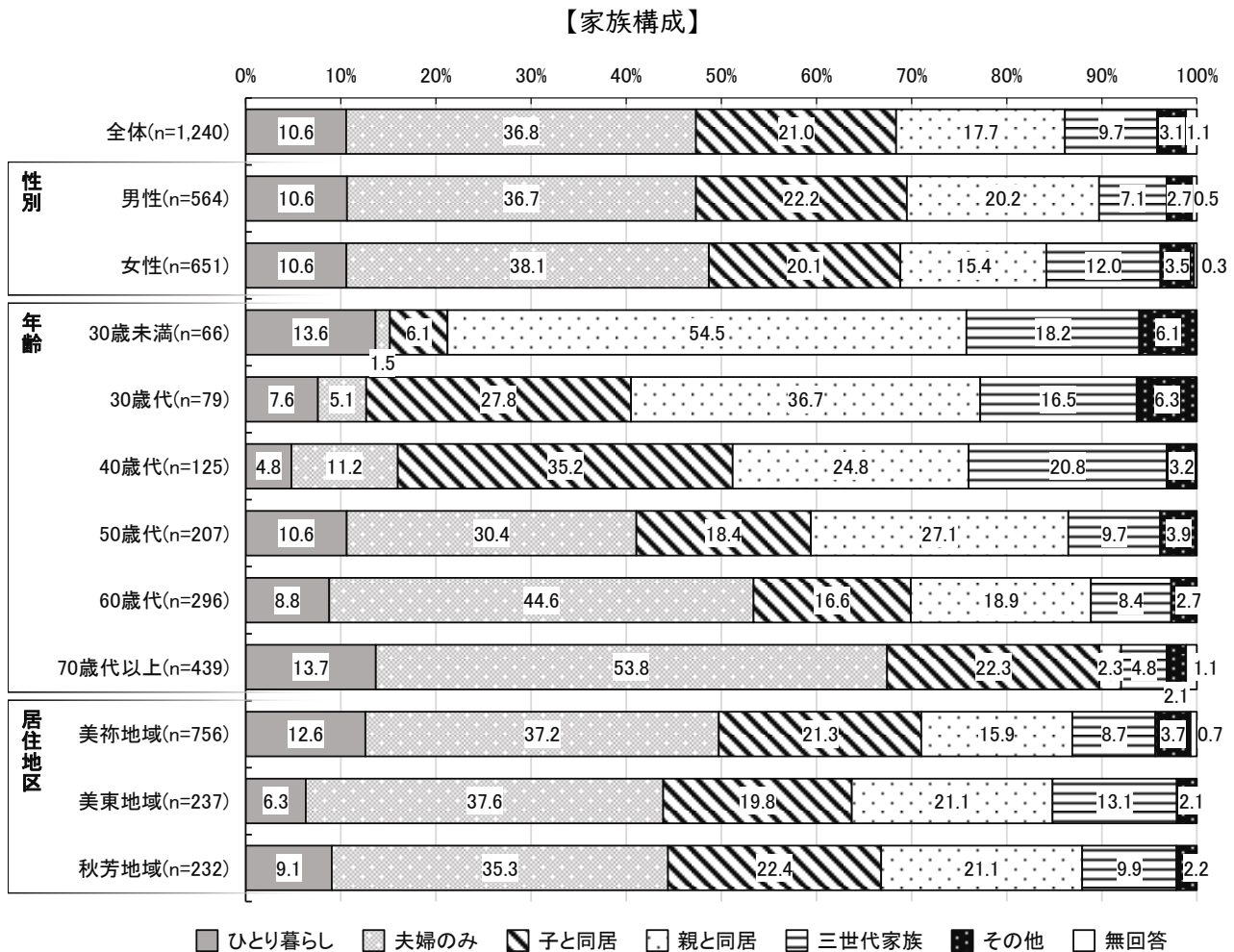
属性別にみると、性別では、あまり大きな差はありませんでした。年齢で比較すると、「20年以上」では、30歳未満が28.8%で、年齢が高くなるにつれ、割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「10～19年」では、美東地域が18.6%で他の地区に比べて割合が高くなっています。



(6) 家族構成

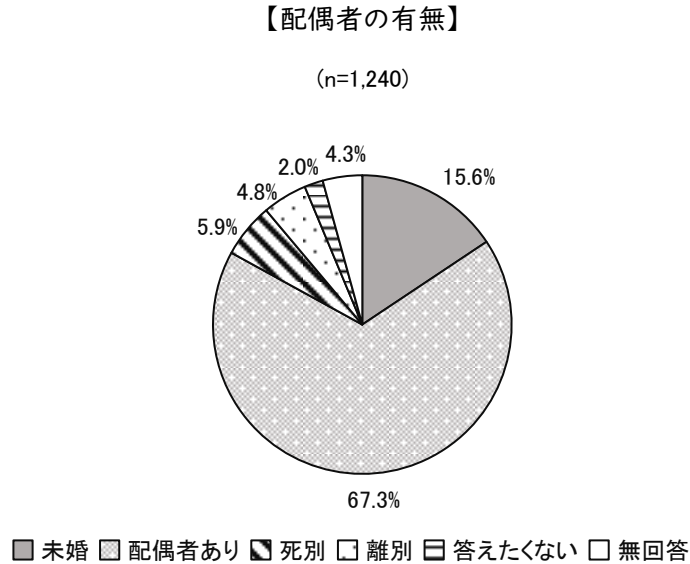
家族構成については、「夫婦のみ」が36.8%と最も高く、次いで「子と同居」(21.0%)、「親と同居」(17.7%)、「ひとり暮らし」(10.6%)、「三世代家族」(9.7%)の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「親と同居」では、男性が20.2%で女性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「夫婦のみ」では年齢が上がるにつれ、割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「ひとり暮らし」では、美東地域が6.3%で他の地区に比べて割合がやや低くなっています。



(7) 配偶者の有無

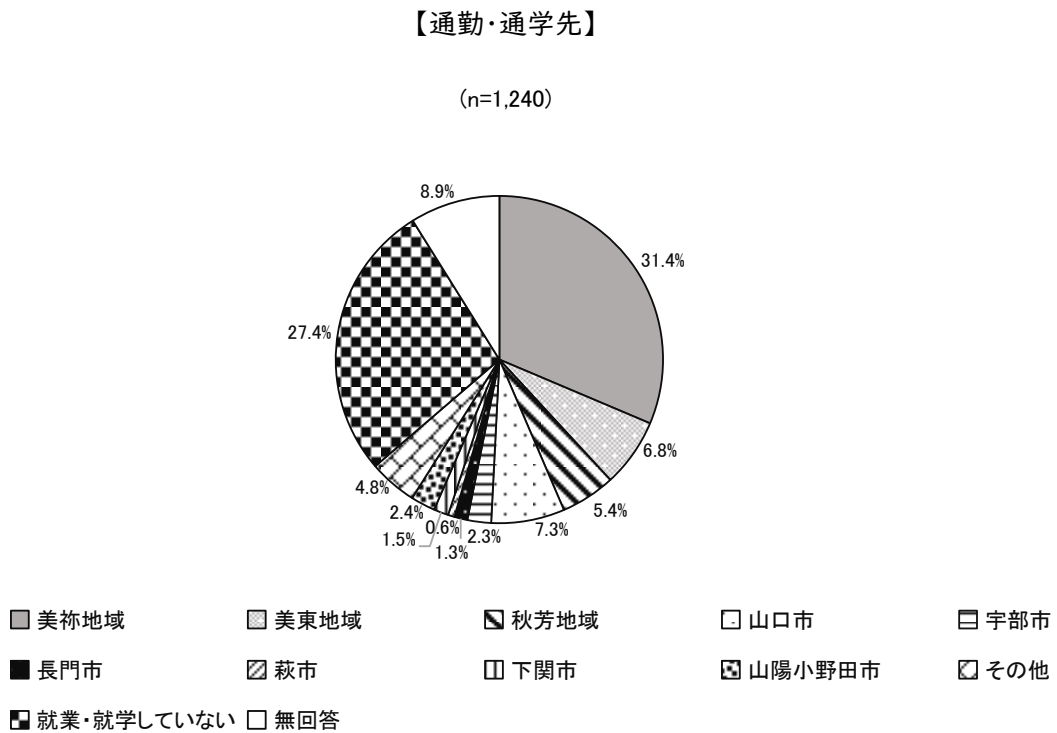
配偶者の有無については、「配偶者あり」が67.3%と最も高く、次いで「未婚」(15.6%)、「死別」(5.9%)、「離別」(4.8%)、「答えたくない」(2.0%)の順となっています。



(8) 通勤・通学

先

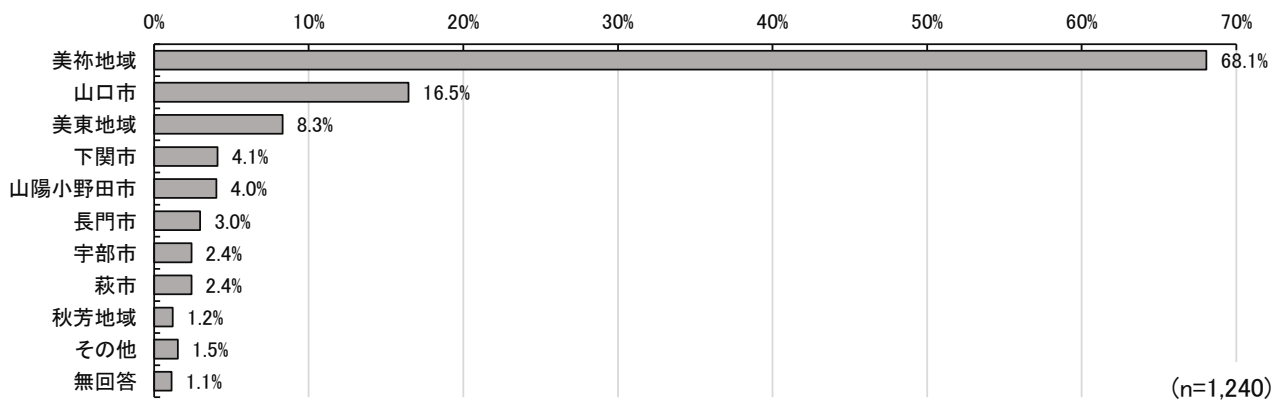
通勤・通学先については、「美祢地域」が31.4%と最も高く、次いで「就業・就学していない」(27.4%)、「山口市」(7.3%)、「美東地域」(6.8%)等の順となっています。



(9) 普段の買い物先

普段の買い物先については、「美祢地域」が68.1%と最も高く、次いで「山口市」(16.5%)、「美東地域」(8.3%)、「下関市」(4.1%)等の順となっています。

【普段の買い物先】



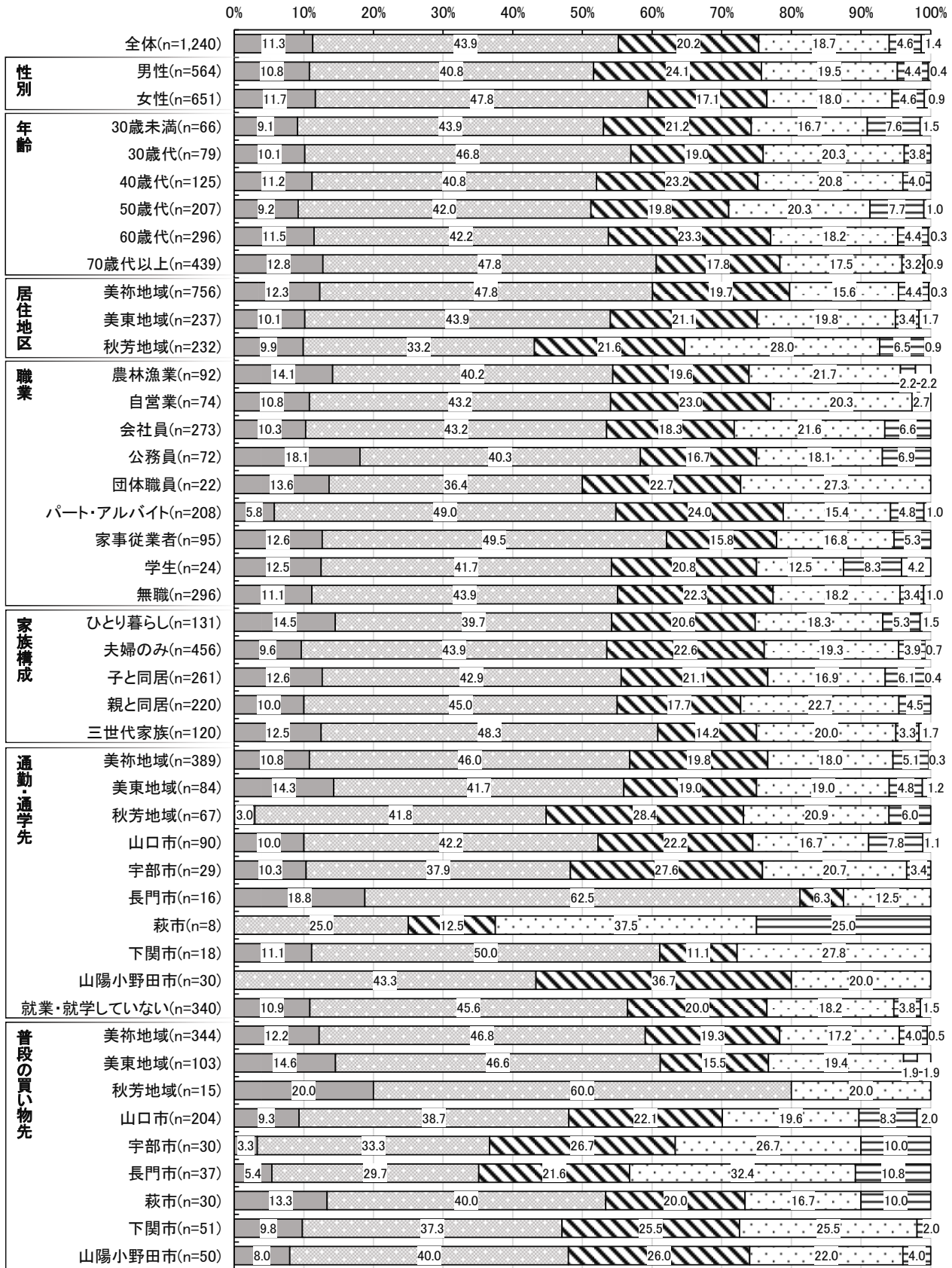
2 住みよさ

問2 美祢市は住みよいまちと感じていますか？(1つに〇)

美祢市は住みよいと感じているかについては、「まあまあ住みよい」が43.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(20.2%)、「あまり住みよいとはいえない」(18.7%)、「住みよい」(11.3%)、「住みにくい」(4.6%)の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「まあまあ住みよい」では、女性が47.8%で男性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「住みにくい」では、50歳代が7.7%で他の年代に比べて割合がやや高くなっています。居住地区で比較すると、「まあまあ住みよい」では、秋芳地域が33.2%で他の地区に比べて割合が低くなっています。職業で比較すると、「住みよい」では、パート・アルバイトが5.8%でほかの職業に比べて割合が低くなっています。家族構成で比較すると、「住みよい」では、夫婦のみが9.6%で他の家族構成に比べて割合がやや低くなっています。通勤・通学先で比較すると、「あまり住みよいとはいえない」では、萩市が37.5%で他の地区に比べて割合が高くなっています。普段の買い物先で比較すると、「住みよい」では宇部市が3.3%で他の地区に比べて割合が低くなっています。

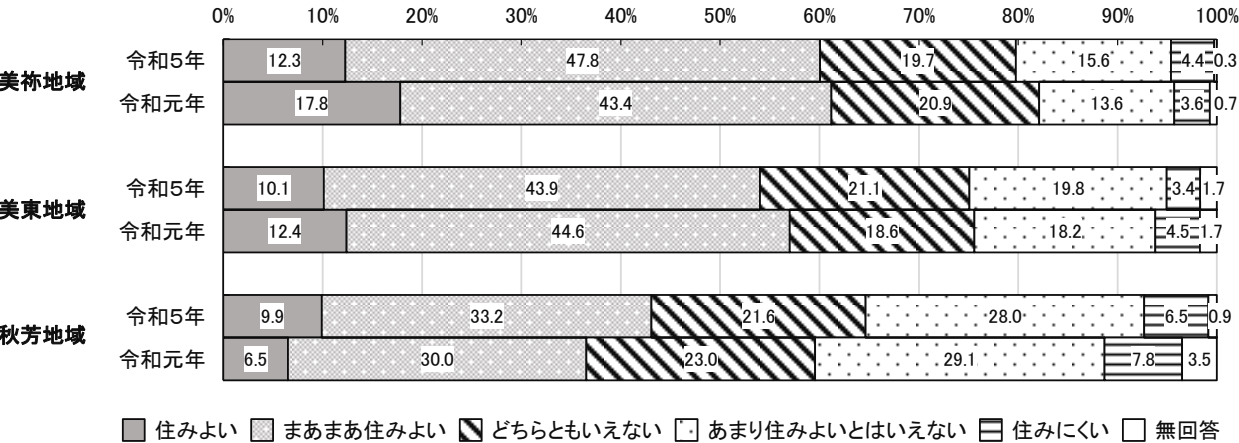
【美祢市の住み心地】



■ 住みよい □ まあまあ住みよい ▨ どちらともいえない □ あまり住みよいとはいえない ▨ 住みにくい □ 無回答

前回調査と比較すると、美祢地域で見ると、「住みよい」では令和5年調査が12.3%で令和元年調査よりも5.5ポイント低くなっています。美東地域では、あまり大きな差はありませんでした。秋芳地域で見ると、「住みよい」では令和5年調査が9.9%で令和元年調査よりも3.4ポイント高くなっています。

【前回調査比較】



問2 住みにくい(選択肢4, 5)と回答された方はその理由もお答えください。

〈店がない、買い物が不便など〉146件

〈交通が不便など〉116件

〈医療についてなど〉52件

〈子育て、教育についてなど〉13件

〈働く場についてなど〉16件

〈水質や環境についてなど〉9件

3 居住意向

問3 これからも美祢市で暮らし続けたいと思いますか？(1つに〇)

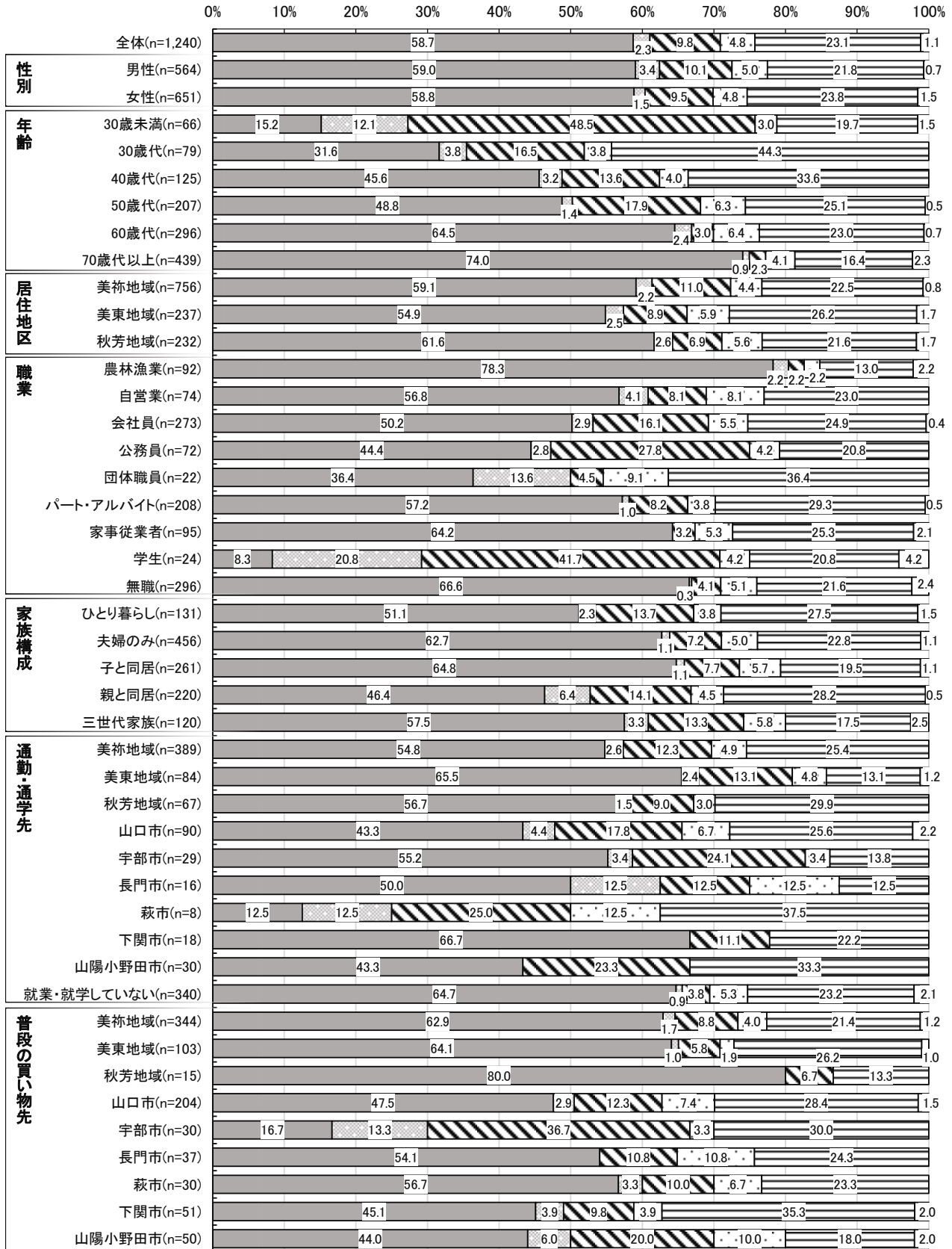
これからの居住意向については、「このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい」が58.7%と最も高く、次いで「分からない」(23.1%)、「市街へ引っ越すと思う(美祢市に暮らし続けたくない)」(9.8%)、「たとえ市外へ引っ越したとしても、いずれは美祢市で暮らしたい」(2.3%)の順となっています。

属性別にみると、性別では、あまり大きな差はありませんでした。年齢で比較すると、「市街へ引っ越すと思う(美祢市に暮らし続けたくない)」では、30歳未満が48.5%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい」では、美東地域が54.9%で他の地区に比べて割合がやや低くなっています。職業で比較すると、「このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい」では、学生が8.3%で他の職業に比べて割合が低くなっています。家族構成で比較すると、「このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい」では、親と同居が46.4%で他の家族構成に比べて割合が低くなっています。通勤・通学先で比較すると、「市街へ引っ越すと思う(美祢市に暮らし続けたくない)」では、就業・就学していないが3.8%で他の地区に比べて割合が低くなっています。普段の買い物先で比較すると、「このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい」では、秋芳地域が80.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

[その他]

夫の実家が美祢市だから、暮らさなくてはならない。/実家の長門市に帰る/場合によっては市外に転居/高齢の為、他に住む所がないからしかたなく暮らす/子供が美祢へ帰る意図がないので不安/持ち家が有るから暮らすけど無ければ住まない/このままずっと、ここに住みたいが病院もスーパーも無いので暮せない/他に行く所がない/暮らさざるを得ない状況/若ければ出ていく

【居住意向】



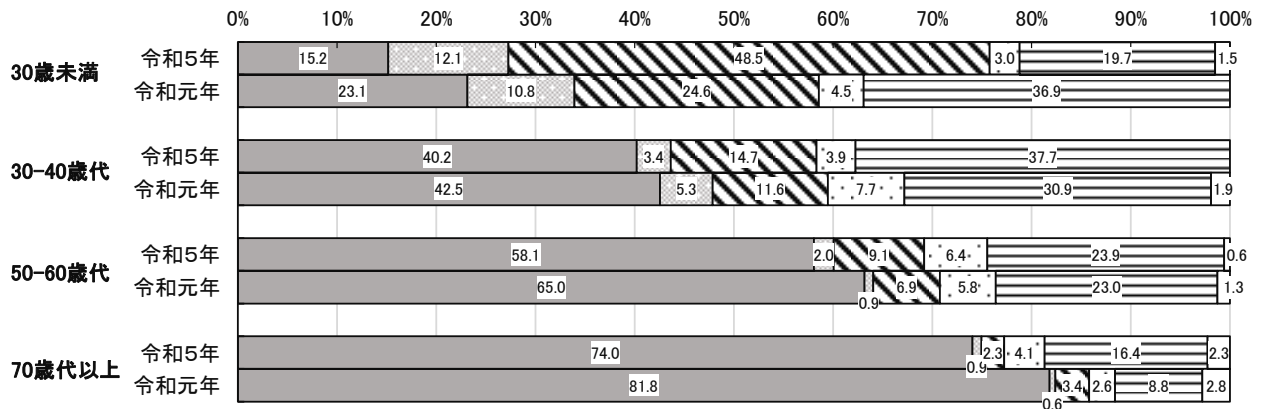
- このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい
- たとえ市外へ引っ越したとしても、いずれは美祢市で暮らしたい
- 市外へ引っ越すと思う(美祢市に暮らし続けたい)
- その他
- 分からない
- 無回答

前回調査と比較すると、年齢で比較すると、「このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい」では、令和5年調査が令和元年調査よりも、どの年代も割合が低くなっています。

居住地区で比較すると、「このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい」では、秋芳地域が令和5年調査が61.6%で令和元年調査よりも5.5ポイント高くなっています。

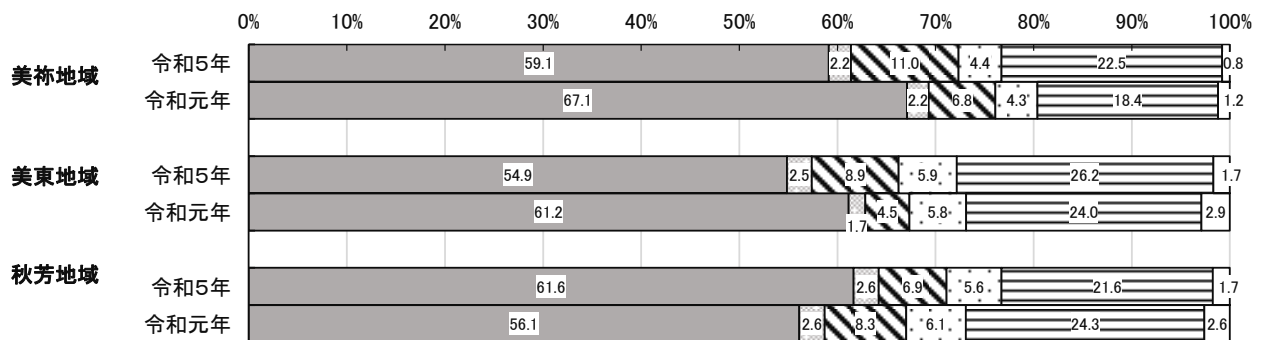
【前回調査比較】

〈年齢別〉



- このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい
- たとえ市外へ引っ越したとしても、いずれは美祢市で暮らしたい
- 市外へ引っ越すと思う(美祢市に暮らし続けたい)
- その他
- 分からない
- 無回答

〈居住地区別〉



- このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい
- たとえ市外へ引っ越したとしても、いずれは美祢市で暮らしたい
- 市外へ引っ越すと思う(美祢市に暮らし続けたい)
- その他
- 分からない
- 無回答

4 暮らし続けるために特に必要なこと

問4 これからも美祢市で暮らし続けるために、特に必要なことは何ですか？(〇は3つまで)

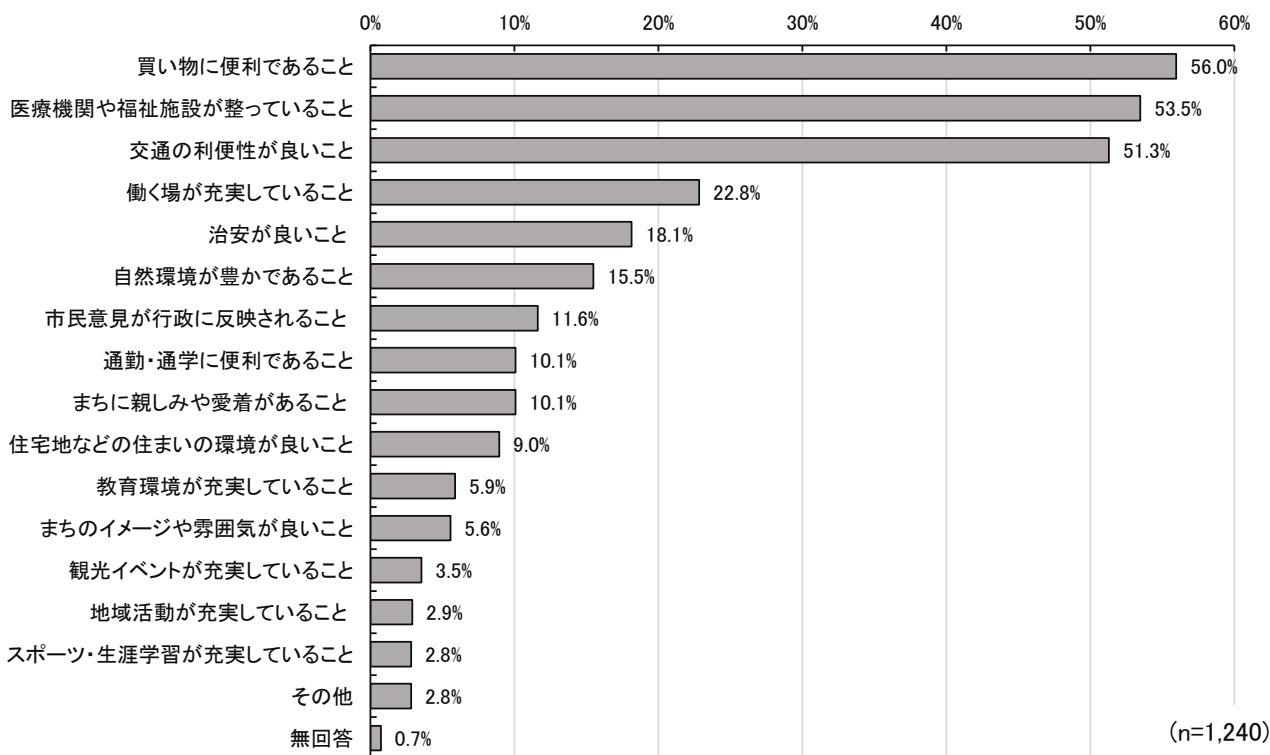
美祢市で暮らし続けるために、特に必要なことについては、「買い物に便利であること」が56.0%と最も高く、次いで「医療機関や福祉施設が整っていること」(53.5%)、「交通の利便性が良いこと」(51.3%)、「働く場が充実していること」(22.8%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「交通の利便性が良いこと」では、女性が56.2%で男性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「働く場が充実していること」では、30歳未満・30歳代が40.5%で他の年代に比べて割合が高く、年齢が高くなるにつれ、割合が低くなっています。居住地区で比較すると、「買い物に便利であること」では、秋芳地域が69.4%で他の地区に比べて割合がやや高くなっています。

[その他]

暮らししている各々が暮らし良くなるように気をつけること/今まで住んでいるから/生活環境が悪い/地区区業事を止めてほしい/健康づくりが充実していること(ジム、保養など)/災害が防げる事/理容院がほしい/災害が少ない事/全部あてはまる/光熱水道費を安価に/公害は煙がひどすぎる/生活がじゃまされないこと/子供が多いこと/気軽に他の地域から人が来てほしい/市水の軟水化/市役所職員が率先して美祢市に居住すること/塵の焼却時の臭いと水道水の改善/レストラン等の充実/子どもから20代の方が住みたいと思えるような環境づくり/インターネット回線が整っている/遊ぶ場所/リフレッシュできるところが充実していること

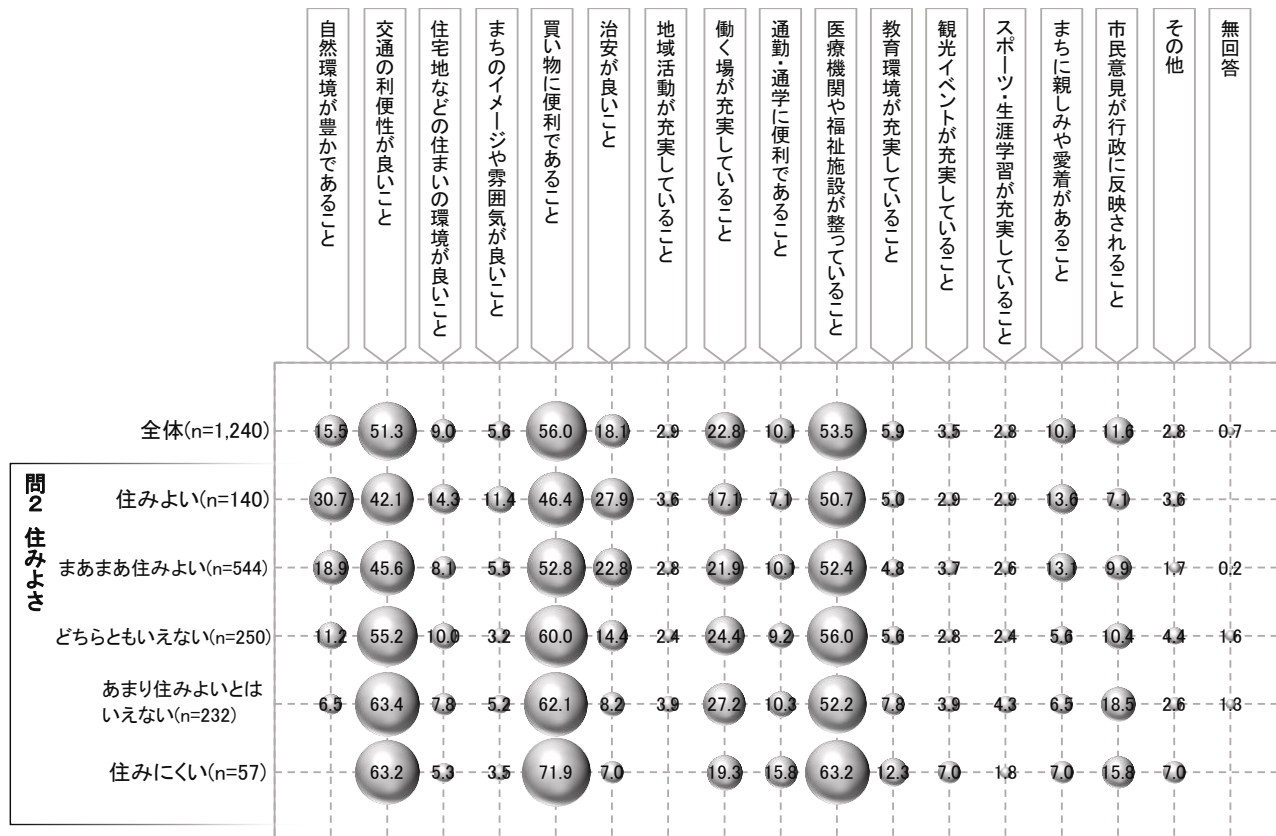
【美祢市で暮らし続けるために、必要なこと】



	自然環境が豊かであること	交通の利便性が良いこと	住宅地などの住まいの環境が良いこと	まちなイメージや雰囲気が良いこと	買い物に便利であること	治安が良いこと	地域活動が充実していること	働く場が充実していること	通勤・通学に便利であること	医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	観光イベントが充実していること	スポーツ・生涯学習が充実していること	まちに親しみや愛着があること	市民意見が行政に反映されること	その他	無回答	
全体(n=1,240)	15.5	51.3	9.0	5.6	56.0	18.1	2.9	22.8	10.1	53.5	5.9	3.5	2.8	10.1	11.6	2.8	0.7	
性別																		
男性(n=564)	16.7	45.9	9.8	7.1	54.3	19.3	2.7	23.9	9.2	50.2	6.2	4.4	3.4	9.4	12.4	3.9	0.7	
女性(n=651)	14.3	56.2	8.1	4.0	58.2	17.1	2.9	21.7	10.8	56.1	5.5	2.8	2.5	10.8	10.6	2.0	0.8	
年齢																		
30歳未満(n=66)	10.1	46.8	13.9	7.6	48.1	15.2	1.8	40.5	30.4	40.5	17.7	6.3	8.9	11.4	8.9	1.8		
30歳代(n=79)	10.1	46.8	13.9	7.6	48.1	15.2	1.8	40.5	30.4	40.5	17.7	6.3	8.9	11.4	8.9	1.8		
40歳代(n=125)	9.6	40.8	10.4	4.9	56.8	12.0	2.4	38.4	18.4	48.8	16.0	2.4	4.9	8.8	8.0	4.0		
50歳代(n=207)	11.1	53.1	5.3	7.7	60.4	14.5	2.9	27.1	11.6	59.4	4.9	5.3	2.4	8.7	13.0	3.4	0.5	
60歳代(n=296)	13.2	56.1	10.8	5.1	58.4	18.2	1.4	19.9	4.4	62.5	3.0	2.7	2.7	10.1	12.5	1.7	0.7	
70歳代以上(n=439)	22.6	50.3	6.6	4.6	54.4	22.6	4.6	14.6	4.1	52.8	3.2	2.5	0.7	11.6	11.6	3.0	1.1	
居住地区																		
美祢地域(n=756)	16.1	49.9	10.3	5.6	50.0	19.6	2.1	23.7	10.2	54.8	7.0	4.0	2.4	9.1	11.1	2.8	0.5	
美東地域(n=237)	13.1	56.5	6.3	5.9	62.9	16.9	5.1	21.1	11.0	49.4	5.1	3.0	3.9	10.5	10.5	2.5	0.8	
秋芳地域(n=232)	15.9	51.3	7.3	5.2	69.4	15.1	3.0	22.0	8.6	53.0	3.0	3.0	3.4	12.5	13.8	3.0	1.8	

「問2 美祢市は住みよいまちと感じていますか？」の回答別でみると、住みよいと答えた人では、「自然環境が豊かであること」が30.7%で他の回答者に比べて割合が高くなっています。住みにくいと答えた人では、「買い物に便利であること」が71.9%で他の回答者に比べて割合が高くなっています。

【住みよさ × 美祢市で暮らし続けるために、必要なこと】



5 美祢市の自慢（良い所）と不満（悪い所）

問5 美祢市の自慢（良い所）と不満（悪い所）を教えてください。（それぞれ3つまで解答欄に記入してください。）

美祢市の自慢（良い所）

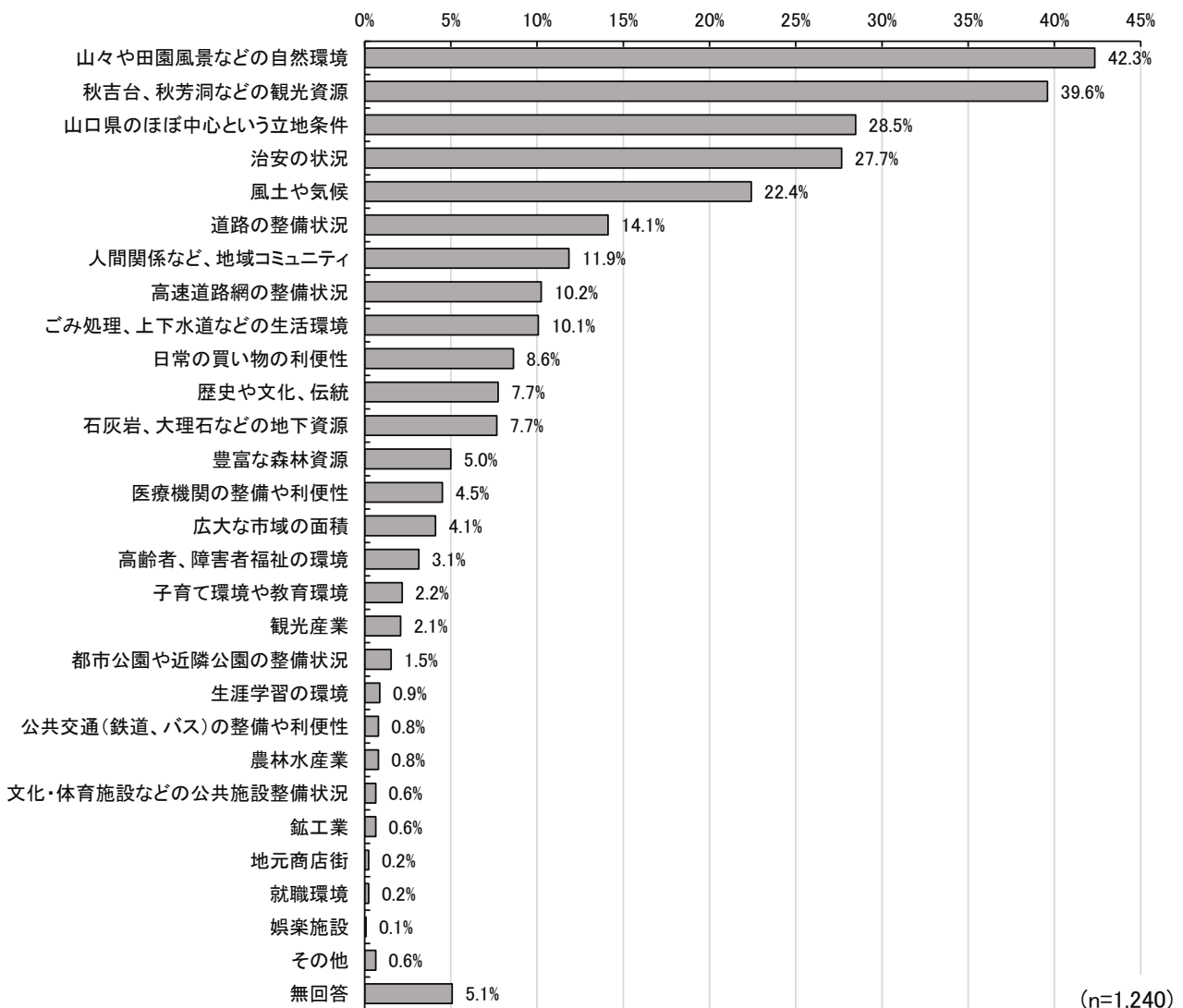
美祢市の自慢（良い所）については、「山々や田園風景などの自然環境」が42.3%と最も高く、次いで「秋吉台、秋芳洞などの観光資源」（39.6%）、「山口県のほぼ中心という立地条件」（28.5%）、「治安の状況」（27.7%）等の順となっています。

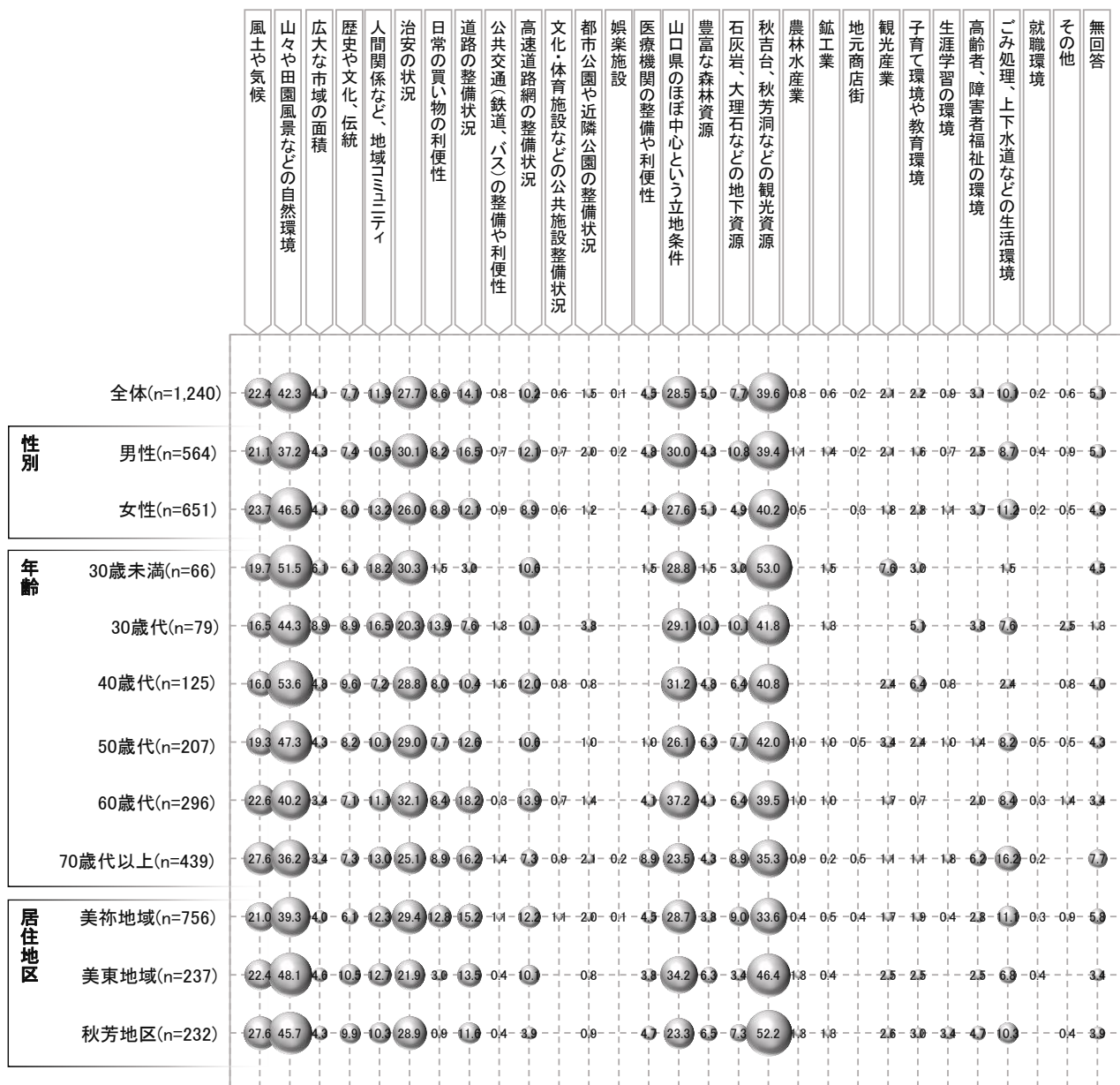
属性別にみると、性別では、あまり大きな差はありませんでした。年齢別で比較すると、「秋吉台、秋芳洞などの観光資源」では、30歳未満が53.0%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「治安の状況」では、美東地域が21.9%で他の地区に比べて割合がやや低くなっています。

[その他]

犯罪が少ない/ない

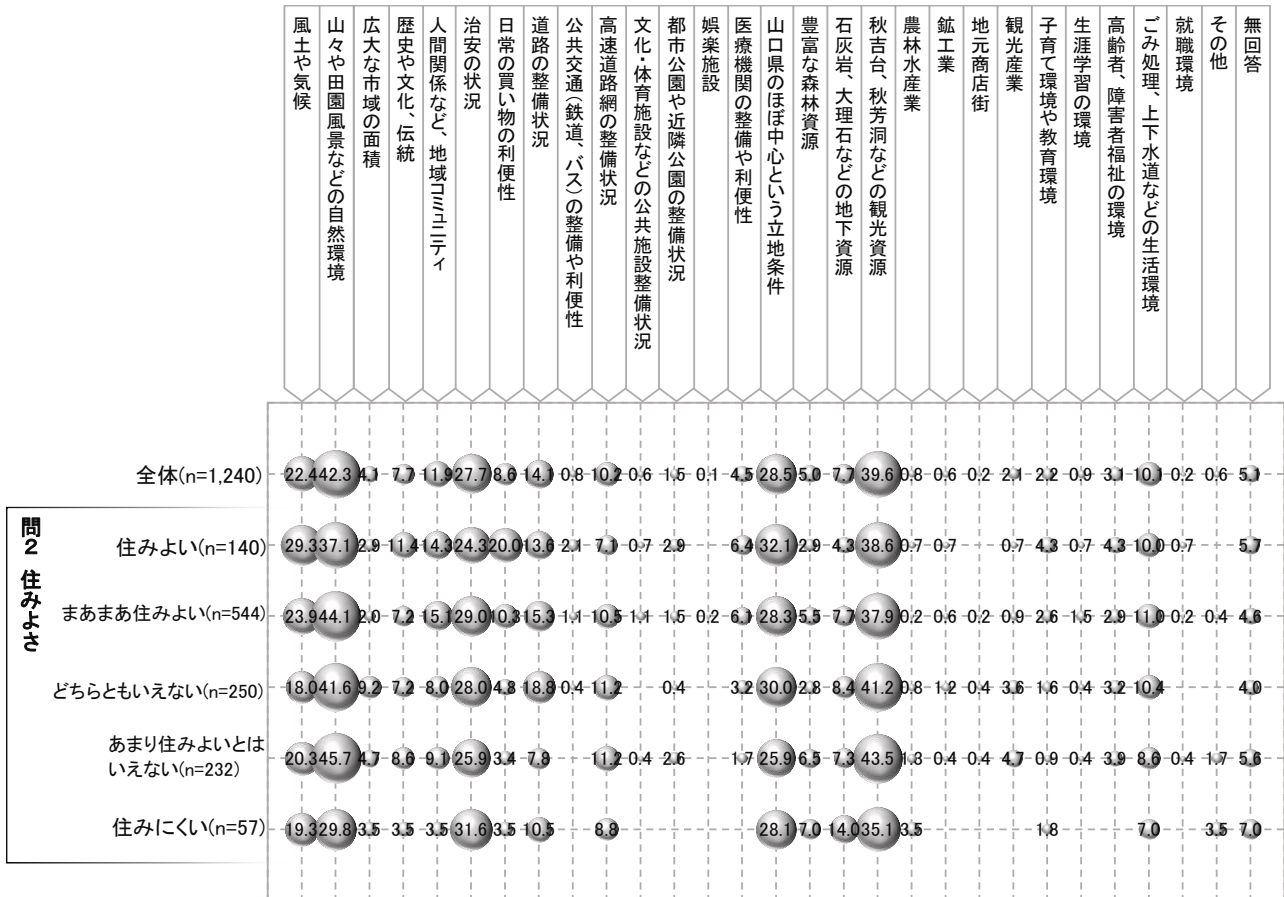
【美祢市の自慢（良い所）】





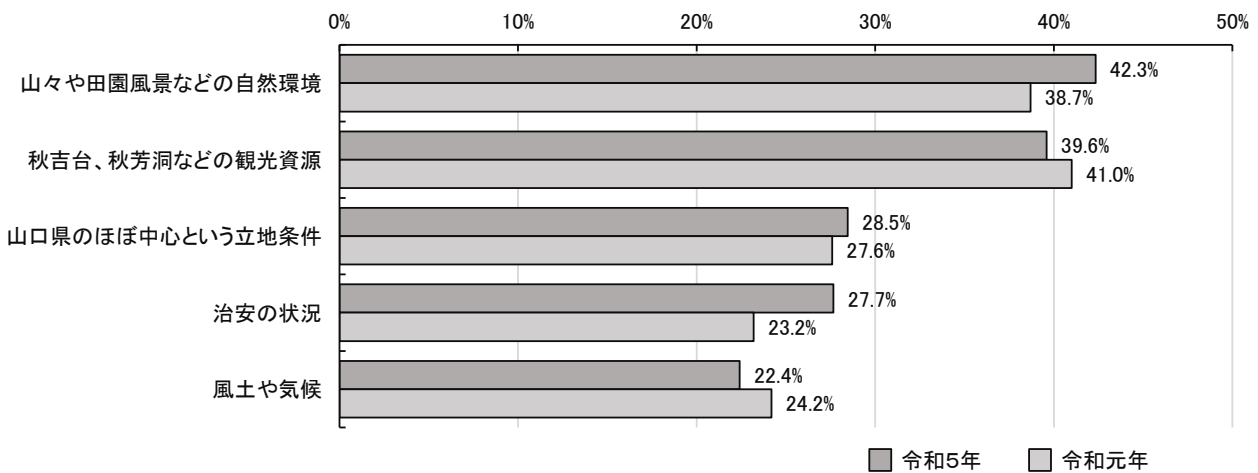
「問2 美祢市は住みよいまちと感じていますか?」の回答別でみると、住みよいと答えた人では、「日常の買い物の利便性」が20.0%で他の回答者に比べて割合が高くなっています。住みにくいと答えた人では、「山々や田園風景などの自然環境」が29.8%で他の回答者に比べて割合が低くなっています。

【住みよさ × 美祢市の自慢(良い所)】



前回調査と比較すると、上位5項目に変わりはないが、順位は入れ替わっています。「治安の状況」では、令和5年調査が27.7%で令和元年調査よりも4.5ポイント高くなっています。

【前回調査比較】



美祿市の不満(悪い所)

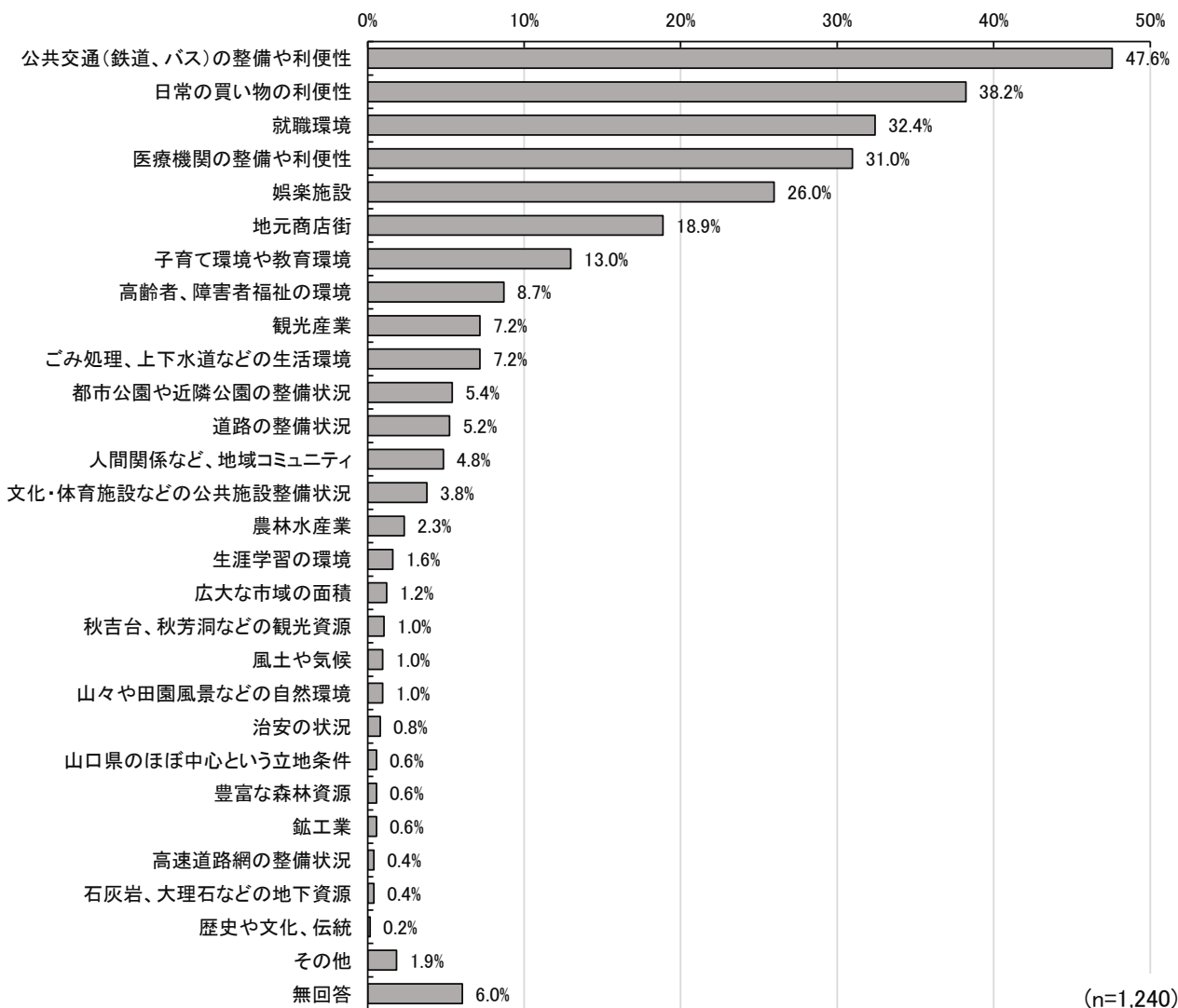
美祿市の不満(悪い所)については、「公共交通(鉄道、バス)の整備や利便性」が47.6%と最も高く、次いで「日常の買い物の利便性」(38.2%)、「就職環境」(32.4%)、「医療機関の整備や利便性」(31.0%)等の順となっています。

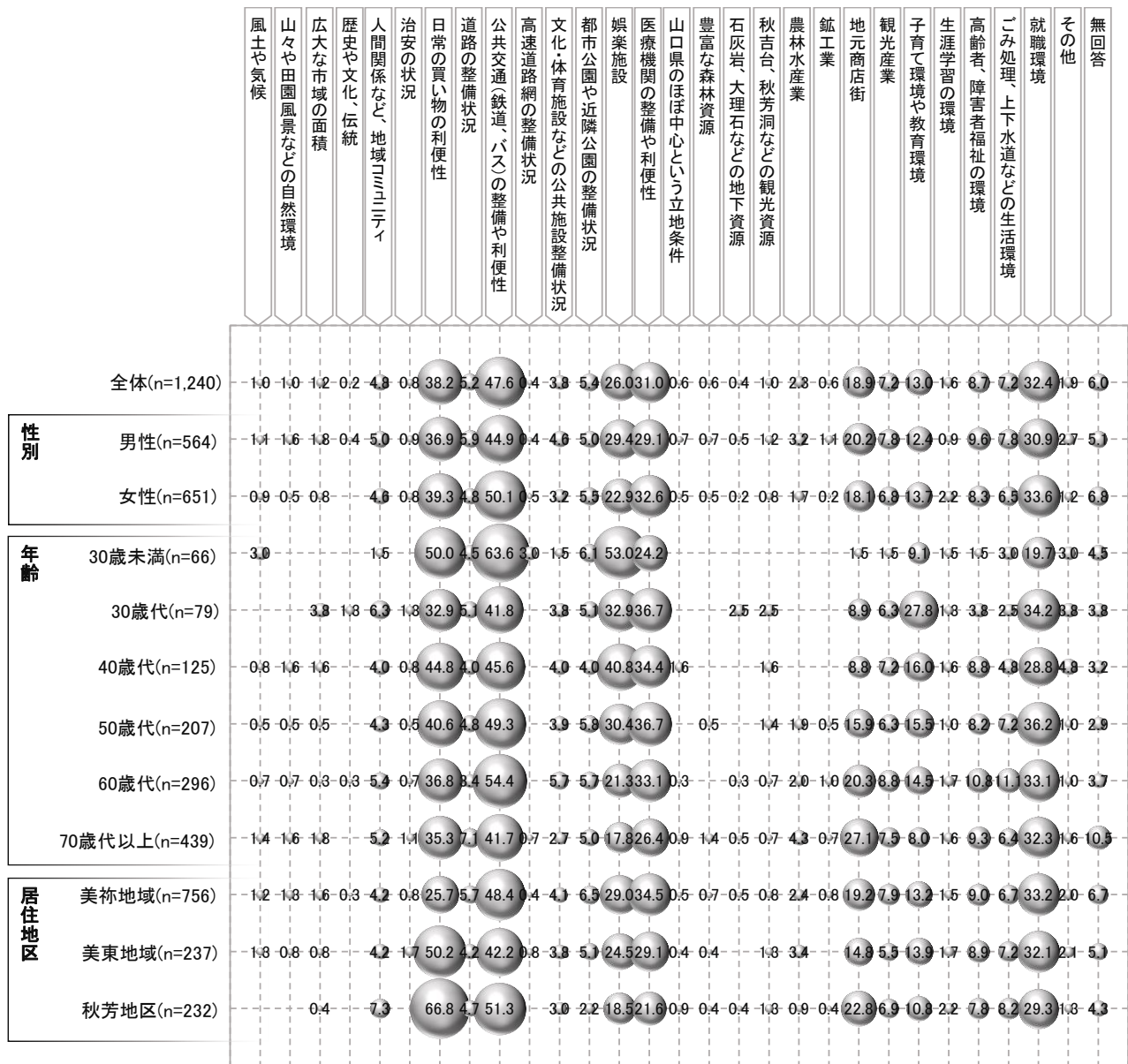
属性別にみると、性別で比較すると、「娯楽施設」では、男性が29.4%で女性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「娯楽施設」では、30歳未満が53.0%で他の年代に比べて割合が高く、年齢が高くなるにつれ、割合が低くなっています。居住地区で比較すると、「日常の買い物の利便性」では、秋芳地域が66.8%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

[その他]

有害鳥獣による被害/小人数の小学校は統廃合すべき/大型宿泊施設の充実/(環境が悪い)宇部興産のばい煙/農地と住宅地の有効利用/川の氾濫/土地の陥没/市水の硬水/人口減少/駅周辺にファストフード店が無い/庭木の伐採受取が悪い/動物出没、作物被害、急傾斜地が後ろの居住地/発展性を感じない/日常車で移動する際、草や木が出ていて走りにくい。県道、市道、林道、とも!/通信環境/他地域からの移住希望者の受け入れを考えていない/空き家、宅地等の情報が少ない/全体的に古さが目立つ/若者住みにくい/街灯が少ない

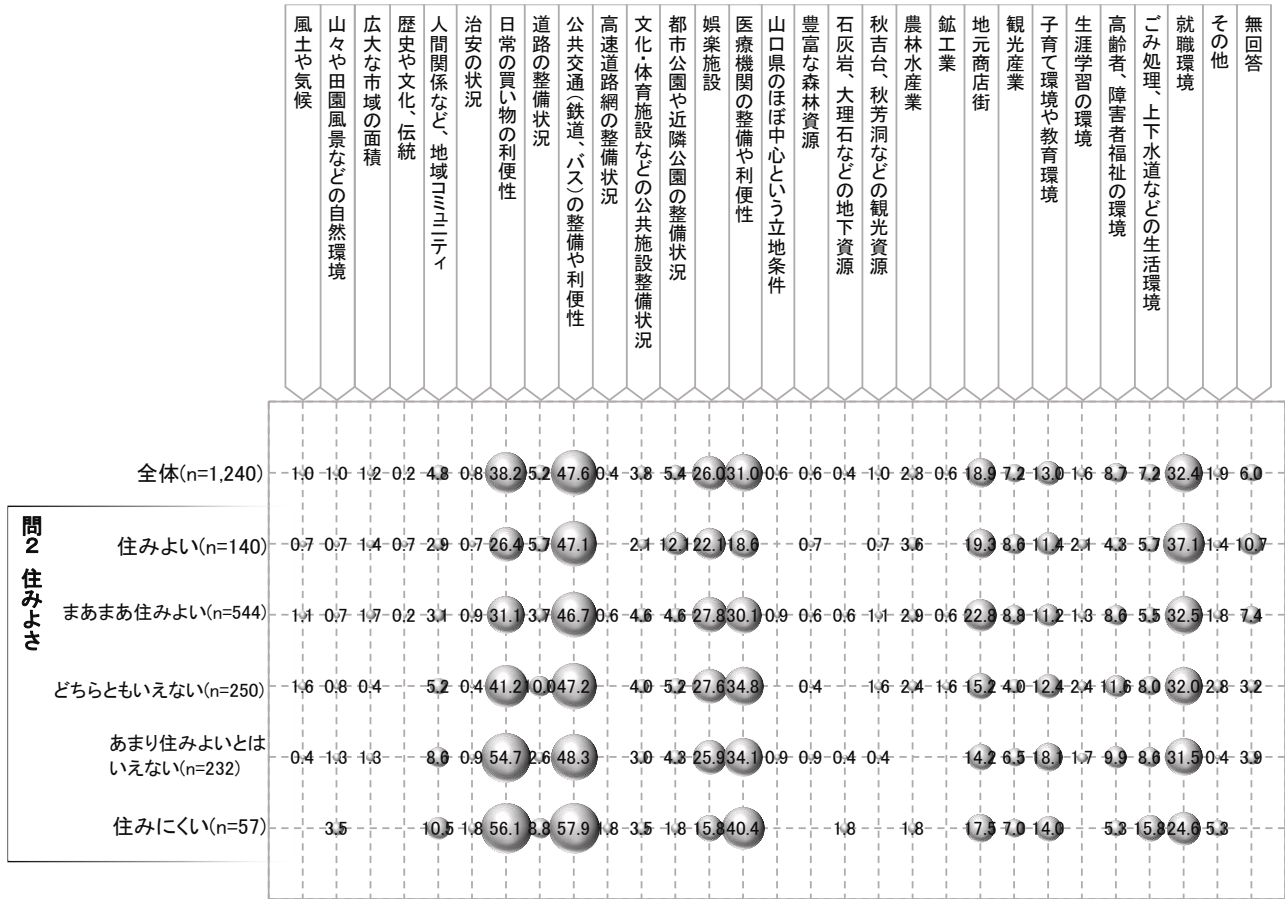
【美祿市の不満(悪い所)】





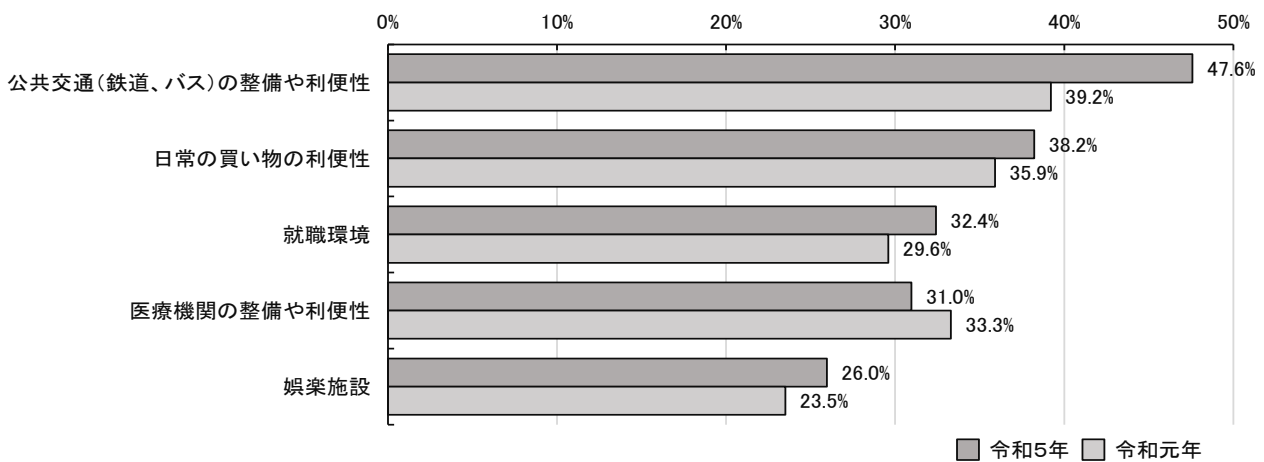
「問2 美祢市は住みよいまちと感じていますか?」の回答別でみると、住みよいと答えた人では、「就職環境」が37.1%で他の回答者に比べて割合がやや高くなっています。住みにくいと答えた人では、「日常の買い物の利便性」が56.1%で他の回答者に比べて割合が高くなっています。

【住みよさ × 美祢市の不満(悪い所)】



前回調査と比較すると、上位5項目に変わりはないが、「就職環境」と「医療機関の整備や利便性」の順位が入れ替わっています。「公共交通(鉄道、バス)の整備や利便性」では、令和5年調査が47.6%で、令和元年調査よりも8.4ポイント高くなっています。

【前回調査比較】



6 現在の「満足度」と、今後の「重要度」

問6 美祢市での暮らしについて、各分野の現在の「満足度」と、今後の「重要度」をおたずねします。
満足度：行政施策に関する本市の取組について、どれだけ満足していますか？
重要度：本市にとって、どれだけ重要な施策・取組だと思いますか？

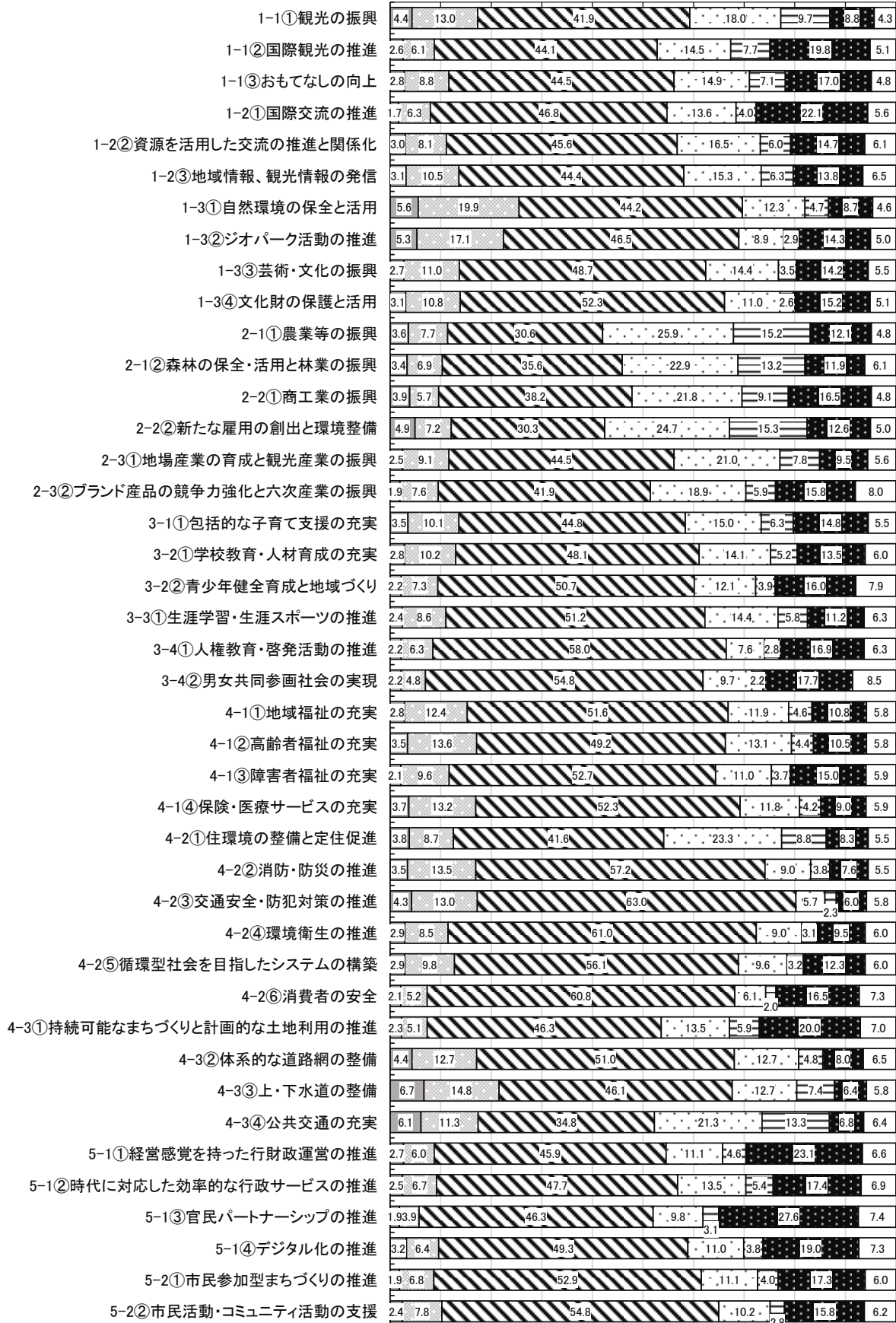
満足度

満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた『美祢市の取組に満足』は、「1-3①自然環境の保全と活用」が25.5%と最も高く、次いで「1-3②ジオパーク活動の推進」(22.4%)、「4-3③上・下水道の整備」(21.5%)等の順となっています。

また、「不満」と「やや不満」を合わせた『美祢市の取組に不満』は、「2-1①農業等の振興」が41.1%と最も高く、次いで「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」(40.0%)、「2-1②森林の保全・活用と林業の振興」(36.1%)、「4-3④公共交通の充実」(34.6%)等の順となっています。

【満足度】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



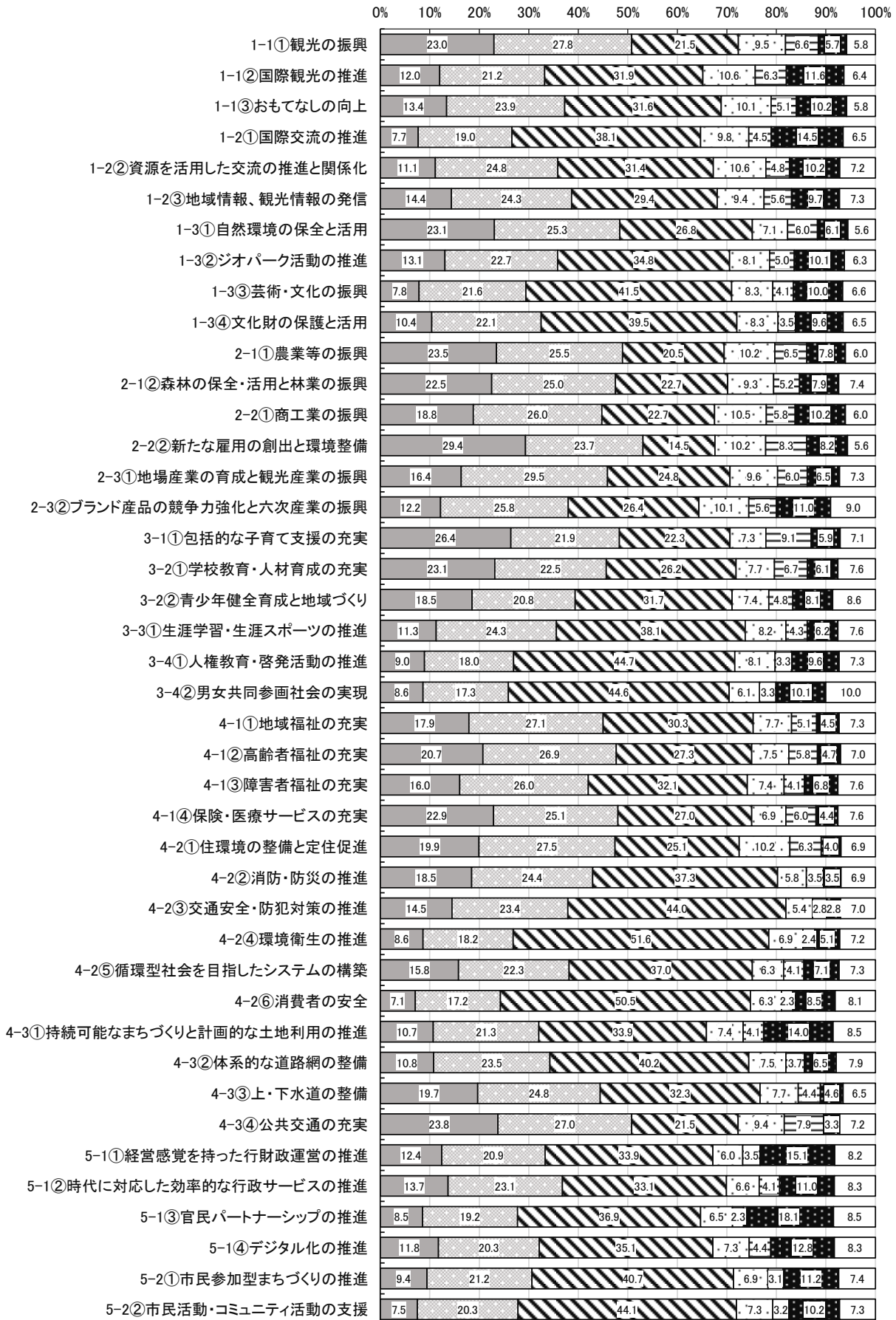
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう □ やや不満 ■ 不満 ■ 分からない □ 無回答

重要度

重要度については、「高い」と「やや高い」を合わせた『美祢市の取組に期待』は、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」が53.1%と最も高く、次いで「1-1①観光の振興」「4-3④公共交通の充実」（それぞれ50.8%）、「2-1①農業等の振興」（49.0%）等の順となっています。

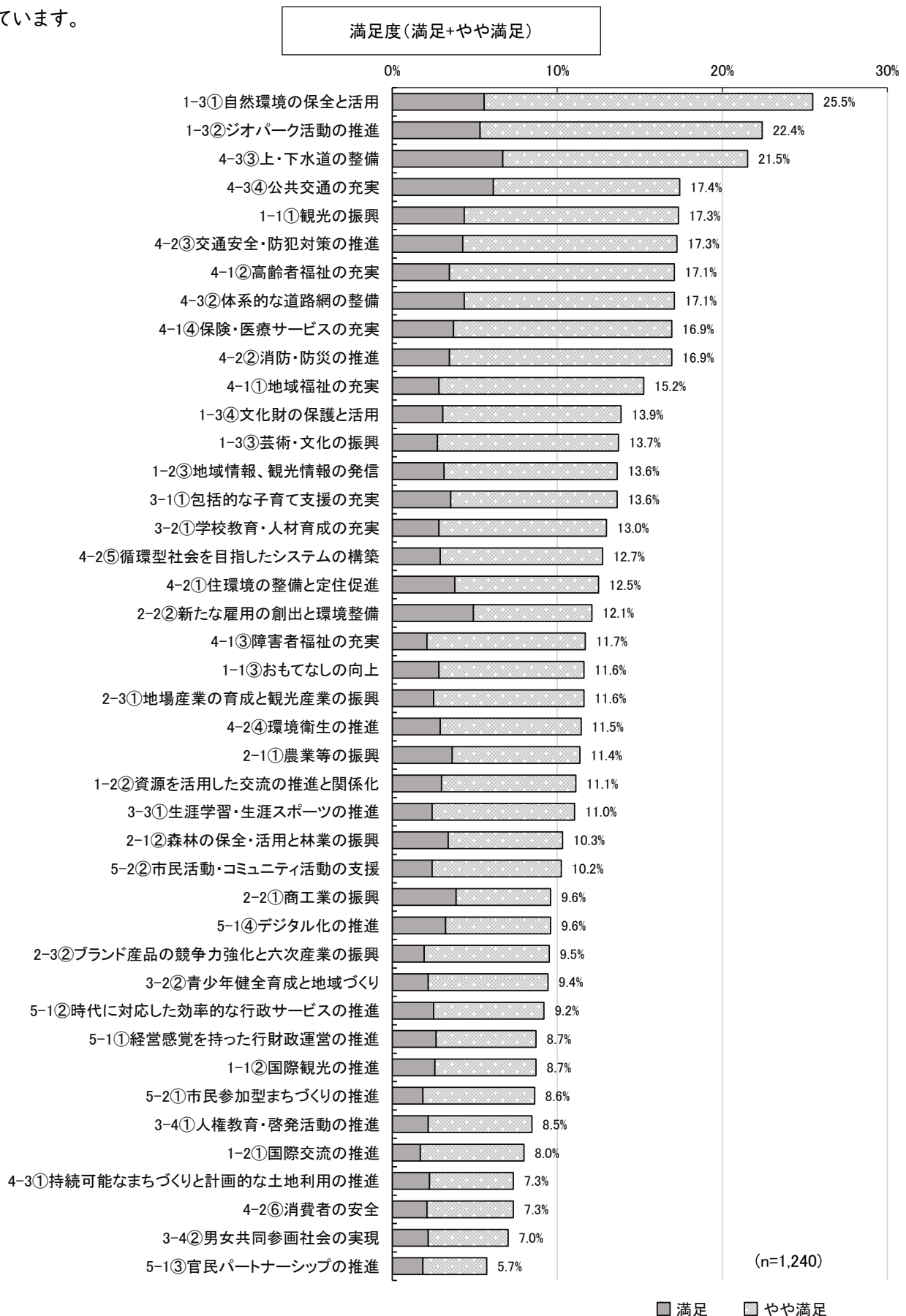
また、「低い」と「やや低い」を合わせた『美祢市の取組に期待しない』は、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」が18.5%と最も高く、次いで「4-3④公共交通の充実」（17.3%）、「1-1②国際観光の推進」（16.9%）、「2-1①農業等の振興」（16.7%）等の順となっています。

【重要度】

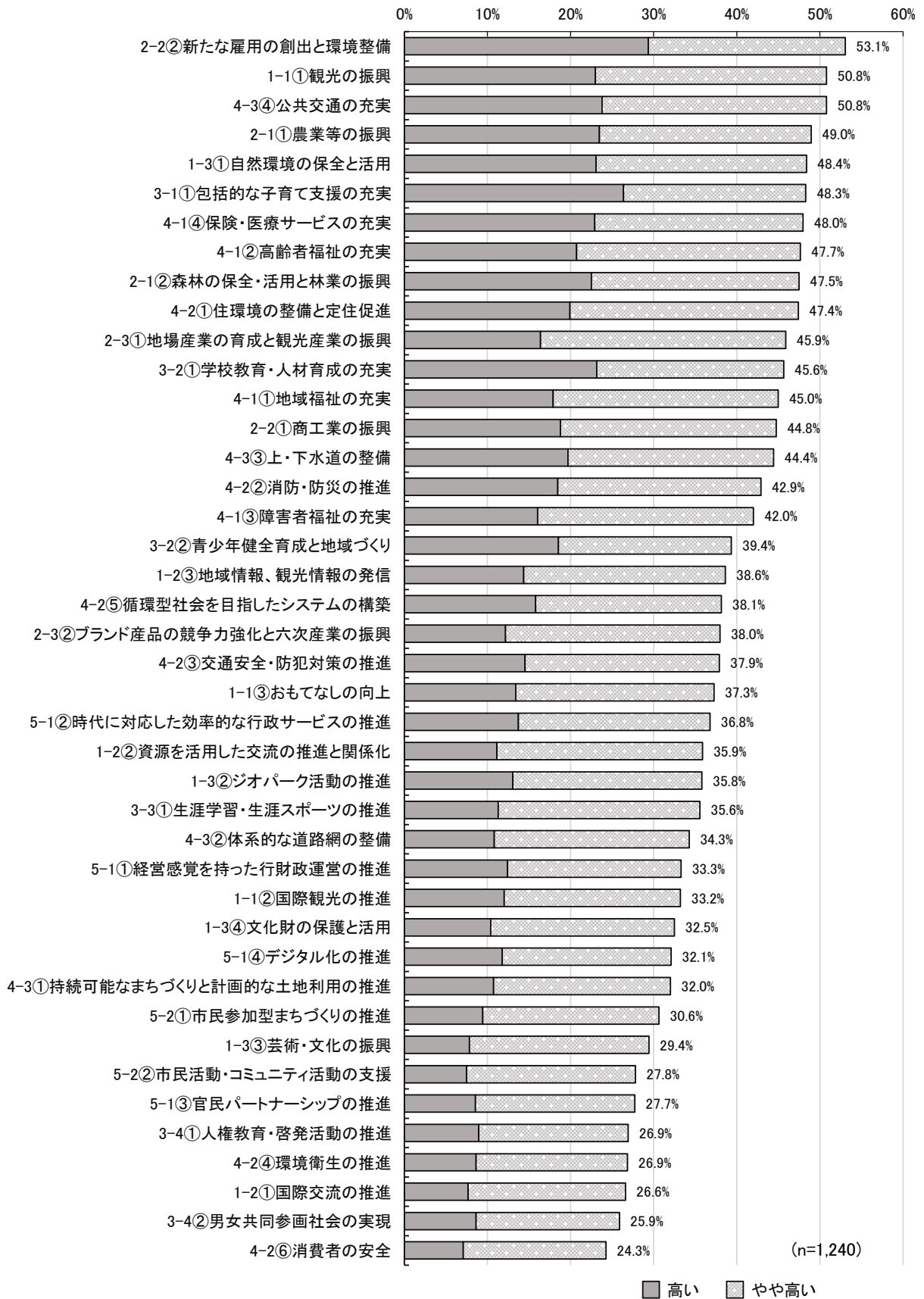


■ 高い □ やや高い ▨ ふつう □ やや低い □ 低い ■ 分からない □ 無回答

以下は、全体の満足度（満足+やや満足）と重要度（高い+やや高い）を合計値の高い順に表示しています。次頁から、地区別の満足度（満足+やや満足）と重要度（高い+やや高い）を合計値の高い順に表示しています。



重要度(高い+やや高い)

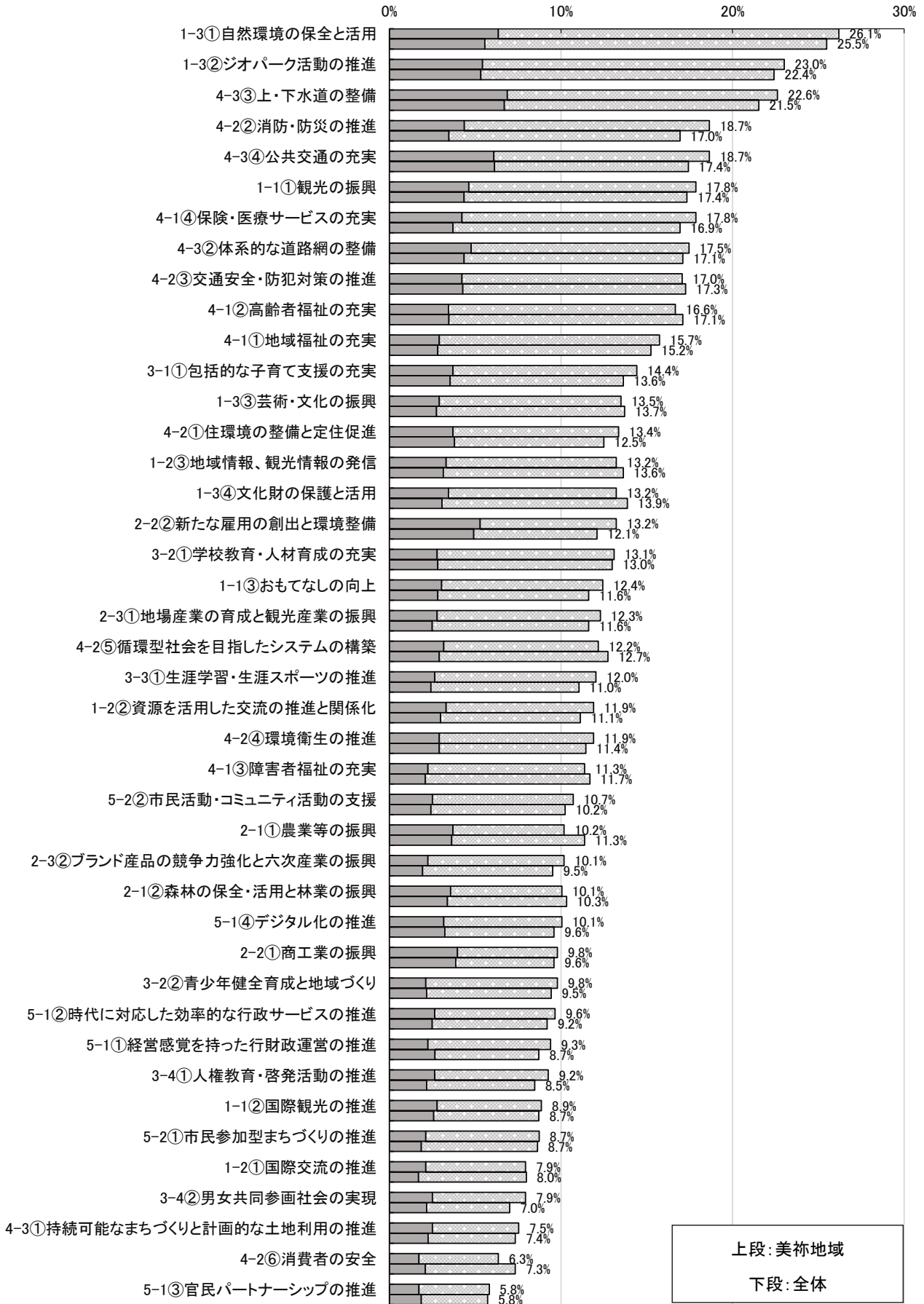


美祿地域

満足度については、「1-3①自然環境の保全と活用」が26.1%と最も高く、次いで「1-3②ジオパーク活動の推進」(23.0%)、「4-3③上・下水道の整備」(22.6%)、「4-2②消防・防災対策の推進」「4-3④公共交通の充実」(いずれも18.7%)等の順となっています。全体と比べると、あまり大きな差はありませんでした。

重要度については、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」が53.1%と最も高く、次いで「1-1①観光の振興」(51.3%)、「4-3④公共交通の充実」(50.7%)、「3-1①包括的な子育て支援の充実」(48.5%)等の順となっています。全体と比べると、あまり大きな差はありませんでした。

満足度(満足+やや満足)

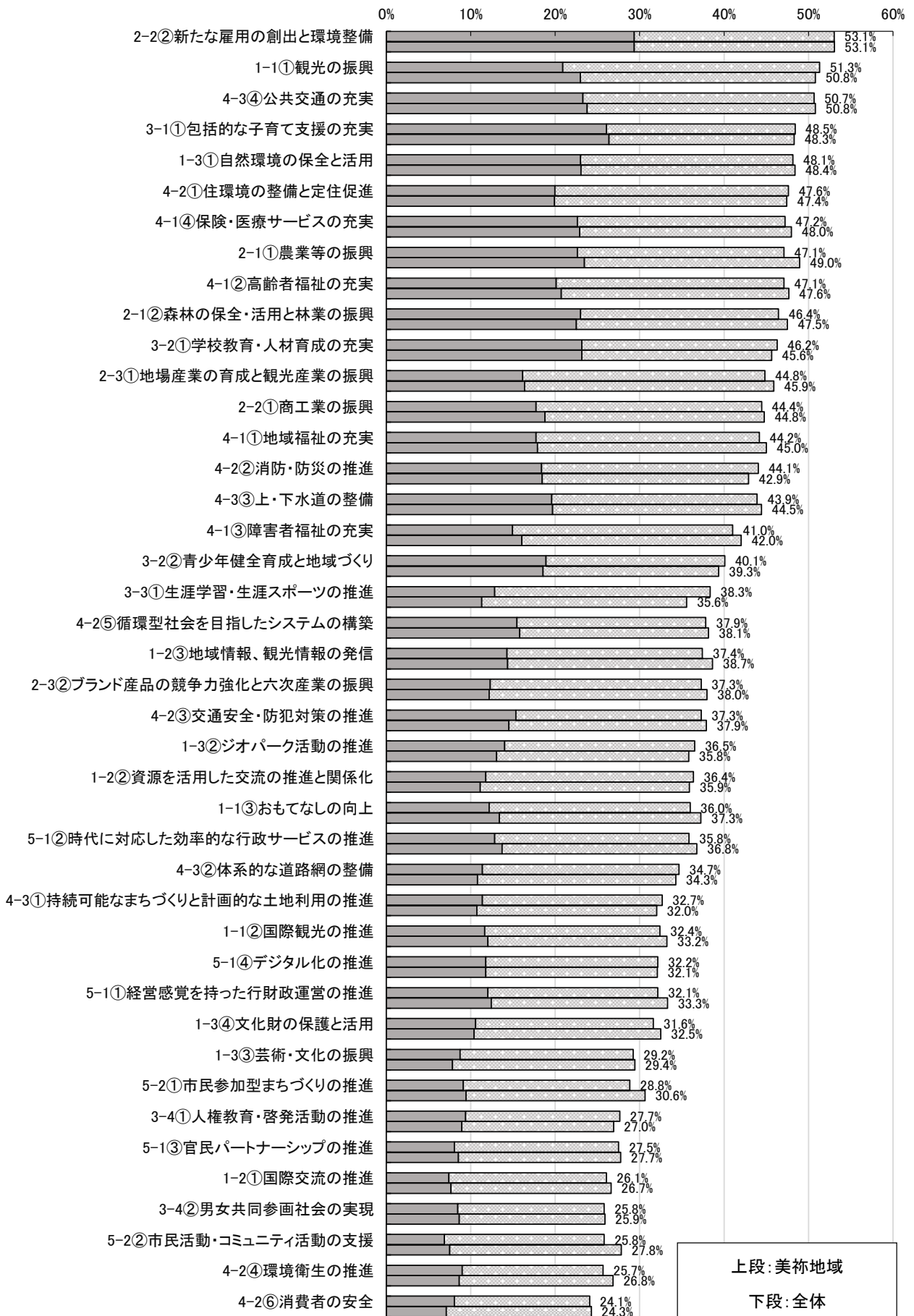


上段: 美祿地域

下段: 全体

■ 満足 □ やや満足

重要度(高い+やや高い)



上段:美祿地域

下段:全体

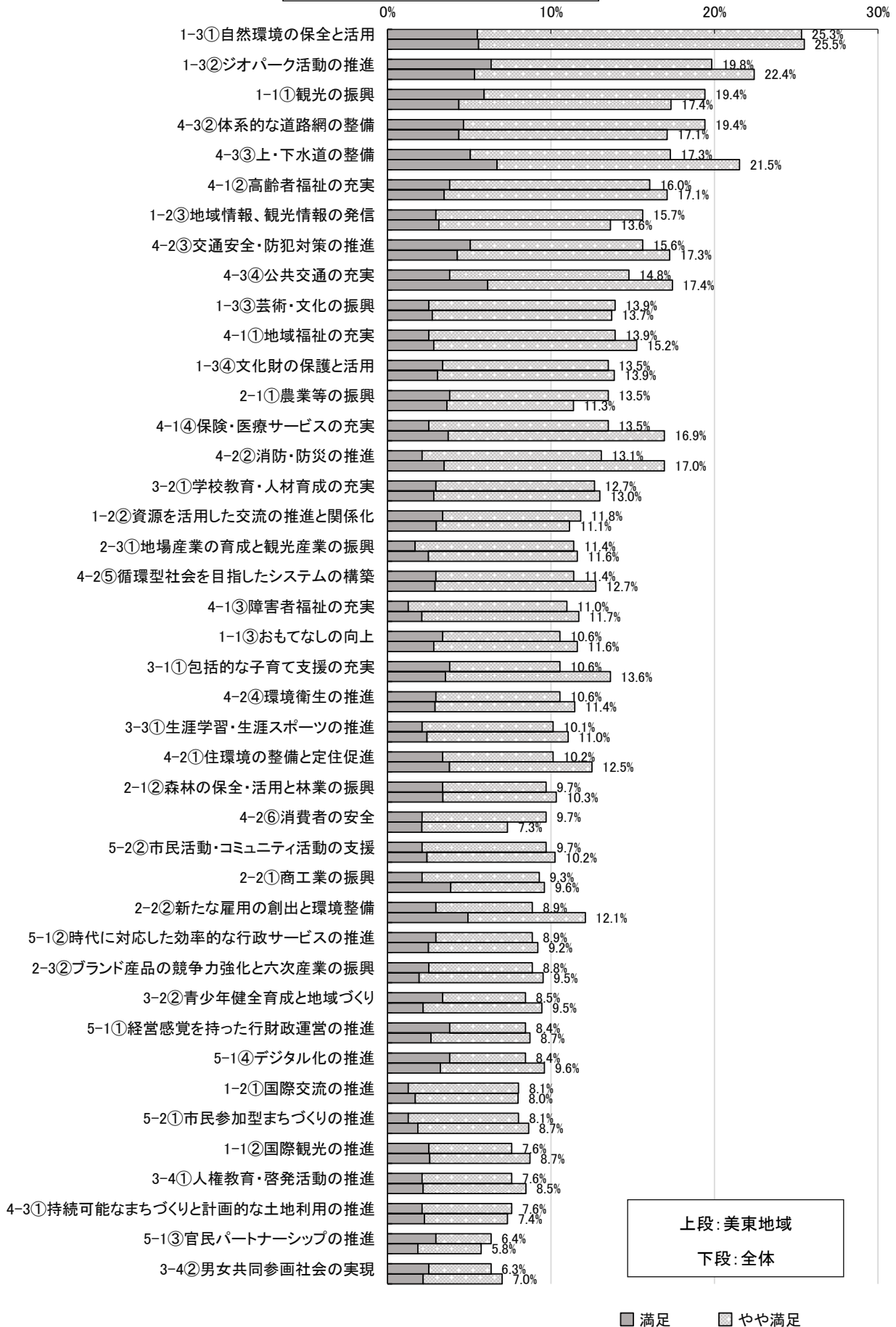
■ 高い □ やや高い

美東地域

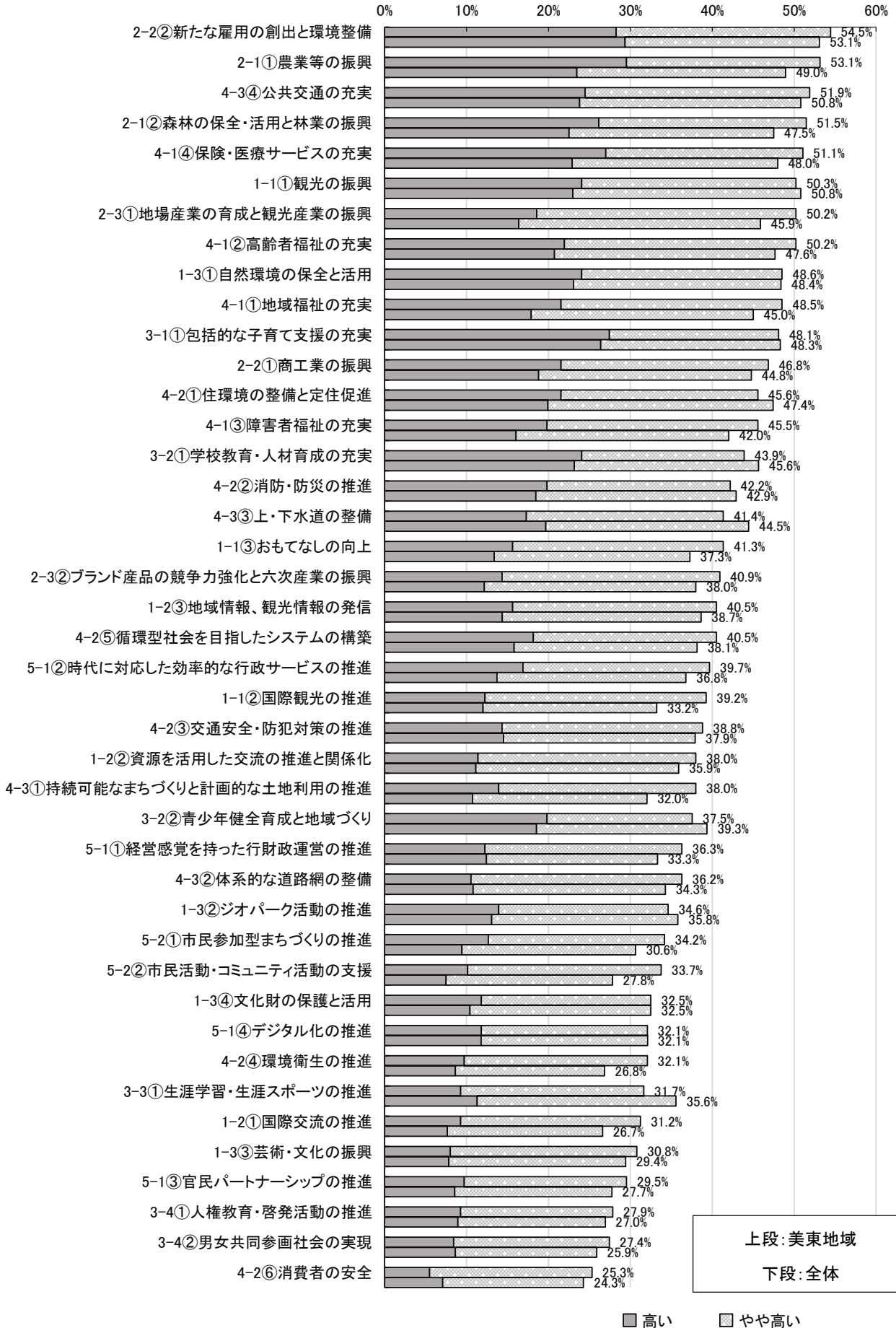
満足度については、「1-3①自然環境の保全と活用」が25.3%と最も高く、次いで「1-3②ジオパーク活動の推進」(19.8%)、「1-1①観光の振興」「4-3②体系的な道路網の整備」(それぞれ19.4%)等の順となっています。全体と比べると、「4-3③上・下水道の整備」が全体よりも4.2ポイント低くなっています。

重要度については、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」が54.5%と最も高く、次いで「2-1①農業等の振興」(53.1%)、「4-3④公共交通の充実」(51.9%)、「2-1②森林の保全・活用と林業の振興」(51.5%)、「4-1④保険・医療サービスの充実」(51.1%)等の順となっています。全体と比べると、「1-1②国際観光の推進」「4-3①持続可能なまちづくりと計画的な土地利用の推進」が全体よりもそれぞれ6.0ポイント高くなっています。

満足度(満足+やや満足)



重要度(高い+やや高い)



上段:美東地域

下段:全体

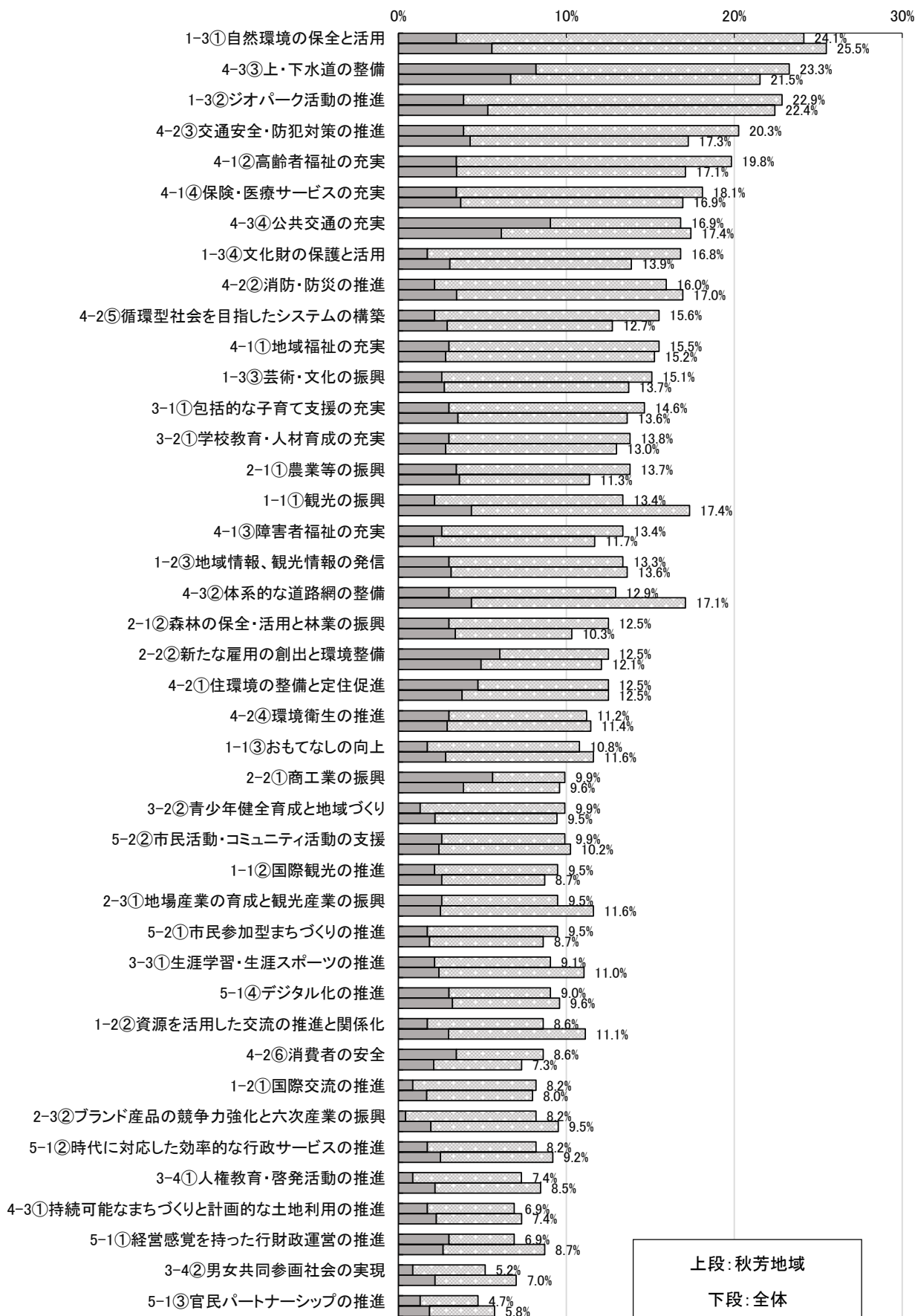
■ 高い □ やや高い

秋芳地域

満足度については、「1-3①自然環境の保全と活用」が24.1%と最も高く、次いで「4-3③上・下水道の整備」(23.3%)、「1-3②ジオパーク活動の推進」(22.9%)、「4-2③交通安全・防犯対策の推進」(20.3%)等の順となっています。全体と比べると、「4-3②体系的な道路網の整備」が全体よりも4.2ポイント低くなっています。

重要度については、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」が52.2%と最も高く、次いで「2-1①農業等の振興」(51.3%)、「4-3④公共交通の充実」(50.9%)、「4-2①住環境の整備と定住促進」(49.1%)等の順となっています。全体と比べると、「3-3①生涯学習・生涯スポーツの推進」が全体よりも4.2ポイント低くなっています。

満足度(満足+やや満足)

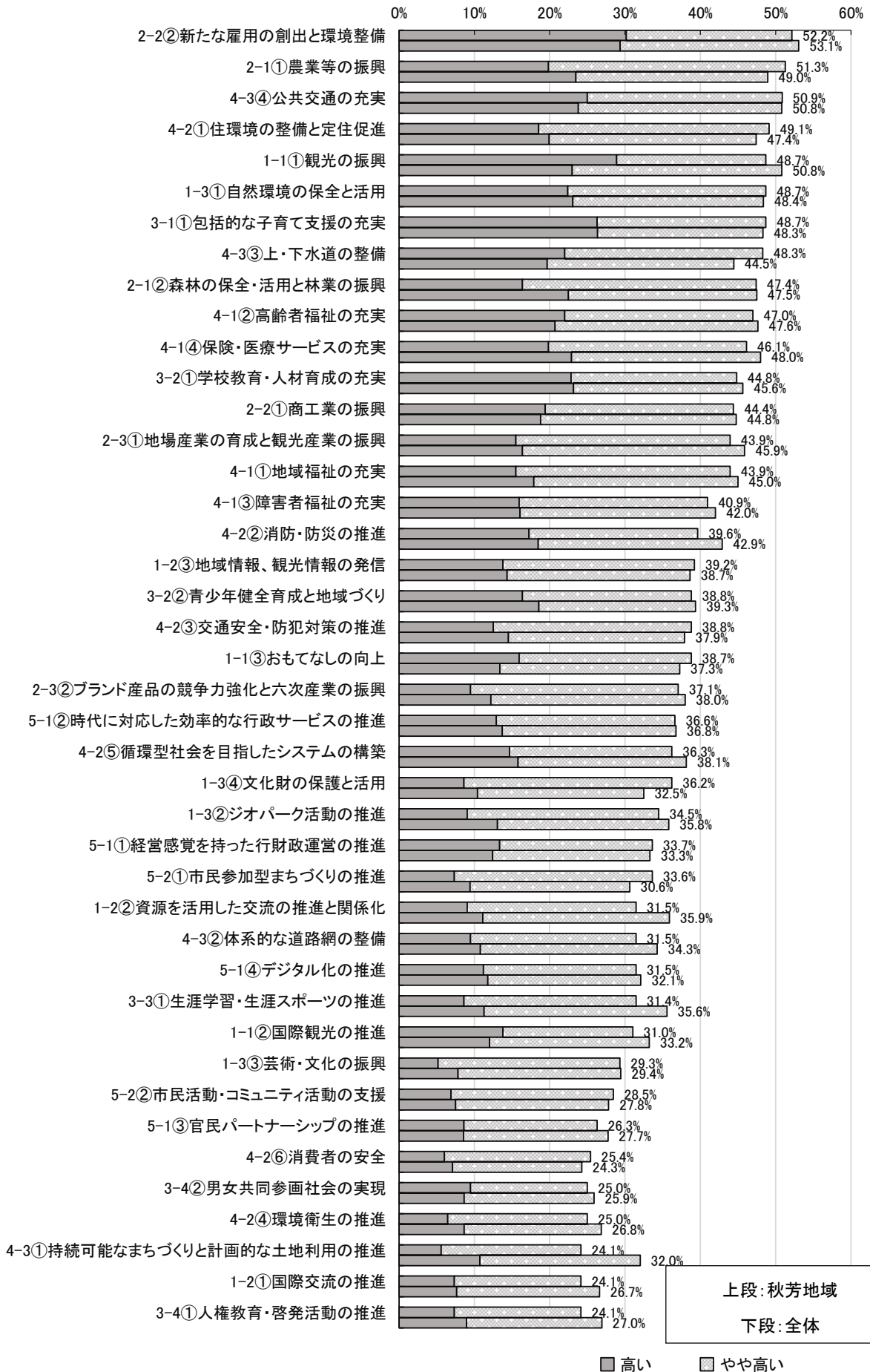


上段: 秋芳地域

下段: 全体

■ 満足 □ やや満足

重要度(高い+やや高い)

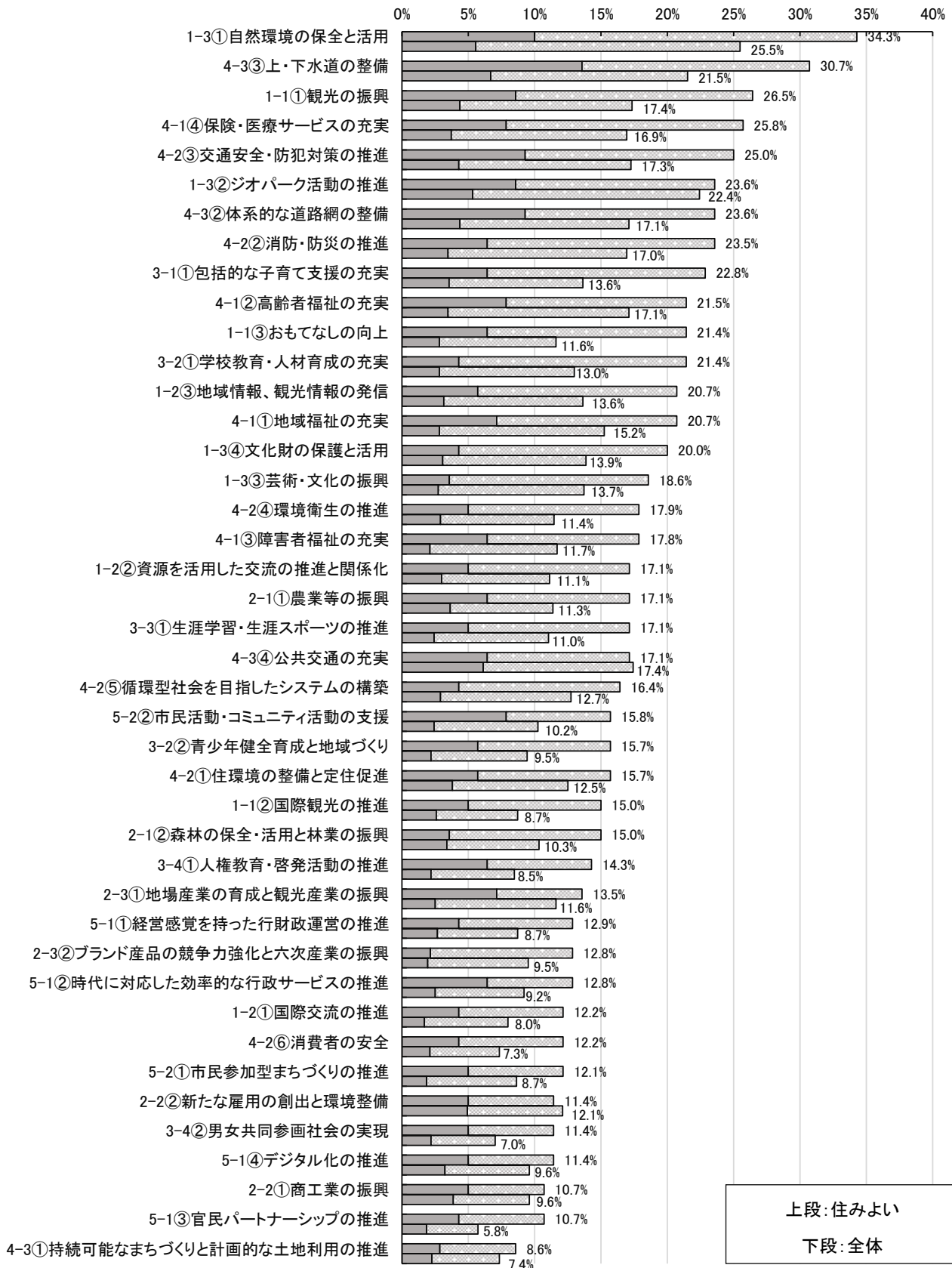


住みよい

満足度については、「1-3①自然環境の保全と活用」が34.3%と最も高く、次いで「4-3③上・下水道の整備」(30.7%)、「1-1①観光の振興」(26.5%)、「4-1④保健・医療サービスの充実」(25.8%)等の順となっています。全体と比べると、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」以外の項目で割合が高くなっています。

重要度については、「2-1②森林の保全・活用と林業の振興」が57.2%と最も高く、次いで「1-1①観光の振興」(55.0%)、「3-1①包括的な子育て支援の充実」(54.2%)、「2-1①農業等の振興」(53.5%)等の順となっています。全体と比べると、「2-1②森林の保全・活用と林業の振興」が全体よりも9.7ポイント高くなっています。

満足度(満足+やや満足)

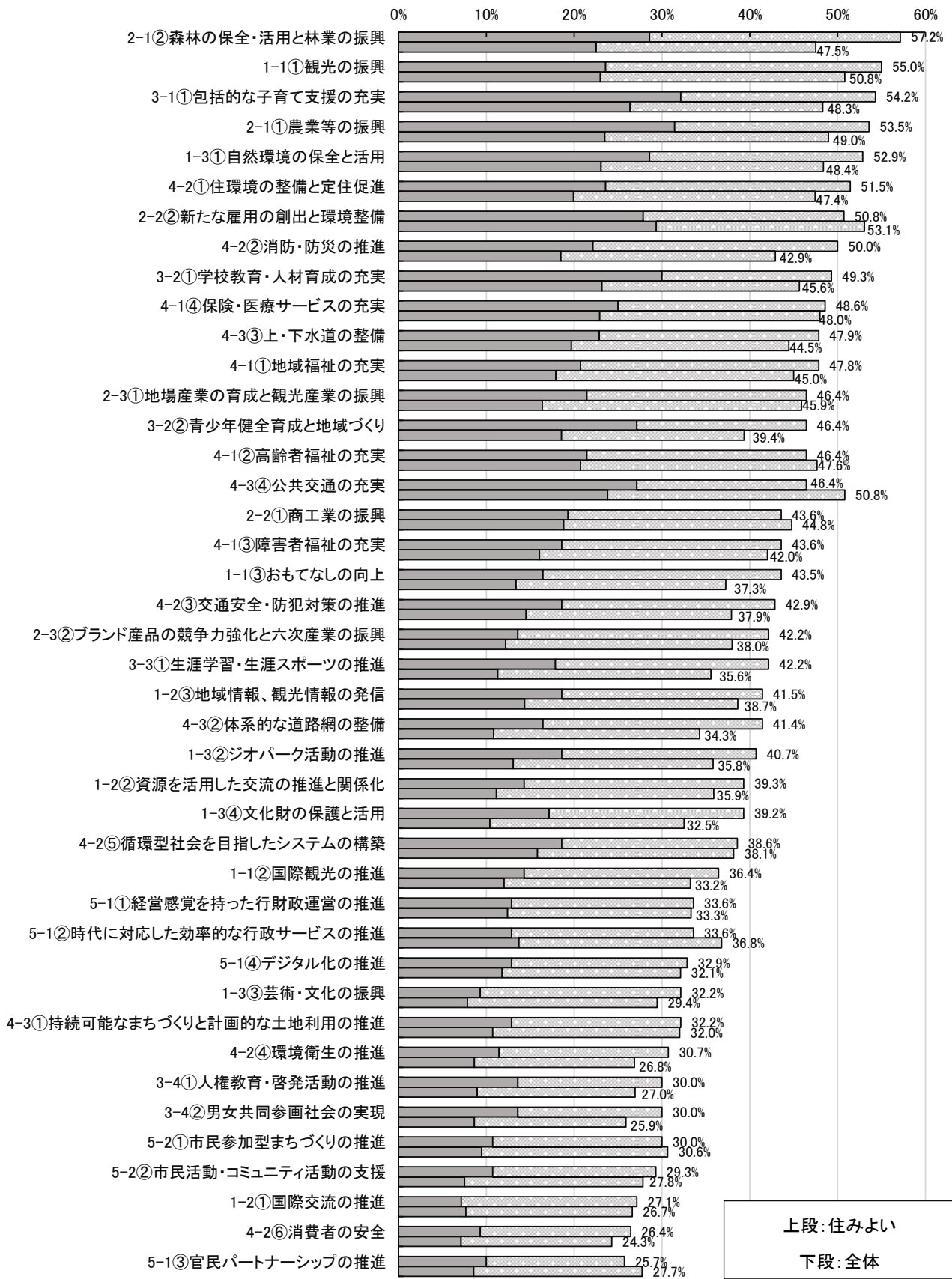


上段:住みよい

下段:全体

■ 満足 □ やや満足

重要度(高い+やや高い)



上段:住みよい

下段:全体

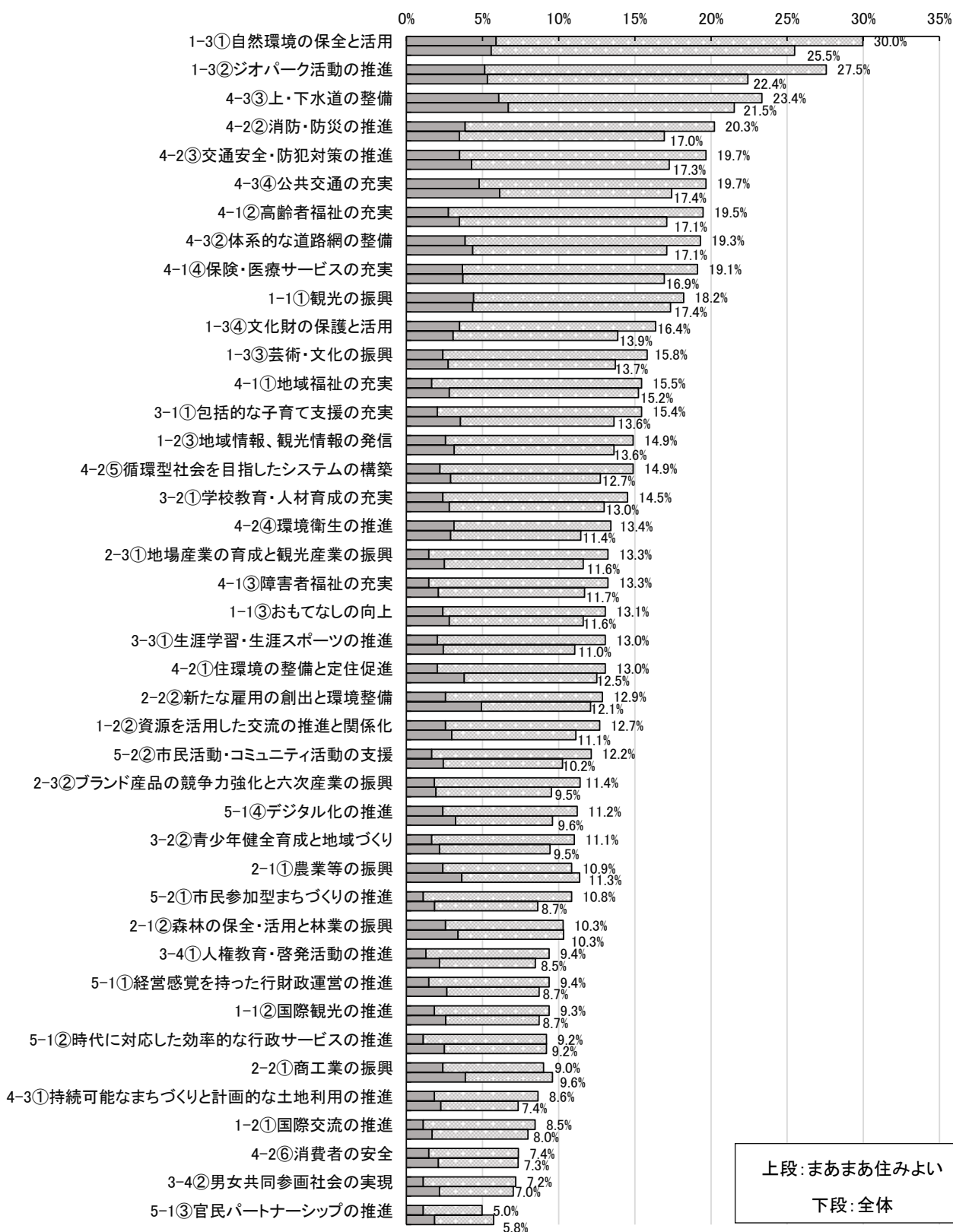
■ 高い □ やや高い

まあまあ住みよい

満足度については、「1-3①自然環境の保全と活用」が30.0%と最も高く、次いで「1-3②ジオパーク活動の推進」(27.5%)、「4-3③上・下水道の整備」(23.4%)、「4-2②消防・防災の推進」(20.3%)等の順となっています。全体と比べると、「1-3②ジオパーク活動の推進」が全体よりも5.1ポイント高くなっています。

重要度については、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」が52.8%と最も高く、次いで「1-1①観光の振興」(51.8%)、「1-3①自然環境の保全と活用」(51.5%)、「4-3④公共交通の充実」(50.5%)等の順となっています。全体と比べると、「1-2②資源を活用した交流の推進と関係化」が全体よりも4.3ポイント高くなっています。

満足度(満足+やや満足)

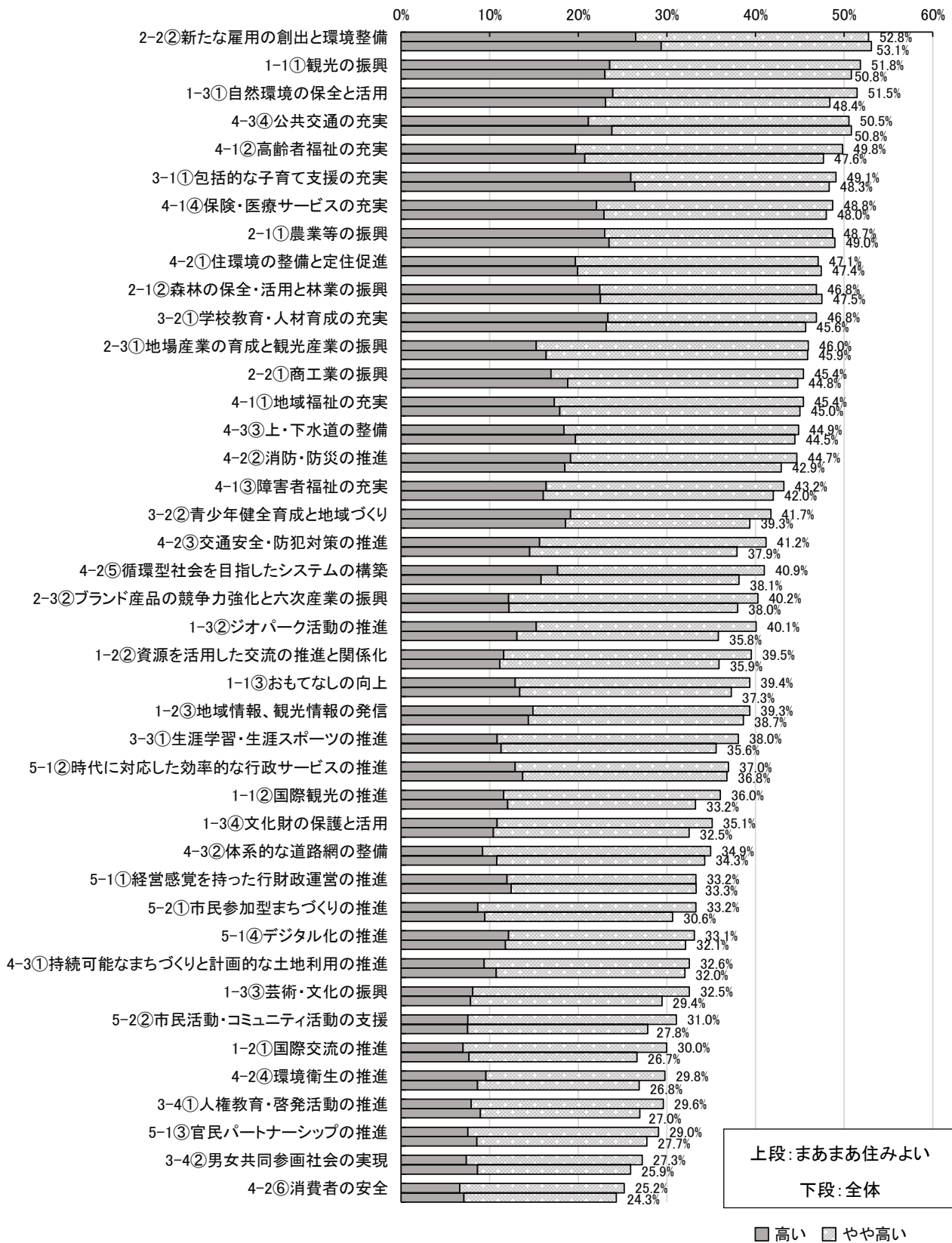


上段:まあまあ住みよい

下段:全体

■ 満足 □ やや満足

重要度(高い+やや高い)



上段:まあまあ住みよい

下段:全体

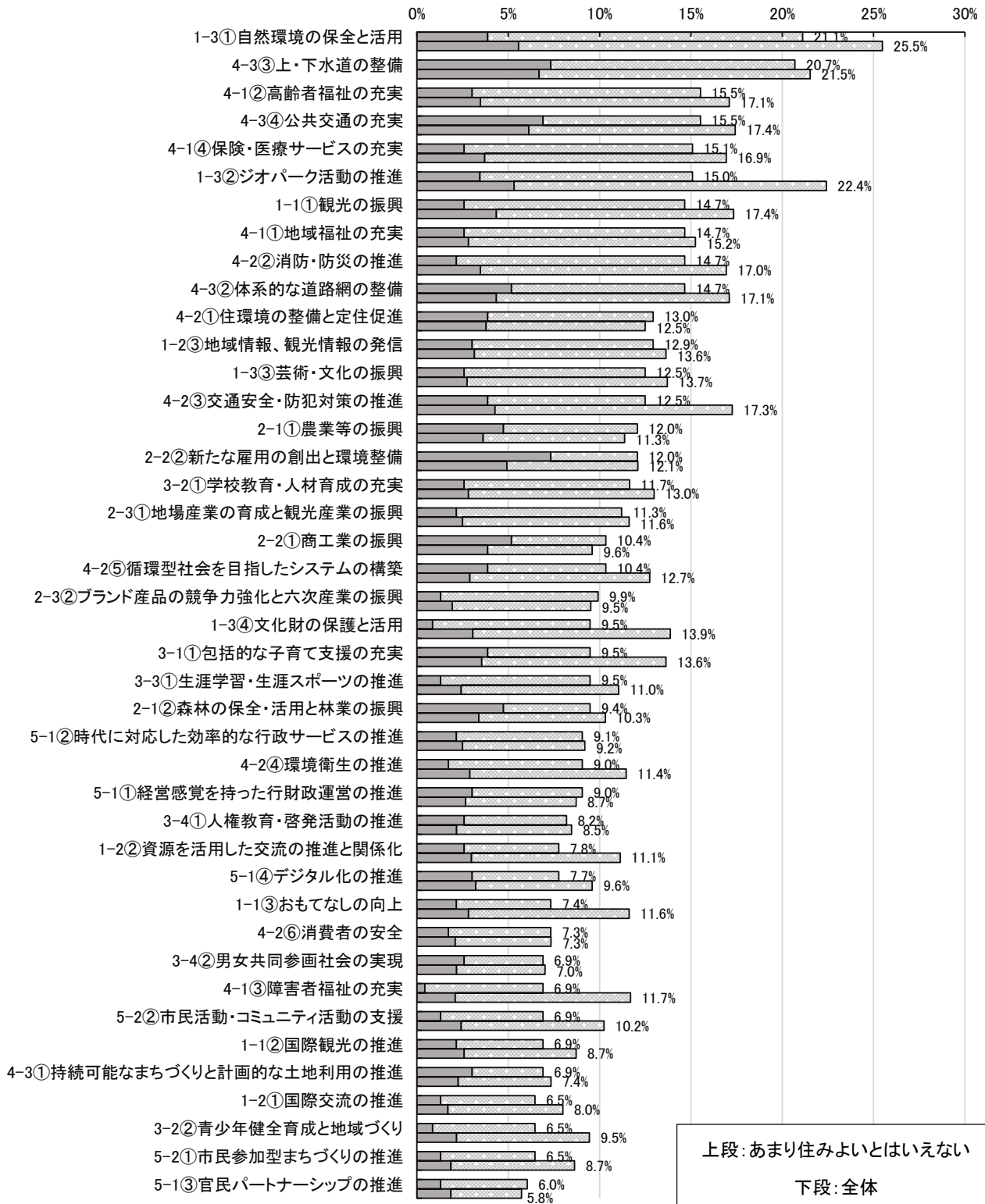
■ 高い □ やや高い

あまり住みよいとはいえない

満足度については、「1-3①自然環境の保全と活用」が21.2%と最も高く、次いで「4-3③上・下水道の整備」(20.7%)、「4-1②高齢者福祉の充実」「4-3④公共交通の充実」(それぞれ15.5%)、「4-1④保健・医療サービスの充実」(15.1%)等の順となっています。全体と比べると、「1-3②ジオパーク活動の推進」が全体よりも7.2ポイント低くなっています。

重要度については、「4-3④公共交通の充実」が54.7%と最も高く、次いで「1-1①観光の振興」(54.3%)、「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」(53.9%)、「4-2①住環境の整備と定住促進」(50.4%)等の順となっています。全体と比べると、「1-3②ジオパーク活動の推進」が全体よりも4.7ポイント低くなっています。

満足度(満足+やや満足)

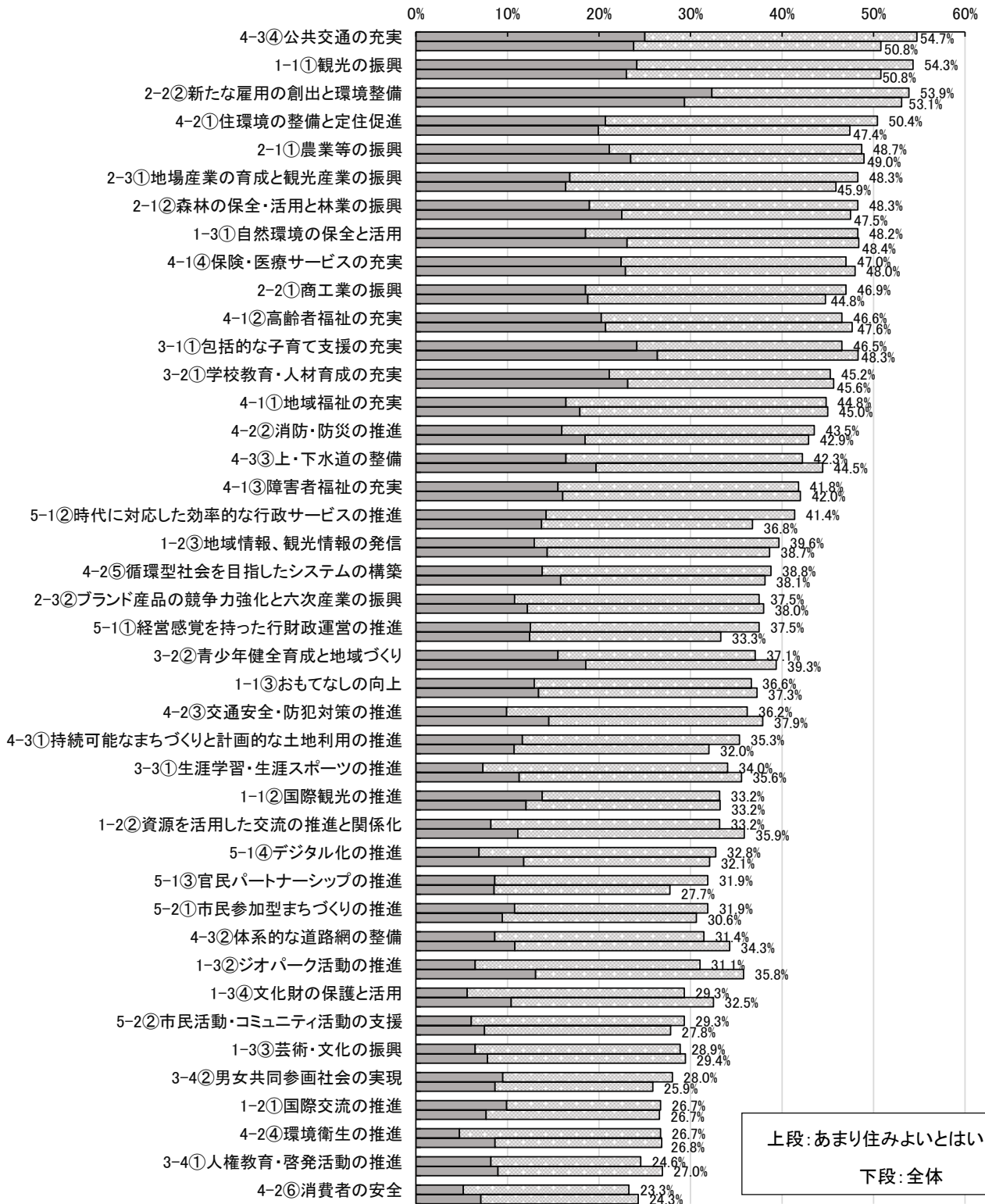


上段:あまり住みよいとはいえない

下段:全体

■ 満足 □ やや満足

重要度(高い+やや高い)



上段:あまり住みよいとはいえない

下段:全体

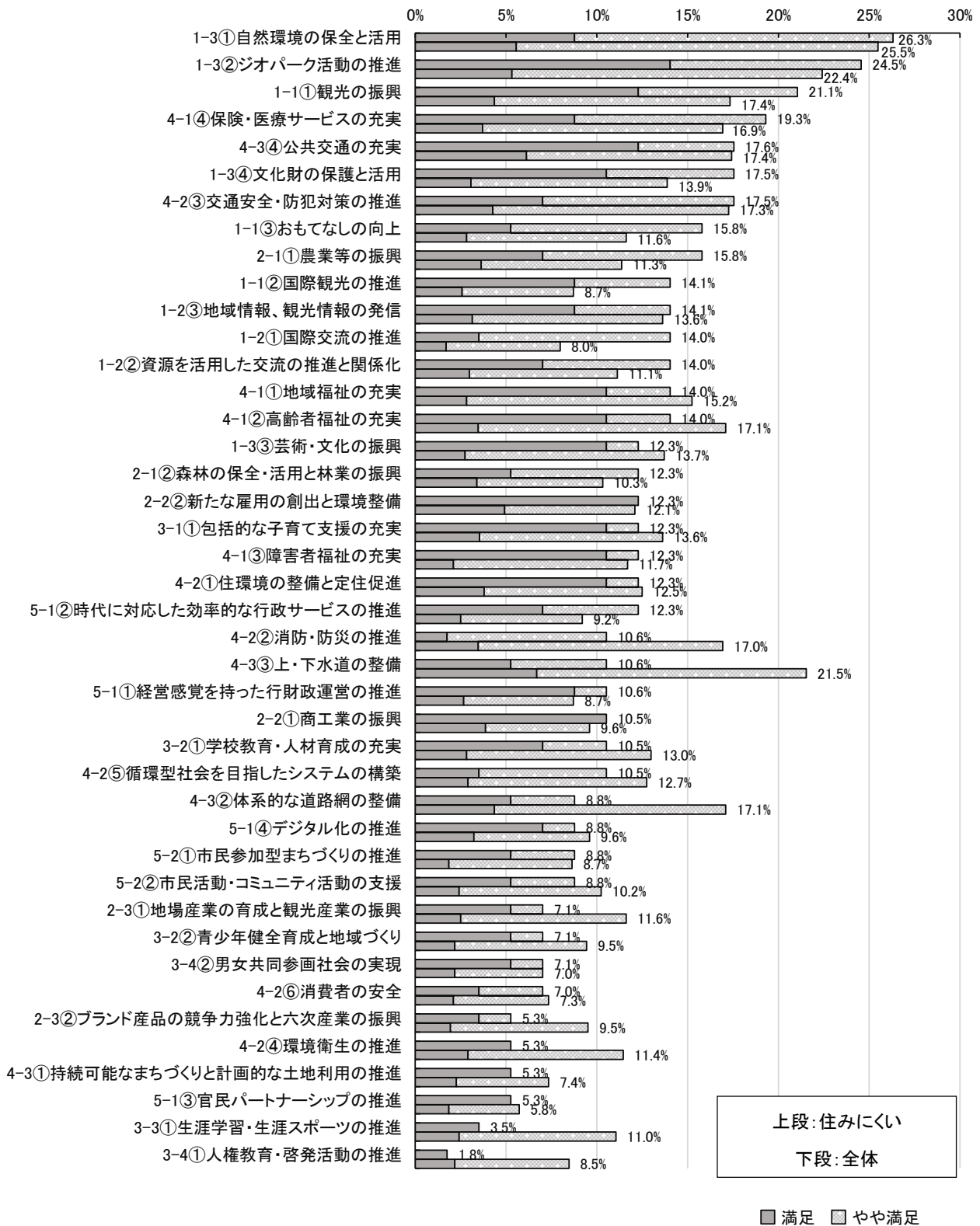
■ 高い □ やや高い

住みにくい

満足度については、「1-3①自然環境の保全と活用」が26.3%と最も高く、次いで「1-3②ジオパーク活動の推進」(24.5%)、「1-1①観光の振興」(21.1%)、「4-1④保健・医療サービスの充実」(19.3%)等の順となっています。全体と比べると、「4-3③上・下水道の整備」が全体よりも10.9ポイント低くなっています。

重要度については、「4-3④公共交通の充実」が59.6%と最も高く、次いで「2-2②新たな雇用の創出と環境整備」「4-1②高齢者福祉の充実」(それぞれ54.4%)、「4-3③上・下水道の整備」(52.6%)等の順となっています。全体と比べると、「5-2②市民活動・コミュニティ活動の支援」が全体よりも12.0ポイント低くなっています。

満足度(満足+やや満足)

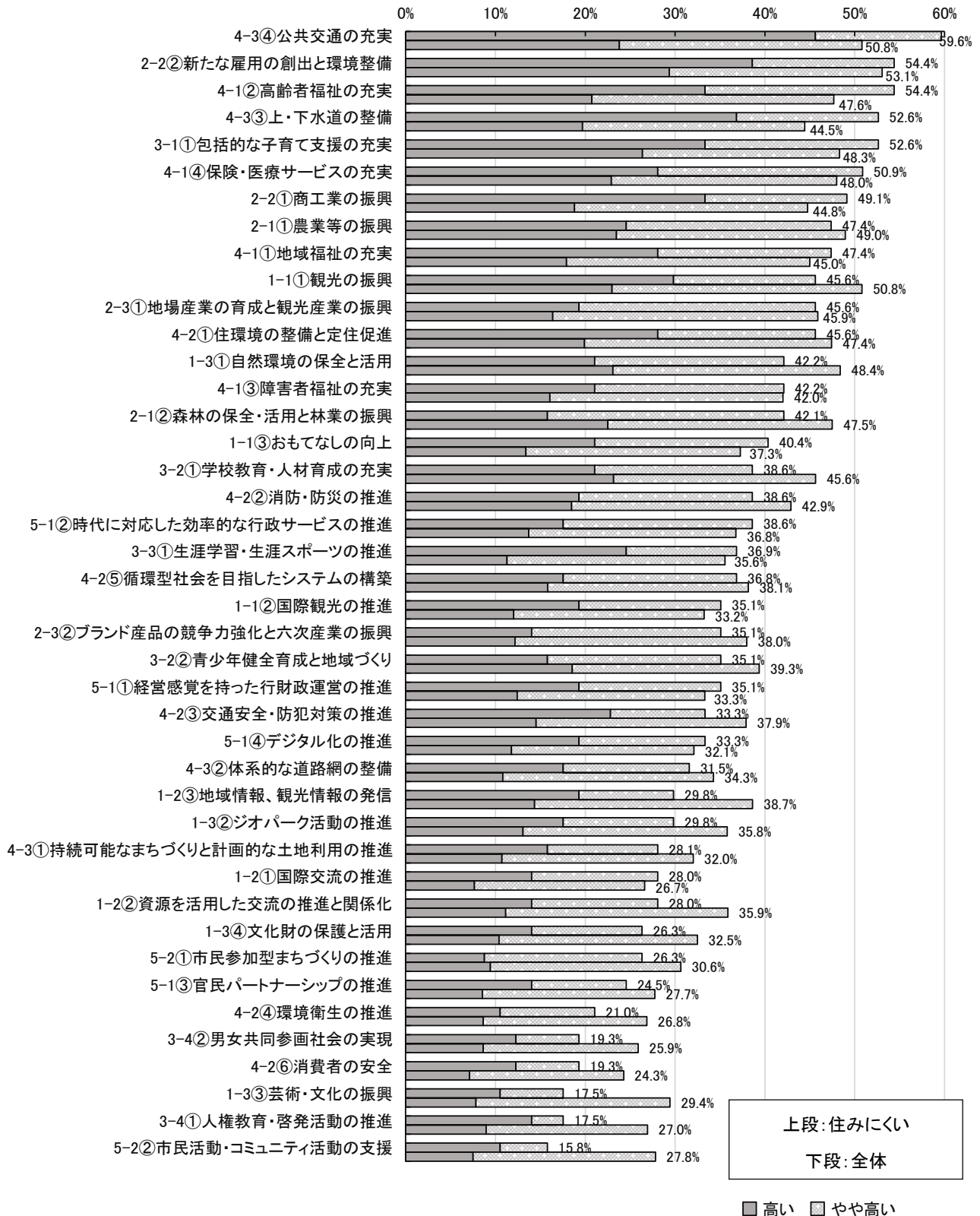


上段:住みにくい

下段:全体

■ 満足 □ やや満足

重要度(高い+やや高い)



上段:住みにくい

下段:全体

■ 高い □ やや高い

施策の満足度・重要度分析

(1) 満足度・重要度分析について

満足度・重要度により市の施策に対する市民の意向を相対的に分類することで、今後の方向性を検討する際の参考とするため、「問6美祢市の取組について」の結果をもとに、市民の考え方を散布図に整理しました。

以下の計算から、満足度・重要度の平均点を算出し、取組ごとの相対的な位置づけをより明らかにするために、全施策の平均点（重要度、満足度）の位置を軸としてグラフを作成し、4つのグループに分類しています。

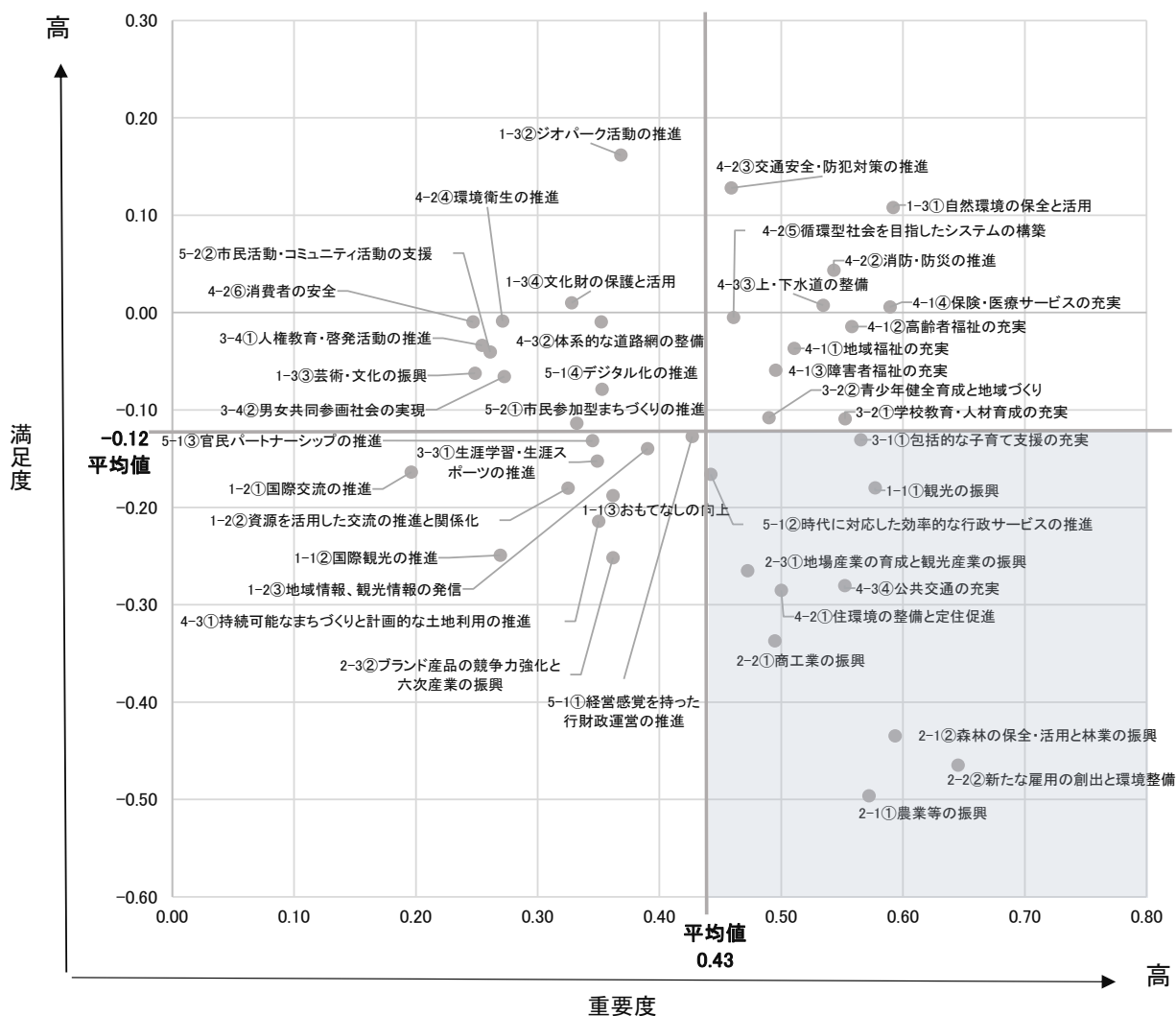
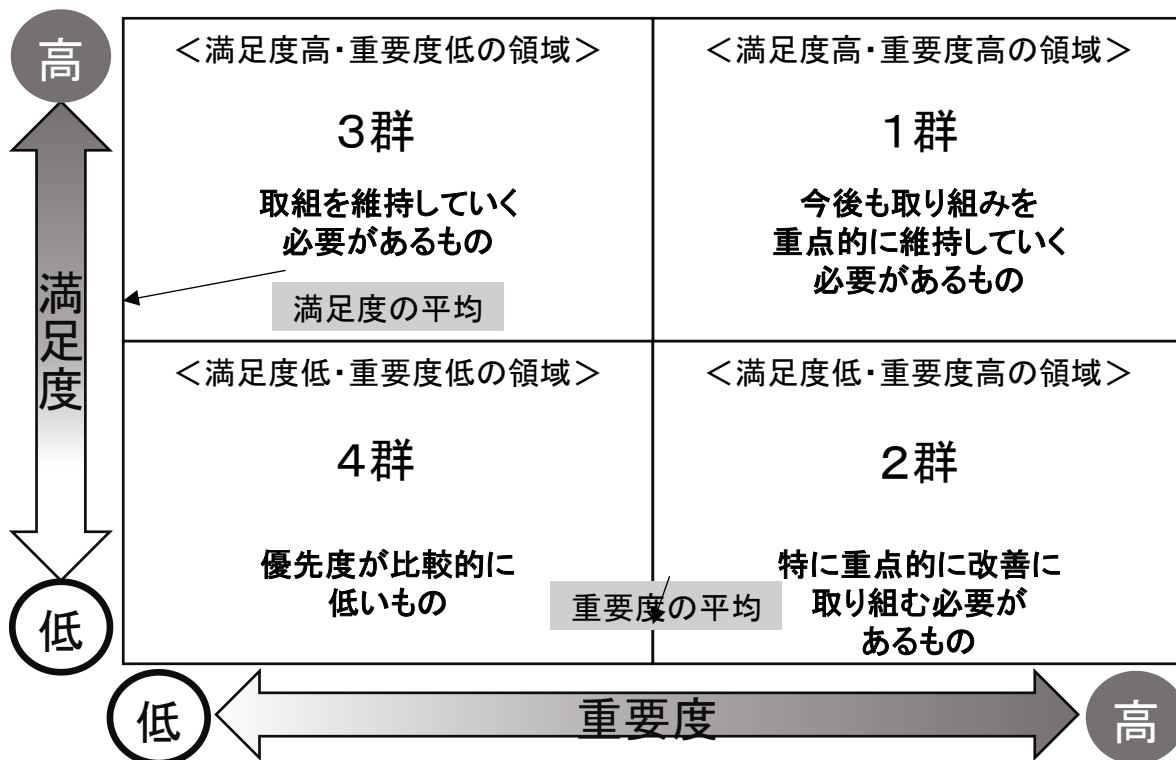
算出方法について

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 + \text{「普通」} \times 0 + \text{「やや不満」} \times -1 + \text{「不満」} \times -2}{\text{「無回答」「分からない」を除く有効回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「高い」} \times 2 + \text{「やや高い」} \times 1 + \text{「普通」} \times 0 + \text{「やや低い」} \times -1 + \text{「低い」} \times -2}{\text{「無回答」「分からない」を除く有効回答数}}$$

この算出方法により、評価点は2点～-2点の間に分布し、2点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-2点に近くなるほど評価が低くなります。

グラフの見方



【満足度・重要度評価の詳細】

【1群】重要度も満足度も高く、今後も取組を重点的に維持していく必要があるもの

項目			今回		前回				
			重要度	満足度	重要度	満足度	群		
1:「魅力の創出・交流」の拡大	3	①自然環境の保全と活用	0.59	↗	0.11	↗	0.26	-0.01	3群
3:市の宝となる「ひとの育成」	2	①学校教育・人材育成の充実	0.55	↘	-0.11	↘	0.72	-0.08	1群
		②青少年健全育成と地域づくり	0.49	↗	-0.11	↘	0.34	-0.05	3群
4:安全・安心な「まちづくり」	1	①地域福祉の充実	0.51	↗	-0.04	→	0.45	-0.04	1群
		②高齢者福祉の充実	0.56	↘	-0.01	↗	0.78	-0.09	1群
		③障害者福祉の充実	0.50	↘	-0.06	↗	0.54	-0.10	1群
		④保健・医療サービスの充実	0.59	↘	0.01	↗	0.88	-0.35	2群
	2	②消防・防災の推進	0.54	↗	0.04	↘	0.47	0.09	1群
		③交通安全・防犯対策の推進	0.46	↗	0.13	↘	0.45	0.14	1群
		⑤循環型社会を目指したシステムの構築	0.46	↗	0.00	→	0.34	0.00	3群
3	③上・下水道の整備	0.53	↗	0.01	↗	0.51	-0.04	1群	

【2群】重要度は高いが満足度が低く、特に重点的に改善に取り組む必要があるもの

項目			今回		前回				
			重要度	満足度	重要度	満足度	群		
1:「魅力の創出・交流」の拡大	1	①観光の振興	0.58	↗	-0.18	↗	0.52	-0.20	2群
2:強みを活かした「産業の振興」	1	①農業等の振興	0.57	↗	-0.50	↘	0.45	-0.38	2群
		②森林の保全・活用と林業の振興	0.59	-	-0.43	-	-	-	-
	2	①商工業の振興	0.49	↗	-0.34	↗	0.44	-0.50	2群
		②新たな雇用の創出と環境整備	0.65	↗	-0.46	↗	0.63	-0.48	2群
3	①地場産業の育成と観光産業の振興	0.47	↗	-0.26	↗	0.42	-0.33	2群	
3:市の宝となる「ひとの育成」	1	①包括的な子育て支援の充実	0.57	↘	-0.13	↘	0.63	-0.09	1群
4:安全・安心な「まちづくり」	2	①住環境の整備と定住促進	0.50	↗	-0.29	↘	0.33	-0.17	4群
	3	④公共交通の充実	0.55	→	-0.28	↗	0.55	-0.64	2群
5:「行財政運営」の強化	1	②時代に対応した効率的な行政サービスの推進	0.44	→	-0.17	↗	0.44	-0.30	2群

【3群】重要度は低いが満足度が高く、今後も取組を維持していく必要があるもの

項目			今回		前回				
			重要度	満足度	重要度	満足度	群		
1:「魅力の創出・交流」の拡大	3	②ジオパーク活動の推進	0.37	↗	0.16	↗	0.14	-0.03	3群
		③芸術・文化の振興	0.25	↗	-0.06	↗	0.16	-0.11	3群
		④文化財の保護と活用	0.33	↗	0.01	↗	0.26	-0.02	3群
3:市の宝となる「ひとの育成」	4	①人権教育・啓発活動の推進	0.25	↗	-0.03	→	0.21	-0.03	3群
		②男女共同参画社会の実現	0.27	↗	-0.07	→	0.17	-0.07	3群
4:安全・安心な「まちづくり」	2	④環境衛生の推進	0.27	↗	-0.01	↗	0.18	-0.03	3群
		⑥消費者の安全	0.25	↘	-0.01	↘	0.31	0.01	3群
	3	②体系的な道路網の整備	0.35	↗	-0.01	↘	0.33	0.17	3群
5:「行財政運営」の強化	1	④デジタル化の推進	0.35	-	-0.08	-	-	-	-
	2	①市民参加型まちづくりの推進	0.33	↗	-0.11	↗	0.28	-0.15	3群
②市民活動・コミュニティ活動の支援		0.26	↗	-0.04	↗	0.21	-0.11	3群	

【4群】重要度も満足度も低く、優先度が比較的に低いもの

項目			今回		前回				
			重要度	満足度	重要度	満足度	群		
1:「魅力の創出・交流」の拡大	1	②国際観光の推進	0.27	-	-0.25	-	-	-	-
		③おもてなしの向上	0.36	↗	-0.19	↗	0.22	-0.20	4群
		①国際交流の推進	0.20	↗	-0.16	↘	0.09	-0.08	3群
	2	②資源を活用した交流の推進と関係化	0.32	-	-0.18	-	-	-	-
		③地域情報、観光情報の発信	0.39	-	-0.14	-	-	-	-
2:強みを活かした「産業の振興」	3	②ブランド製品の競争力強化と六次産業の振興	0.36	↘	-0.25	↗	0.45	-0.28	2群
3:市の宝となる「ひとの育成」	3	①生涯学習・生涯スポーツの推進	0.35	↘	-0.15	↘	0.36	-0.06	3群
4:安全・安心な「まちづくり」	3	①持続可能なまちづくりと計画的な土地利用の推進	0.35	↗	-0.21	↗	0.27	-0.48	4群
5:「行財政運営」の強化	1	①経営感覚を持った行財政運営の推進	0.43	↘	-0.13	↗	0.47	-0.25	2群
		③官民パートナーシップの推進	0.35	↗	-0.13	↗	0.24	-0.18	4群

【問2で住みよいと答えた人の満足度・重要度評価 2群】

【2群】重要度は高いが満足度が低く、特に重点的に改善に取り組む必要があるもの

項目		重要度	満足度	
1:「魅力の創出・交流」の拡大	2	③地域情報、観光情報の発信	0.50	0.10
	3	④文化財の保護と活用	0.52	0.12
3:市の宝となる「ひとの育成」	4	①人権教育・啓発活動の推進	0.33	0.20
		②男女共同参画社会の実現	0.48	0.10
4:安全・安心な「まちづくり」	2	④環境衛生の推進	0.41	0.20
		⑥消費者の安全	0.33	0.17
5:「行財政運営」の強化	1	①経営感覚を持った行財政運営の推進	0.52	0.10
		②時代に対応した効率的な行政サービスの推進	0.48	0.13
		③官民パートナーシップの推進	0.41	0.11
	2	②市民活動・コミュニティ活動の支援	0.30	0.16

【問2で住みにくいと答えた人の満足度・重要度評価 2群】

【2群】重要度は高いが満足度が低く、特に重点的に改善に取り組む必要があるもの

項目		重要度	満足度	
1:「魅力の創出・交流」の拡大	3	②ジオパーク活動の推進	0.43	0.19
		③芸術・文化の振興	0.08	-0.15
		④文化財の保護と活用	0.38	0.10
4:安全・安心な「まちづくり」	2	④環境衛生の推進	0.28	-0.18
		⑥消費者の安全	0.28	-0.19
5:「行財政運営」の強化	1	③官民パートナーシップの推進	0.34	-0.27
	2	②市民活動・コミュニティ活動の支援	0.10	-0.14

7 観光や産業振興のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと

問7 観光や産業振興のために、今後市が力を入れるべきだと思うことを教えてください。(それぞれ〇は3つまで)

(1) 観光の活性化

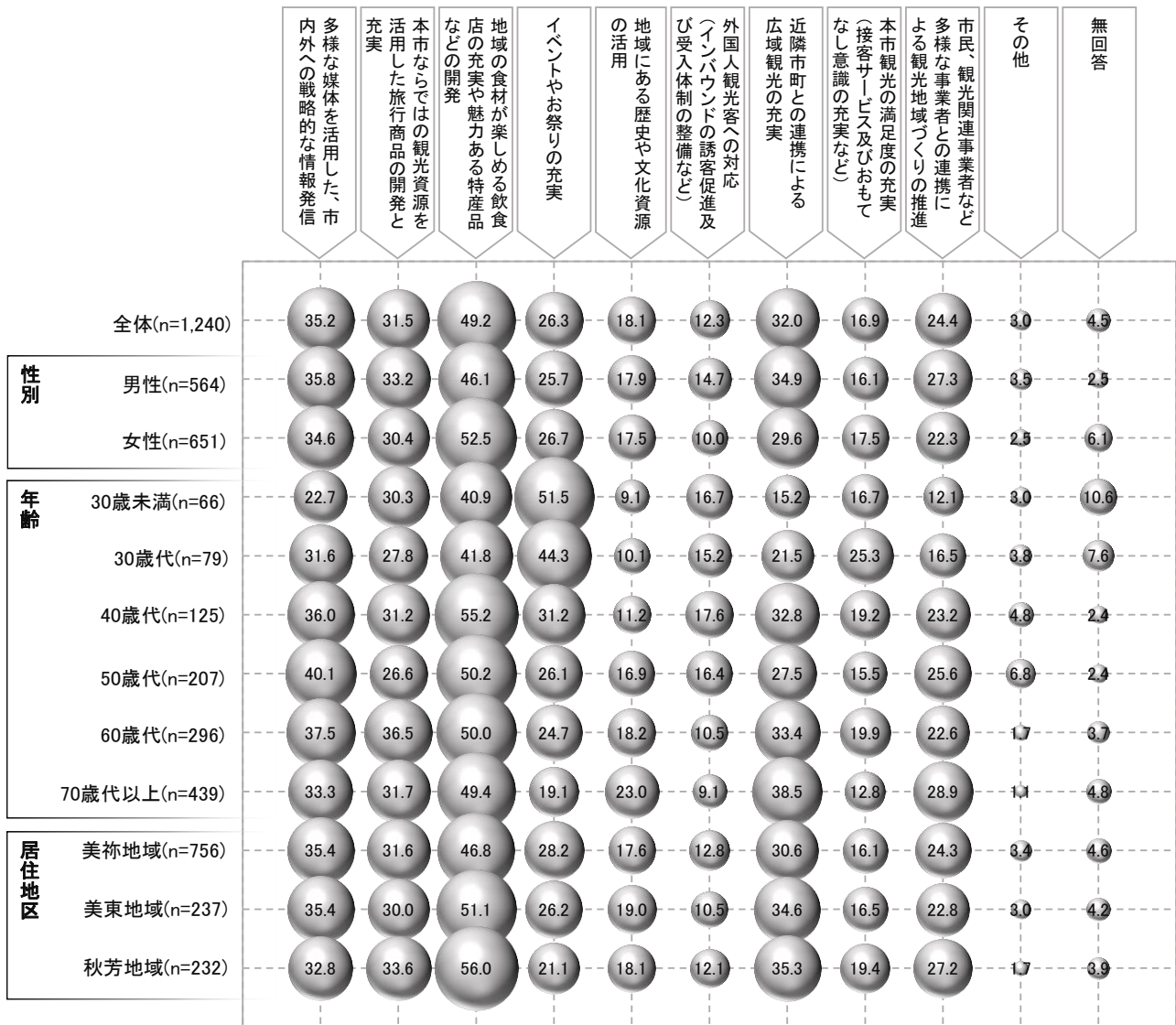
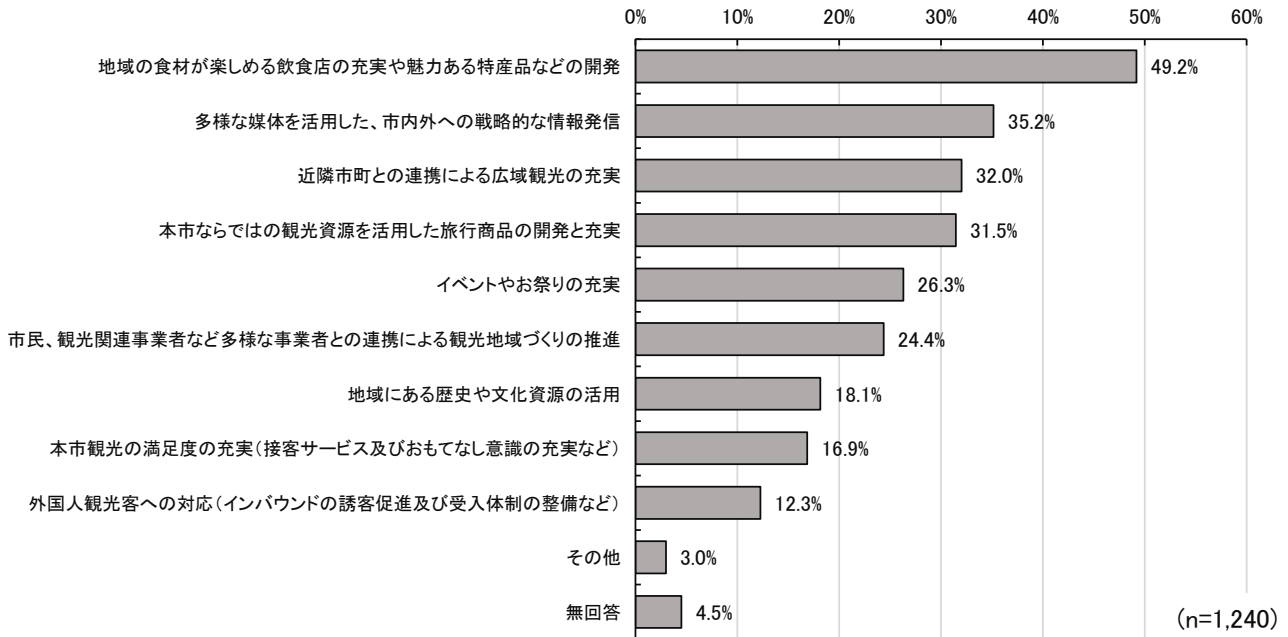
観光の活性化のために、市が力を入れるべきことについては、「地域の食材が楽しめる飲食店の充実や魅力ある特産品などの開発」が49.2%と最も高く、次いで「多様な媒体を活用した、市内外への戦略的な情報発信」(35.2%)、「近隣市町との連携による広域観光の充実」(32.0%)、「本市ならではの観光資源を活用した旅行商品の開発と充実」(31.5%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「地域の食材が楽しめる飲食店の充実や魅力ある特産品などの開発」では、女性が52.5%で男性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「イベントやお祭りの充実」では、30歳未満が51.5%で他の年代に比べて割合が高く、年齢が高くなるにつれ、割合が低くなっています。居住地区で比較すると、「地域の食材が楽しめる飲食店の充実や魅力ある特産品などの開発」では、秋芳地域が56.0%で他の地区に比べて割合がやや高くなっています。

[その他]

秋吉台は走るだけでもすばらしいので少額でも良いのでお金を取ったらどうだろうか。トイレなども使用するので/団体宿泊施設などの受入体制の整備/宿泊施設の充実/食材の開発もいいが美祢の特産を作ったケーキ屋さんや、ホテルの充実や食べ物屋さんがあったらいいと思う/収益が見込める観光イベントの創出/秋吉台を活用した宿泊型・体験型事業/美祢に来たらこのお菓子、市外の方へ送る時にはこれ、日持ちもするだからでも喜ばれる品がほしい/美祢市には重要な史跡がたくさんあります。整備したり、工夫してアピールした方が良い(例・厚保の小杉にある物語(飯沼貞吉さん)をアピールする。看板もわからない所にあります。・奇兵隊本陣跡・金麗社・江原)/みとう道の駅の建替え/大型宿泊施設の確保・維持/滞在施設(宿泊)の誘致/人材育成/秋芳ロイヤルホテル後の宿泊施設復活/先日の100kmマラソンなど、地元民がやってるか分からない様なイベント等やっている様では何も変わらないと思う/8の充実、サービスより周りにあそぶ場がない/良い観光地が多いのに行きにくい、車がないと行けない/一人暮らしの高齢者が多く介護付きの地元観光などあれば…/楽しませ方が古い(見せるだけでは子供は来ません)/星野リゾートの誘致と共同観光振興/観光課、観光協会職員の態度を変える/サブメインの観光地(環境)の定期的メンテ→各地区に有る名勝でも手入れがなってない。例えば・於福洞に行ったら草ぼうぼう・市役所前のモニュメントロードも各モニュメントがサビあげている/秋吉台をかかえて土地だけは拡大なので、テーマパーク的な、土地を生かした女性客を呼べそうな観行施設などが増えた方が観光の充実がはかれそう/他市や他地域の成功例を模倣しないこと、設備を造るのみならず事後の継続整備が必要/都市開発/せっかく日本の中でも誇れる観光資源や、利便性の高い立地条件なのに、活かしきれてなくてもったいないと思う/観光客受け入れの大型(有名)ホテル・旅館を/美祢線の便数を増やし、朝早く夜遅い便も走らせる。厚狭駅の職員が美祢線の利用促進活動のことを知らなかったり、NHK山口のアナウンサーが全国放送で湯本温泉へ行くのに鉄道ではなく自動車を使えと言ったりしているようではダメだ/利便性の向上(アクセス等)/秋吉台周辺のリゾート化/観光地とその周辺、経路周辺の環境整備、メンテナンスなど。廃屋や荒れ地が多く景観が悪すぎる/宿泊施設を整備しない観光への投資は無意味/電車の資金を、観光バス、空港からの直行便、増やせないか?/秋吉台トレイルのような本物は良い広報の表れだと思う/外の人から見た美祢市を知ること

【観光の活性化のために、力を入れるべきこと】



(2) 産業の振興

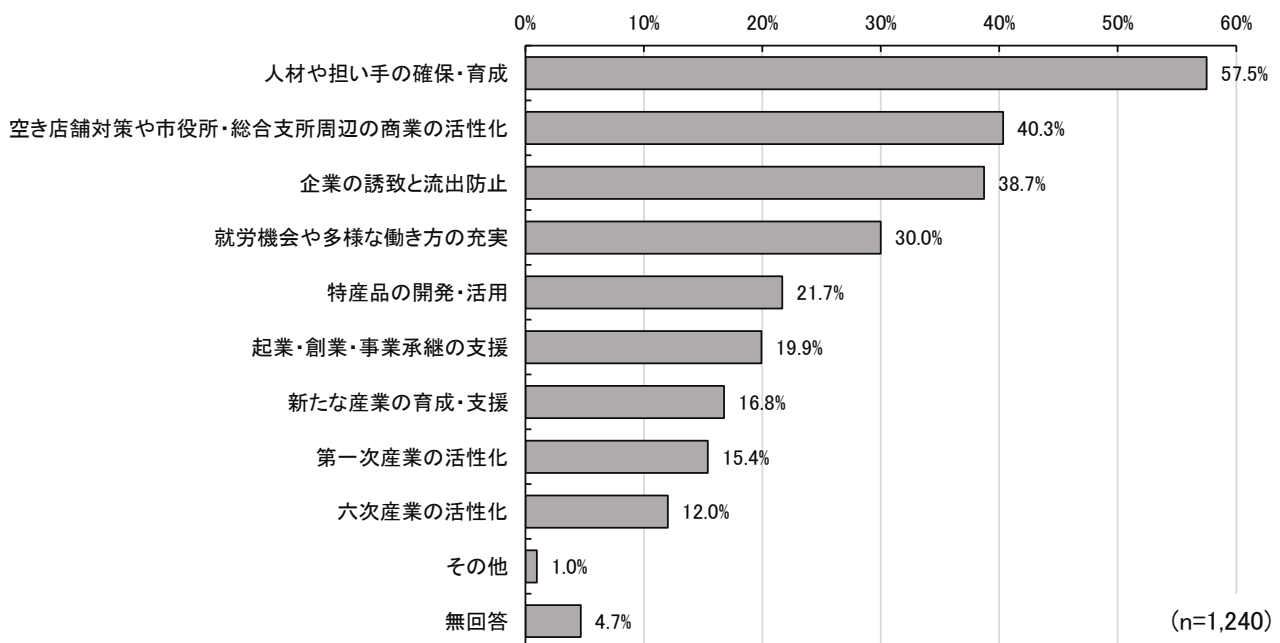
産業の振興のために、市が力を入れるべきことについては、「人材や担い手の確保・育成」が57.5%と最も高く、次いで「空き店舗対策や市役所・総合支所周辺の商業の活性化」(40.3%)、「企業の誘致と流出防止」(38.7%)、「就労機会や多様な働き方の充実」(30.0%)等の順となっています。

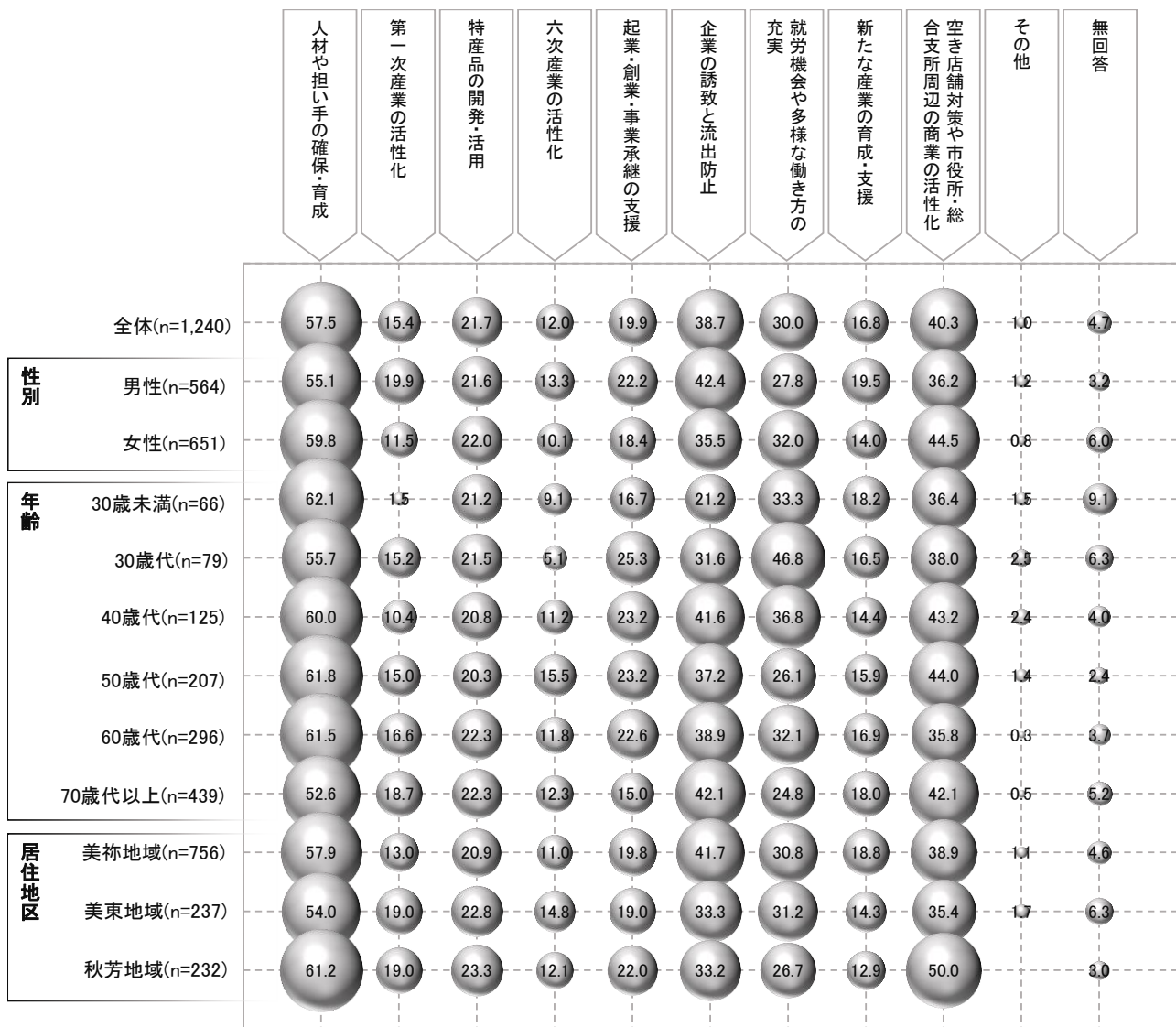
属性別にみると、性別で比較すると、「第一次産業の活性化」では、男性が19.9%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「企業の誘致と流出防止」では、30歳未満が21.2%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区で比較すると、「空き店舗対策や市役所・総合支所周辺の商業の活性化」では、秋芳地域が50.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

[その他]

空き家の解体の補助金制度を美祢市以外の業社も認めてほしい/大きい会社・産業の流入促進を…/耕作放棄地を減らす為に、広域的な農業起業や法人の誘地/企業誘致がなによりも最優先だと思います/店がない/他市や他地域の模倣をしないこと、まず自市を分析することから始めよ/長野の白馬村の「村ガチャ」みたいな、お金をかけずとも特異なおもしろいサービスができると思う。美祢に興味関心が持てて好きになってもらえる/短期型の就業プラン(収穫等の繁忙期に若者をバイトやボランティアで農業体験させる、とか)/本当にやる気のある者への支援/市内事業所の求人募集の発信拡大

【産業の振興のために、力を入れるべきこと】





8 健康や福祉の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと

問8 健康や福祉の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うことを教えてください。(それぞれ〇は3つまで)

(1) 健康づくり

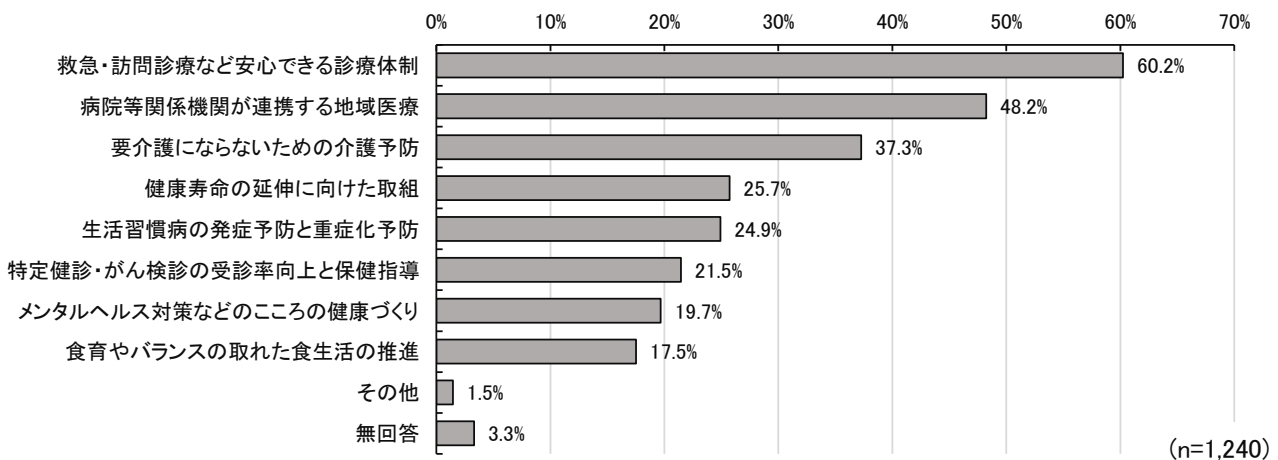
健康づくりのために、市が力を入れるべきことについては、「救急・訪問診療など安心できる診療体制」が60.2%と最も高く、次いで「病院等関係機関が連携する地域医療」(48.2%)、「要介護にならない為の介護予防」(37.3%)、「健康寿命の延伸に向けた取組」(25.7%)等の順となっています。

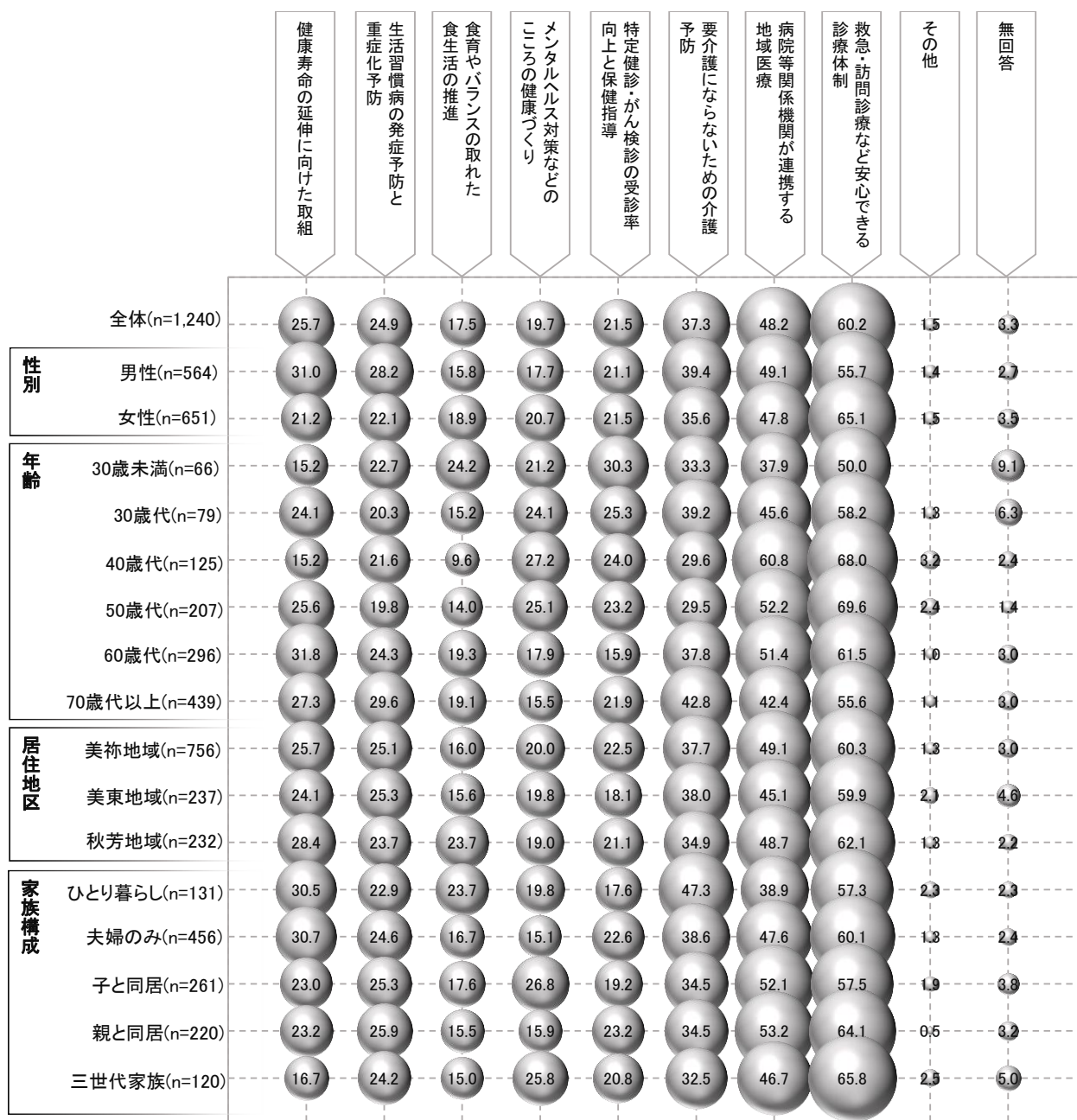
属性別にみると、性別で比較すると、「健康寿命の延伸に向けた取組」では、男性が31.0%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「要介護にならないための介護予防」では、70歳代以上が42.8%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区では、あまり大きな差はありませんでした。家族構成で比較すると、「健康寿命の延伸に向けた取組」では、三世帯家族が16.7%で他の家族構成に比べて割合が低くなっています。

[その他]

救急車を断らない病院作り、病院の統合/高齢者(75才以上)の特定健診の実施/小児・産婦人科の充実/障害者の入所施設が足りない(あそかの園しかない)もっと充実、増加してほしい/総合病院の診察科の充実/市民に対し、社協、市役所の福祉サービス「このようなものがある」といったことをもっと、周知していくことが大切と思う。・たとえば「訪看の窓口はどこか」とか、「ケアマネをさがしたい時はどこに相談に行けばよいか」など。福祉サービス利用したいけど、どこに、まず行けば相談に乗ってもらえるか、知らない人が多いです/会話が出来るサービスや空間作り/保健センターのイベントで年齢制限が74才までとよくあるが、いかがなものでしょうか/行政が関与するべき事ではなく個人に資すべき/近隣市では「カーブス」と連携し、中高年の方が無料(or半額?)で活用出来、健康増進に力を入れている所がある/無医地区の解消/イベントを増やすことにより体を動かす機会を増やす/産婦人科病院を設置

【健康づくりのために、力を入れるべきこと】





(2) 高齢者・障害者福祉

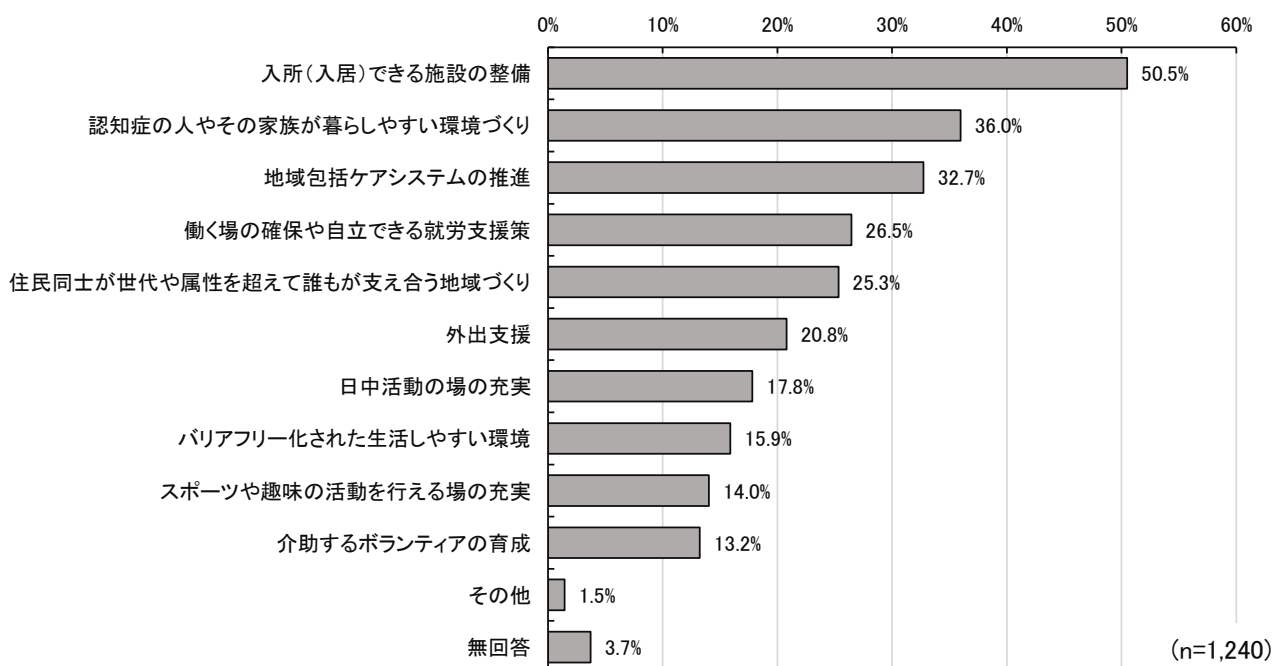
高齢者・障害者福祉のために、市が力を入れるべきことについては、「入所(入居)できる施設の整備」が50.5%と最も高く、次いで「認知症の人やその家族が暮らしやすい環境づくり」(36.0%)、「地域包括ケアシステムの推進」(32.7%)、「働く場の確保や自立できる就労支援策」(26.5%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「地域包括ケアシステムの推進」では、女性が35.9%で男性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「住民同士が世代や属性を超えて誰もが支え合う地域づくり」では、70歳代以上が37.6%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。家族構成で比較すると、「スポーツや趣味の活動を行える場の充実」では、三世帯家族が20.8%で他の家族構成に比べて割合が高くなっています。

[その他]

6について、60代70代の方が多いと思うのでそういう方を有料ボランティアで介助お願いする/介助する人の育成、体制作り→給与の支払い/買い物支援/介護度に制限なく、家族が希望すれば入れる施設が必要。安く、入れることも大事/入居もだが、外出時に通行する一般の人も安心出来る環境を/必要としているサービスの情報提供/土、日も利用できる施設(子どもも大人も)/予防医療の充実/身体不自由後の支援充実/過剰な福祉は止めよ。人は皆老いる。その恐怖を取り除く施策を実施すべき/高齢者は、どういう支援を求めているか、障害者も、いずれ我が身の高齢者。何時成るか? 障害者と真剣に取り組むべき/移動型ショップを増やす(農業の振興にもつながるかも)/医療・介護職の給料を上げる/介護の働き手の補充

【高齢者・障害者福祉のために、力を入れるべきこと】



		入所(入居)できる施設の整備	日中活動の場の充実	バリアフリー化された生活しやすい環境	外出支援	住民同士が世代や属性を超えて誰もが支え合う地域づくり	介助するボランティアの育成	スポーツや趣味の活動を行える場の充実	働く場の確保や自立できる就労支援策	認知症の人やその家族が暮らしやすい環境づくり	地域包括ケアシステムの推進	その他	無回答
性別	全体(n=1,240)	50.5	17.8	15.9	20.8	25.3	13.2	14.0	26.5	36.0	32.7	1.5	3.7
	男性(n=564)	53.5	16.1	15.8	18.4	23.8	13.7	15.2	28.0	37.9	29.3	1.6	3.0
	女性(n=651)	48.2	19.5	16.0	23.5	26.6	12.4	13.1	25.2	33.8	35.9	1.2	4.0
年齢	30歳未満(n=66)	37.9	13.6	30.3	10.6	10.6	10.6	24.2	19.7	28.8	25.8	1.5	10.6
	30歳代(n=79)	44.3	25.3	29.1	17.7	12.7	15.2	15.2	30.4	31.6	19.0	2.5	8.9
	40歳代(n=125)	44.0	21.6	16.8	28.8	16.8	11.2	14.4	30.4	38.4	32.0	4.0	3.2
	50歳代(n=207)	57.0	17.9	16.9	25.6	15.9	14.5	13.5	30.4	37.2	28.5	1.4	1.0
	60歳代(n=296)	54.1	16.6	10.5	20.6	23.3	13.9	14.5	30.1	36.5	40.2	1.0	2.0
	70歳代以上(n=439)	50.1	17.3	14.4	18.9	37.6	13.0	12.3	21.9	36.2	33.5	0.9	3.4
居住地区	美祢地域(n=756)	49.1	18.7	16.4	20.9	25.0	13.8	14.3	27.6	34.5	31.6	1.6	3.7
	美東地域(n=237)	54.4	16.9	11.0	19.0	22.4	14.3	13.5	24.9	39.2	33.3	1.3	4.2
	秋芳地域(n=232)	51.3	16.4	19.0	23.3	29.3	10.3	14.2	24.1	37.5	35.3	1.3	2.6
家族構成	ひとり暮らし(n=131)	51.1	22.1	12.2	21.4	26.0	16.8	15.3	32.1	33.6	24.4	1.5	4.6
	夫婦のみ(n=456)	52.6	16.4	14.9	22.1	28.3	12.1	14.5	24.3	34.6	35.1	0.7	2.9
	子と同居(n=261)	50.2	17.6	16.5	18.4	29.1	12.3	11.1	28.7	35.6	37.9	2.3	3.8
	親と同居(n=220)	51.4	16.4	19.5	19.5	17.7	18.6	11.8	25.0	39.1	32.7	0.5	3.6
	三世大家族(n=120)	41.7	22.5	11.7	20.8	18.3	9.2	20.8	25.0	40.0	25.0	4.2	5.8

9 生活環境や安全安心の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと

問9 生活環境や安全安心の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うことを教えてください。(それぞれ〇は3つまで)

(1) 生活環境

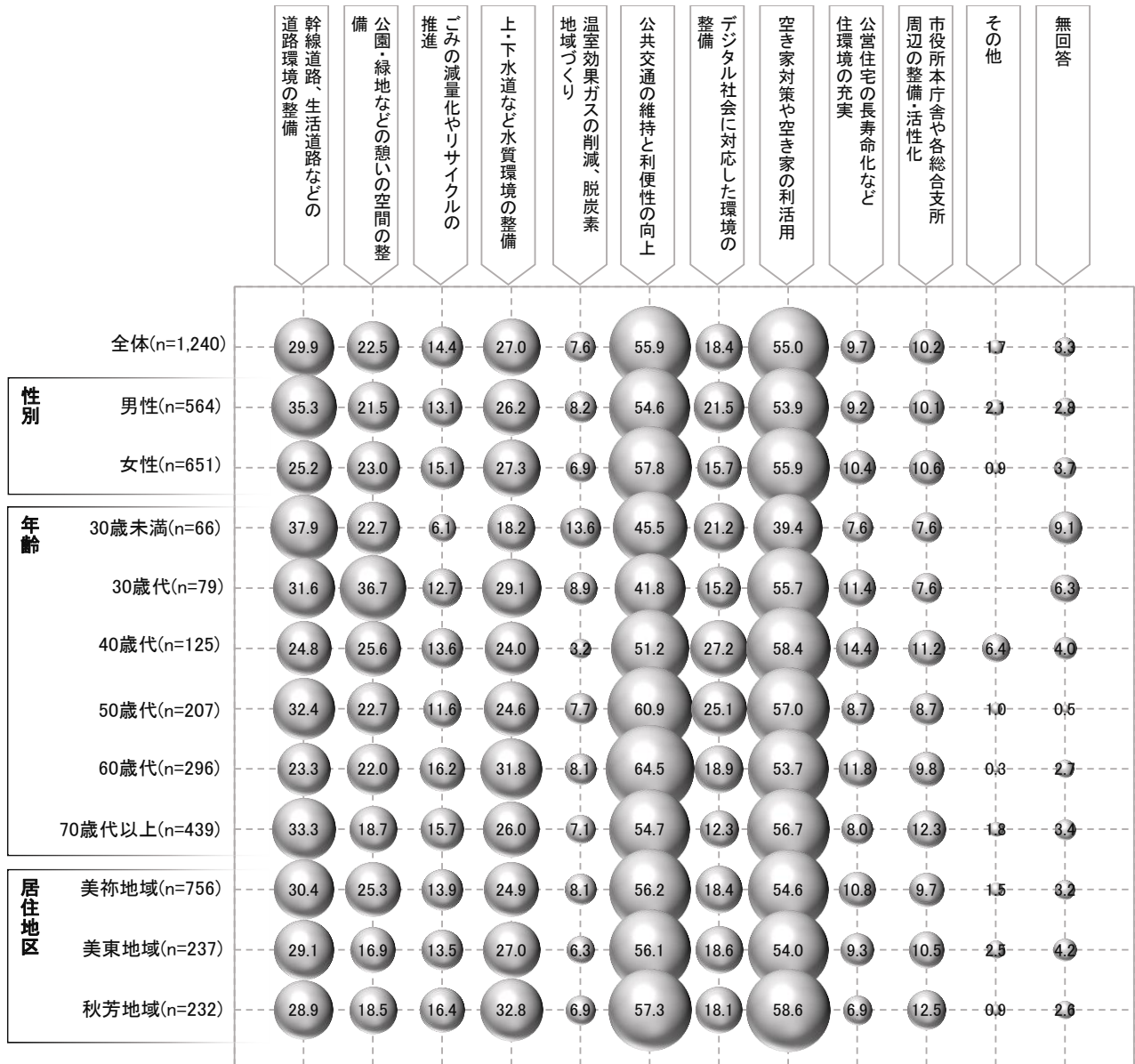
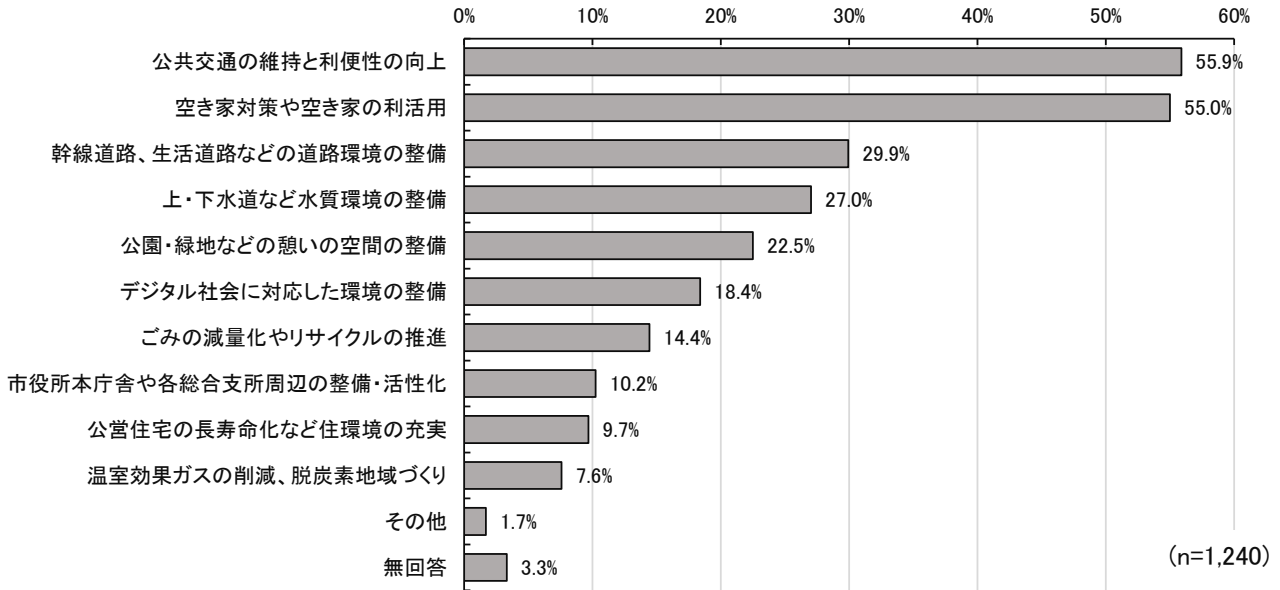
生活環境のために、市が力を入れるべきことについては、「公共交通の維持と利便性の向上」が55.9%と最も高く、次いで「空き家対策や空き家の利活用」(55.0%)、「幹線道路、生活道路などの道路環境の整備」(29.9%)、「上・下水道など水質環境の整備」(27.0%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「幹線道路、生活道路などの道路環境の整備」では、男性が35.3%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「公園・緑地などの憩いの空間の整備」では、30歳代が36.7%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「公園・緑地などの憩いの空間の整備」では、美祢地域が25.3%で他の地区に比べて割合がやや高くなっています。

[その他]

食事する場所が近くにない。買物する所が近くにない。不便さを強く感じる/総合支所の建て替えは不要/役所の職員の教育やり直せ/美東支所の建物を新しくしてほしい/2に関連して、維持管理→「今あるものの維持・管理の徹底を!」が不十分でせっかくの投資がもったいない。草ボウボウだったり、トイレが汚いなど/企業誘致/ビッグの裏の道路、草刈りをすべきでは。雑草が伸び道幅狭くなり危険です!建設協会隣公園側道の雑草が伸び車に傷がつきます/空き地対策/放棄地や高齢者の独居すまいの周辺の草刈りなどの整備/ごみの捨て方を見てほしい/リフォームの支援/塵の焼却を宇部興産に依存しないこと。独自の焼却施設を備えること/下水道活用の促進(利用拒否者へのペナルティ)/野焼禁止の徹底/過ぎたるは、人を駄目にしてしまう。人の欲求は切りが無い。程々に/ゴミのポイステ(使用済マスクのポイステ)対策の実施/無駄な公共交通の廃止(JRは要らない。マイクロバスで本数アップ希望)/市役所周辺だけでなく、全体的に同じレベルでの環境整備/都市圏からの移住受け入れ体制の拡充(通勤通学の動向を踏まえて真に需要が見込まれる地区への宅地整備。必ずしも市本庁や総合支所周辺がいい場所とは限らない。)/ごみ収集の場所の利便性

【生活環境のために、力を入れるべきこと】



(2) 安全・安心

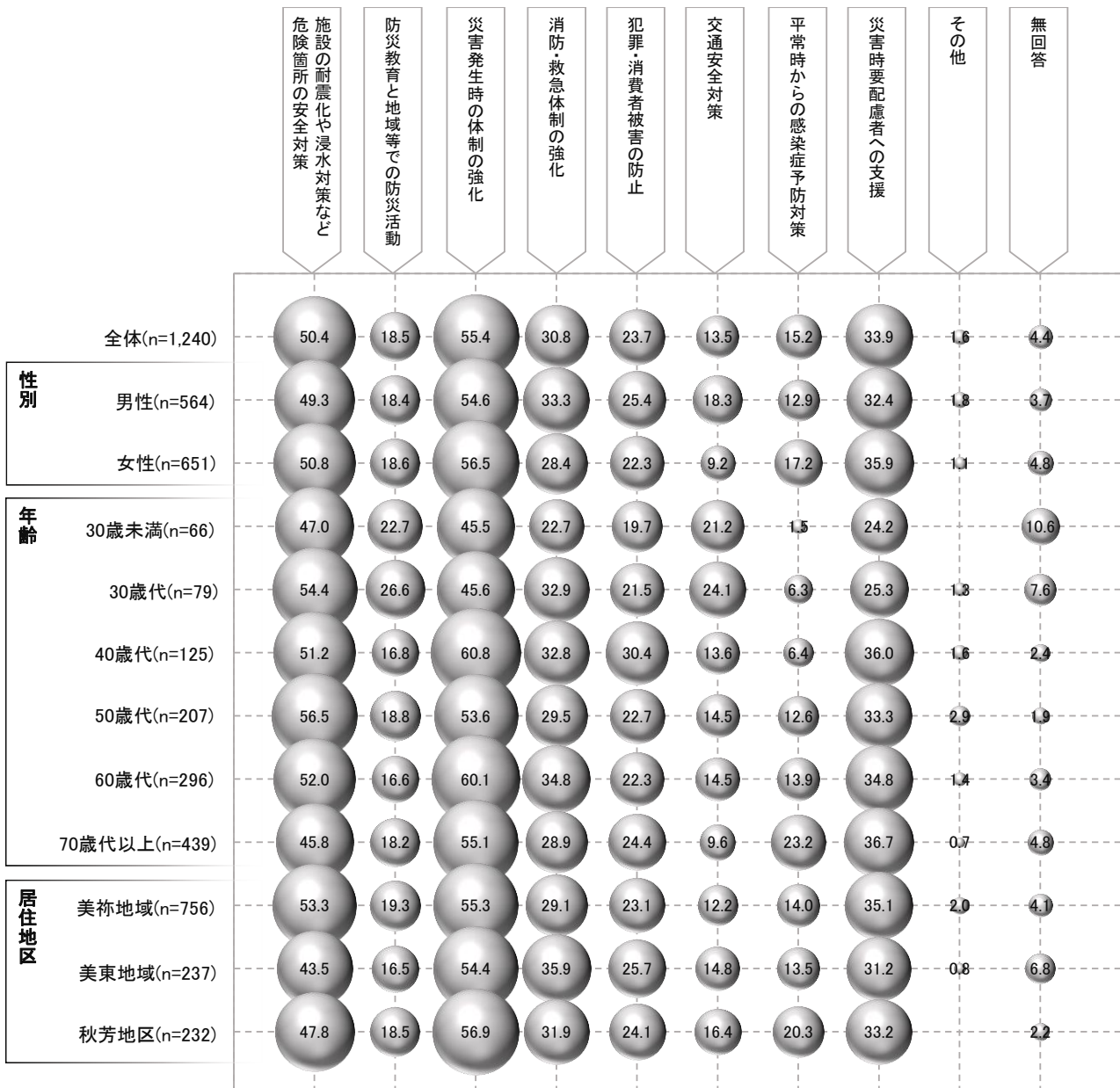
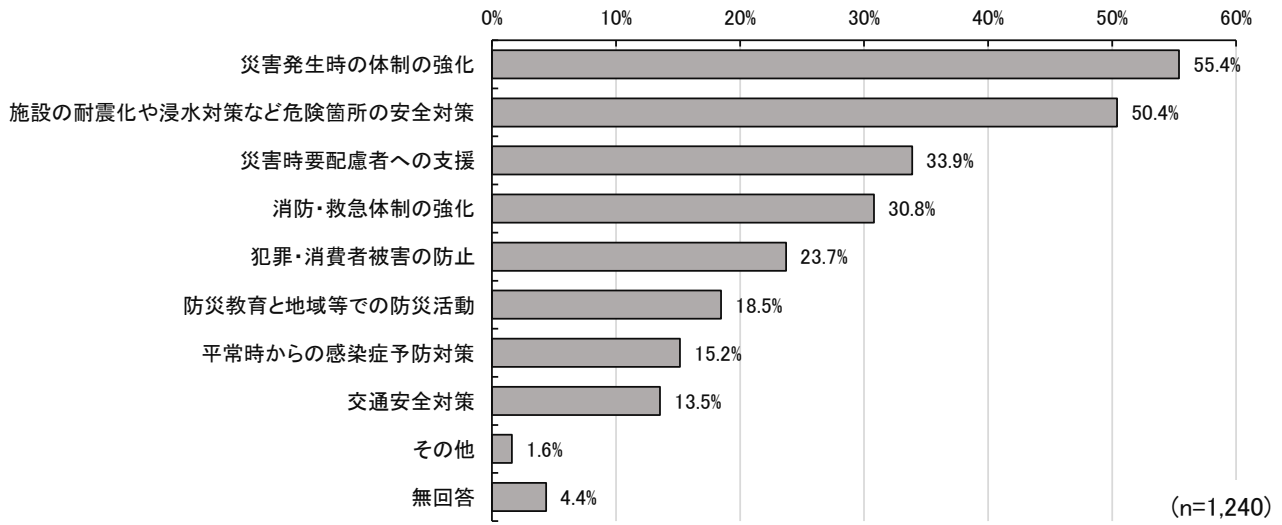
安全・安心のために。市が力を入れるべきことについては、「災害発生時の体制の強化」が55.4%と最も高く、次いで「施設の耐震化や浸水対策など危険箇所の安全対策」(50.4%)、「災害時要配慮者への支援」(33.9%)、「消防・救急体制の強化」(30.8%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「消防・救急体制の強化」では、男性が33.3%で女性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「平常時からの感染症予防対策」では、70歳代以上が23.2%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「施設の耐震化や浸水対策など危険箇所の安全対策」では、美東地域が43.5%で他の地区に比べて割合がやや低くなっています。

[その他]

病院経営の事業譲渡、医師の増強/救急車が来てから、搬入病院がなかなか決まらず、時間が掛かりすぎ、当日の緊急病院の指定が必要/災害、火事とかの時、施設入所者を守る対策/特になし/相談しやすい環境/猫がたくさんいるので災害時一緒に行ける避難所の整備/中小の河川が近年の雨量に対応できていない。災害時、対症療法的な現状復帰に止まるのではなく、根本的な改良を!/断水対策の充実!/厚狭川の危険箇所の安全対策の実行/野生動物の対策/高速道路のいつも起きる事故発生場所の対策/安全安心を追求すれば際限が無い。市民・住民の生命を守る事を最優先すればいい/今の世界情勢を考えると避難場所(防空壕)に困る。ときどきMYTで丈夫な建物に避難して下さいと耳にする/ゲリラ豪雨等による河川の強化/高齢ドライバー及び高齢者の交通安全対策/
①防災機器(告知機を各自宅に必要、今のATの機器は役に立たない)②ハザードマップを作るだけではダメ。その個所の安全対策を早急に③上水道のポンプを水害から守る工事をすぐしてほしい/災害にならないような危険な場所の整備/田舎特有の避難携帯(=在宅避難が多い)を踏まえた、防災計画・行政支援のあり方検討

【安全・安心のために、力を入れるべきこと】



10 子育てや学校教育の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと

問10 子育てや学校教育の充実のために、今後市が力を入れるべきだと思うことを教えてください。
(それぞれ〇は3つまで)

(1) 子育て

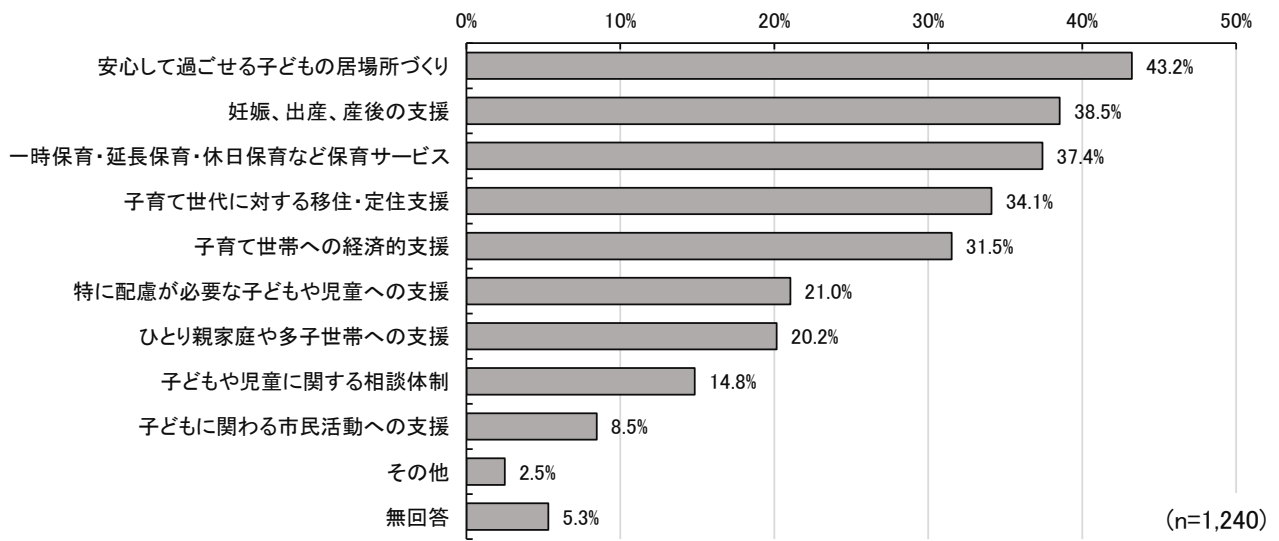
子育てのために、市が力を入れるべきことについては、「安心して過ごせる子どもの居場所づくり」が43.2%と最も高く、次いで「妊娠、出産、産後の支援」(38.5%)、「一時保育・延長保育・休日保育など保育サービス」(37.4%)、「子育て世代に対する移住・定住支援」(34.1%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「特に配慮が必要な子どもや児童への支援」では、女性が26.0%で男性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「子育て世代に対する移住・定住支援」では、30歳未満が18.2%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。家族構成で比較すると、「妊娠、出産、産後の支援」では、子と同居が31.0%で他の家族構成に比べて割合が低くなっています。

[その他]

ゴエンプロジェクトを強力に進めて!/支援、サービスもいいが、子育ての意義・認識の教育、個人主義ではだめ!/産婦人科を市内に!!/わからない!/家庭保育や休日保育等が利用出来る施設や場所の提供(例:下関市のふくふく館の様な場所)/塾や習い事の充実/産後から保育期間に入るまでの安心して行ける場所の快適な場所。毎日でも行っておきたいくらいのとこ/子供手当(現金を親に)ではなく給食費を無料にして、お金のない所の子供が安心して食事ができるようにしてあげてください。お金を支払ったかどうか気にしながら食べるのは可哀想なのでよろしく願いいたします/子どもの遊び場確保(特にボール遊び)/学童保育や学習の場を増やしてほしい/学校に行きやすい。(バスなど使わなくても)子供の数が少なくて無理。が、まわりまわり学校数が少なくなる。昔人間なので今の様子はなんか変な感じがするので/問いが「支援」ばかりだが、先輩諸氏は乗り越えてきている/教育現場の充実、学力向上の為の施策/児童センターが6年までしっかりお願いできたら良かったな。今は共働きがほとんどなので必要あるのかもしれないです。みんな、いそがしいから。/まず親が子供を家で育てることが大事/産婦人科をおく/子供に焦点を当てるのではなく、子を育てる親を指導・支援すべきである/子育て世帯への包括的支援/出産できる病院や、助産院の充実/市内に産婦人科が絶対必要!!(若い世帯をふやす為に)/産婦人科病院の設置/大嶺小学校の建て直し/親、祖父母など大人の教育/休日に小児科が無い/明石市の泉市長がやった施策を徹底的に真似すればいい/来福台の草刈りを年2回に決めているそうですが、売却用の土地がそうなのは分かるが、子供たちが遊ぶ公園も同じようになっているのは良くないと思う。草があって遊びたくても遊べない。本当に子供達のことを考えているのであれば、公園だけは草刈りの頻度をあげてほしい/出産育児が落ち着いて(子供が3歳以降)などの市内の就職先の拡充

【子育てのために、力を入れるべきこと】



		妊娠、出産、産後の支援	安心して過ごせる子どもの居場所づくり	一時保育・延長保育・休日保育など保育サービス	子育て世帯への経済的支援	ひとり親家庭や多子世帯への支援	特に配慮が必要な子どもや児童への支援	相談体制 子どもや児童に関する	子どもに関わる市民活動への支援	子育て世代に対する移住・定住支援	その他	無回答
性別	全体(n=1,240)	38.5	43.2	37.4	31.5	20.2	21.0	14.8	8.5	34.1	2.5	5.3
	男性(n=564)	43.1	41.1	35.3	35.1	22.5	16.0	13.5	8.0	37.2	2.5	4.8
	女性(n=651)	34.6	44.5	38.9	28.3	18.3	26.0	15.4	8.8	31.6	2.6	5.8
年齢	30歳未満(n=66)	45.5	45.5	27.3	42.4	25.8	13.6	6.1	6.1	18.2		10.6
	30歳代(n=79)	46.8	40.5	36.7	32.9	15.2	21.5	12.7	12.7	30.4	7.6	5.1
	40歳代(n=125)	33.6	46.4	32.8	44.8	24.0	17.6	8.8	12.0	39.2	4.0	2.4
	50歳代(n=207)	45.9	38.2	40.6	31.9	16.9	19.3	17.9	3.4	39.1	2.4	2.9
	60歳代(n=296)	41.2	42.9	43.9	31.8	19.3	22.0	15.5	7.1	39.9	1.0	3.4
	70歳代以上(n=439)	33.3	44.2	33.9	25.5	21.6	23.2	16.4	10.0	29.8	2.3	7.7
居住地区	美祢地域(n=756)	39.7	41.9	35.7	31.5	21.7	21.7	14.7	8.9	34.5	2.9	4.9
	美東地域(n=237)	35.4	43.0	38.4	30.0	17.3	20.3	15.2	6.8	34.6	2.5	7.2
	秋芳地域(n=232)	38.8	47.8	41.4	32.8	18.5	19.8	15.1	9.1	33.2	1.3	4.3
家族構成	ひとり暮らし(n=131)	48.1	42.0	29.0	30.5	26.0	19.8	14.5	7.6	24.4	3.1	8.4
	夫婦のみ(n=456)	38.6	41.4	42.1	30.5	19.7	20.4	14.7	6.8	36.6	1.3	5.3
	子と同居(n=261)	31.0	46.4	33.3	29.9	17.6	26.8	16.9	13.0	36.4	4.6	4.6
	親と同居(n=220)	44.1	39.5	40.5	34.5	22.3	19.5	12.3	5.5	32.3	0.9	3.6
	三世大家族(n=120)	35.8	50.0	31.7	31.7	19.2	15.0	17.5	13.3	40.0	4.2	4.2

(2) 学校教育

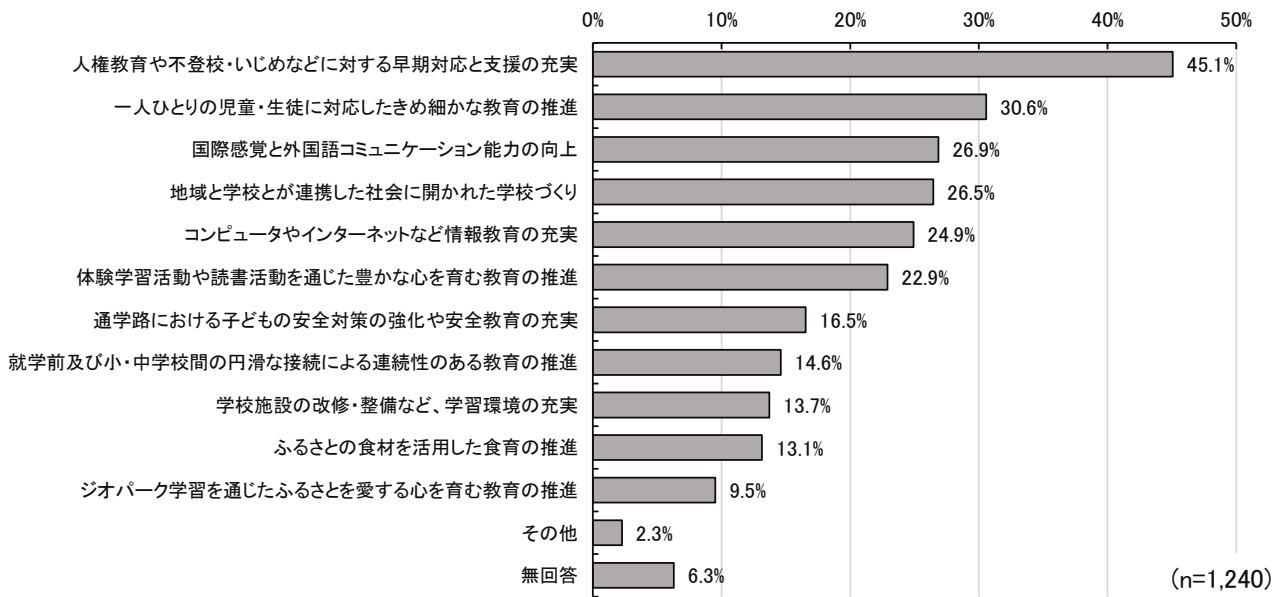
学校教育のために、市が力を入れるべきことについては、「人権教育や不登校・いじめなどに対する早期対応と支援の充実」が45.1%と最も高く、次いで「一人ひとりの児童・生徒に対応したきめ細かな教育の推進」(30.6%)、「国際感覚と外国語コミュニケーション能力の向上」(26.9%)、「地域と学校とが連携した社会に開かれた学校づくり」(26.5%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「コンピュータやインターネットなど情報教育の充実」では、男性が30.0%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「人権教育や不登校・いじめなどに対する早期対応と支援の充実」では、70歳以上が48.5%で他の年代に比べて割合がやや高くなっています。居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。家族構成で比較すると、「体験学習活動や読書活動を通じた豊かな心を育む教育の推進」では、親と同居では15.0%で他の家族構成と比べて割合が低くなっています。

[その他]

学校の統合も考える時代では/あげてあるものは必要であるのであろうから全てやれば!プラス人に迷惑をかけない人間形成教育を/道徳。家庭から/少人数学校の廃校/県内進学校への通学支援/高校は同じ教師を3年担任にするのはやめてほしい/高レベルの学校を誘致/美祢市の学校で学ばせたいと思われる施策(林間学校等の開設)/部活動の地域移行の早期対策/学費の無償化/不登校生徒の学校教育期間←(中学卒業後)、を過ぎてからの対応、支援。引きこもり防ぐ。自立支援につなぐ/ほとんどの公立学校で為されている教育は大学入学を最終目的とした訓練であり、改革すべきである/今以上に学校の統廃合を行わないこと/複式学級はやめること/子供にジオも良いけど中道筋の歴史も子供の自信につながる/社会の制度(税・保険)→カード、Payなどを教える/国際バカロレア教育認定校→とりあえず小学部、中学部、美東小中一貫校にとり入れる/他県からの留学制度及び環境作り/心の教育。自分が自分らしく生きることの大切さ。自己受容の教育/犯罪に当たる事など、社会教育/幼児から中学生まで一貫した教育の場の提供と、先進的な教育及び課外活動の展開/人の多い地域で生活出来る教育

【学校教育のために、力を入れるべきこと】



	開かれた学校づくり	地域と学校とが連携した社会に きめ細かな教育の推進	一人ひとりの児童・生徒に対応した きめ細かな教育の推進	国際感覚と外国語コミュニケーション 能力の向上	体験学習活動や読書活動を通じた 豊かな心を育む教育の推進	就学前及び小・中学校間の円滑な 接続による連続性のある教育の推進	コンピュータやインターネットなど 情報教育の充実	人権教育や不登校・いじめなどに 対する早期対応と支援の充実	学校施設の改修・整備など、学習 環境の充実	通学路における子どもの安全対策の 強化や安全教育の充実	ジョパーク学習を通じたふるさとを 愛する心を育む教育の推進	ふるさとの食材を活用した食育の 推進	その他	無回答
全体(n=1,240)	26.5	30.6	26.9	22.9	14.6	24.9	45.1	13.7	16.5	9.5	13.1	2.3	6.3	
性別														
男性(n=564)	29.8	28.7	27.7	21.8	13.5	30.0	41.1	14.0	17.0	8.9	13.3	3.5	5.5	
女性(n=651)	23.2	32.3	26.0	23.5	15.4	20.4	48.4	14.0	16.4	10.1	13.1	1.1	7.1	
年齢														
30歳未満(n=66)	19.7	28.8	30.3	12.1	9.1	33.3	30.3	21.2	22.7	3.0	10.6		9.1	
30歳代(n=79)	22.8	32.9	31.6	19.0	11.4	24.1	35.4	24.1	20.3	7.6	10.1	6.3	6.3	
40歳代(n=125)	28.0	39.2	31.2	20.8	14.4	28.8	36.8	21.6	15.2	10.4	11.2	4.0	4.0	
50歳代(n=207)	20.8	33.8	28.0	19.3	15.0	29.5	44.4	15.5	19.3	8.2	12.1	2.4	3.9	
60歳代(n=296)	28.0	30.7	27.7	24.0	19.6	27.0	49.3	13.2	15.5	8.4	11.1	1.4	4.4	
70歳代以上(n=439)	28.7	26.2	23.9	26.2	12.5	19.6	48.5	8.2	14.6	12.1	16.6	1.9	8.7	
居住地区														
美祢地域(n=756)	25.7	31.5	27.4	21.2	13.8	25.9	47.0	13.2	18.8	9.5	11.5	2.0	6.1	
美東地域(n=237)	25.3	28.3	23.6	24.9	16.5	21.5	42.6	15.2	10.5	9.7	15.6	3.8	8.4	
秋芳地域(n=232)	30.6	30.6	28.4	25.9	15.5	25.4	40.9	14.7	15.9	9.5	15.9	1.3	4.3	
家族構成														
ひとり暮らし(n=131)	26.7	29.8	23.7	19.8	13.7	24.4	51.1	9.9	16.0	9.2	14.5	3.1	6.9	
夫婦のみ(n=456)	27.4	30.3	28.9	25.0	14.5	24.3	48.0	10.7	15.1	9.2	12.9	1.8	6.6	
子と同居(n=261)	23.4	31.8	28.7	25.7	13.0	23.8	45.6	15.7	16.5	10.0	14.9	3.4	5.4	
親と同居(n=220)	27.3	30.0	25.9	15.0	15.5	26.8	39.1	16.4	22.3	9.1	15.0	0.9	5.0	
三世大家族(n=120)	25.0	33.3	20.8	25.8	20.8	23.3	38.3	19.2	15.8	12.5	8.3	2.9	6.7	

11 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには

問11 結婚を希望する人が結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか？(〇は3つまで)

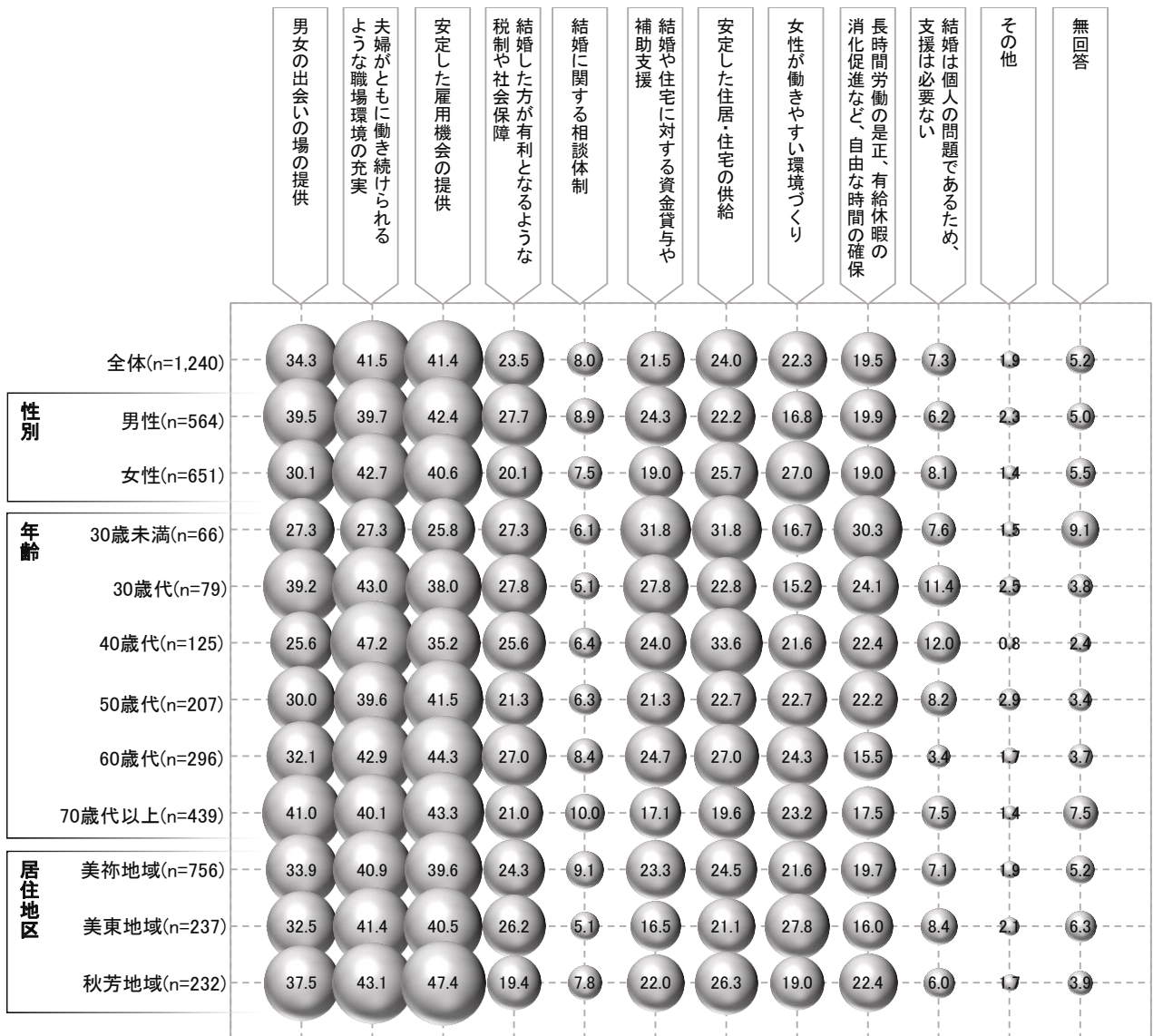
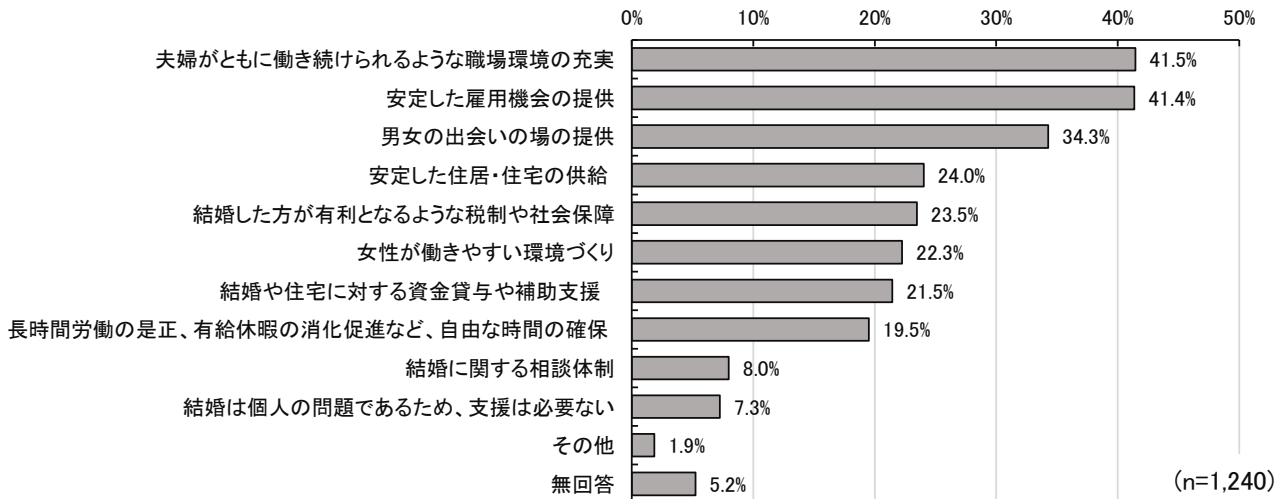
結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるために効果的な支援については、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が41.5%と最も高く、次いで「安定した雇用機会の提供」(41.4%)、「男女の出会いの場の提供」(34.3%)、「安定した住居・住宅の供給」(24.0%)、等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「女性が働きやすい環境づくり」では、女性が27.0%で男性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「安定した雇用機会の提供」では、30歳未満が25.8%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区で比較すると、「安定した雇用機会の提供」では、秋芳地域が47.4%で他の地区に比べて割合がやや高くなっています。

[その他]

現状で補助・支援・労働時間の短縮などが有効に活用されているの？/行政が介入しないこと/本人次第だと思う/給料のアップ、女性が子育てに専念できるような仕事や環境作り/若者の力が必要となるイベントなり企画-目的がちゃんとあって、達成感あるもの…後の打ちあげまで一緒に動いて、どんな方かを知ることができる/学校があり、病院があり、買物に不自由ない/環境ではなく、人それぞれの考え方ではないか？/本人と家族全体で、相談できる窓口があると良いと思う。いろんな悩みがあって「結婚、どうしよう」と思っている人が多いと感じます。気軽に相談できる所があると良いと思う/若者の流出を防ぐ、魅力ある市政づくり。支援だけで、結婚には結びつかない。/企業融地など、とにかく働く場所が少ない/大人になれば、結婚するものだという考え方の助長/ある程度の収入ないと結婚は考えるのが難しいかな/若者人口を増やす/アンケートに必要でしょうか？ 個人の問題では？/結婚は個人問題であり行政が関与すべき事項ではないが、欧米人が唱える同性婚の思潮に流されるべきではない/美祢市に住みたいと思う町作り/結婚感の変化に適応する対応を模索する/総合的に、経済面・子育て面で、市内で安心できる環境を整えること。/基本は企業などの給料、福利厚生が良くないと意味がないと思う/乳幼児から中学生まで安心かつ長時間預けられる拠点の確保/年収が低くても、知らない土地でも、何とかやっていけそうだと思う情報の発信と雰囲気づくり

【結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるために効果的な支援】



12 より良い行財政運営のために、今後市が力を入れるべきだと思うこと

問12 より良い行財政運営のために、今後市が力を入れるべきだと思うことを教えてください。(〇は3つまで)

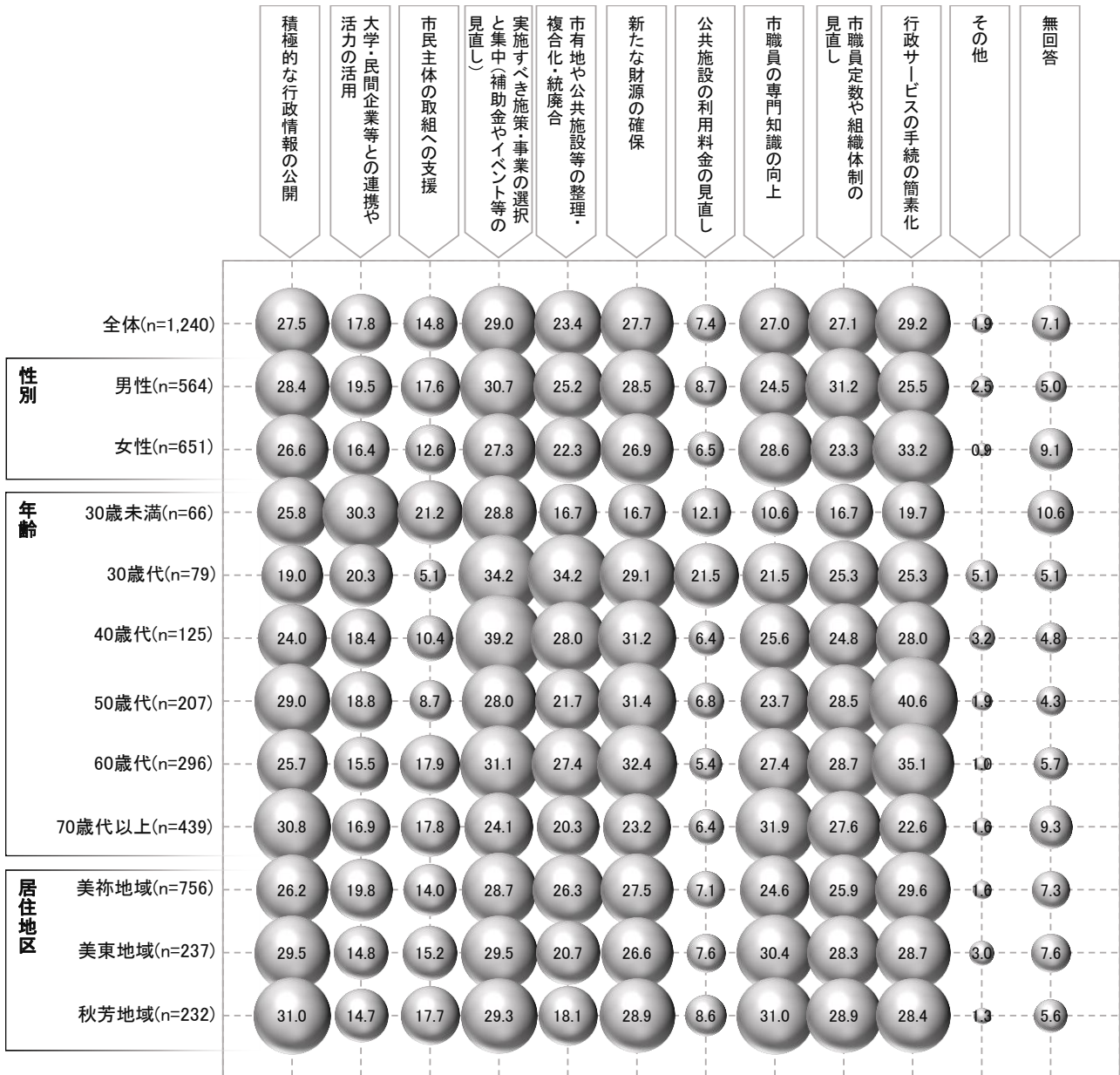
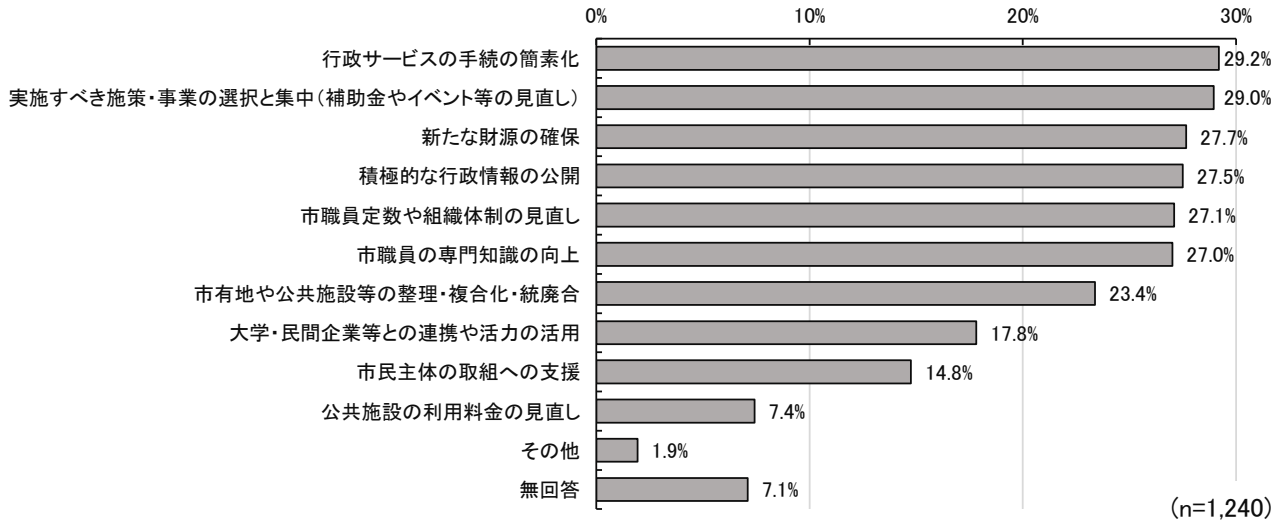
より良い行財政運営のために、市が力を入れるべきことについては、「行政サービスの手続の簡素化」が29.2%と最も高く、次いで「実施すべき施策・事業の選択と集中(補助金やイベント等の見直し)」(29.0%)、「新たな財源の確保」(27.7%)、「積極的な行政情報の公開」(27.5%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「市職員定数や組織体制の見直し」では、男性が31.2%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「公共施設の利用料金の見直し」では、30歳代が21.5%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「市職員の専門知識の向上」では、美祢地域が24.6%で他の地区に比べて割合がやや低くなっています。

[その他]

敬老会等、見直しても良いのではないか/休日の営業/市職員を大量に増す、そして給与を半減し、兼業を許可する/新たなものを求めるよりも、今ある施設、制度、人材等を着実に有効に活用・運用/市長、議員への教育/市職員の笑顔での対応/住民の立場となって職務を実行する事/温泉プールを市民が上手に利用し、健康維持を推進する。利用者少ない。PRが必要です!/分からない/市職員のイベント参加/秋吉台周辺をリゾート化する/人口増につながる施策・観光産業の発展につながる抜本的施策の検討/無駄な事に税金を遣わないように、よく気をつけること/市職員の真に必要な専門職種の拡充(土木や医療など、災害時に必要な職種が圧倒的に不足している)/とにかく、明石市や福岡市の先進的取り組みを、美祢市に合った形に変えずに、徹底的に真似するしかない/広大な土地を活かした駐車場の沢山ある商業施設の誘致、観光地を利用したブランド力のある飲食店の誘致/観光か住みやすさ(働きやすさ)か、割合と優先順位を決める

【行財政運営のために、力を入れるべきこと】



13 人口減少や少子高齢化があなたの生活に特に関係するもの

問13 人口減少や少子高齢化が与える影響に関して、あなたの生活に特に関係するものは何ですか？(〇は3つまで)

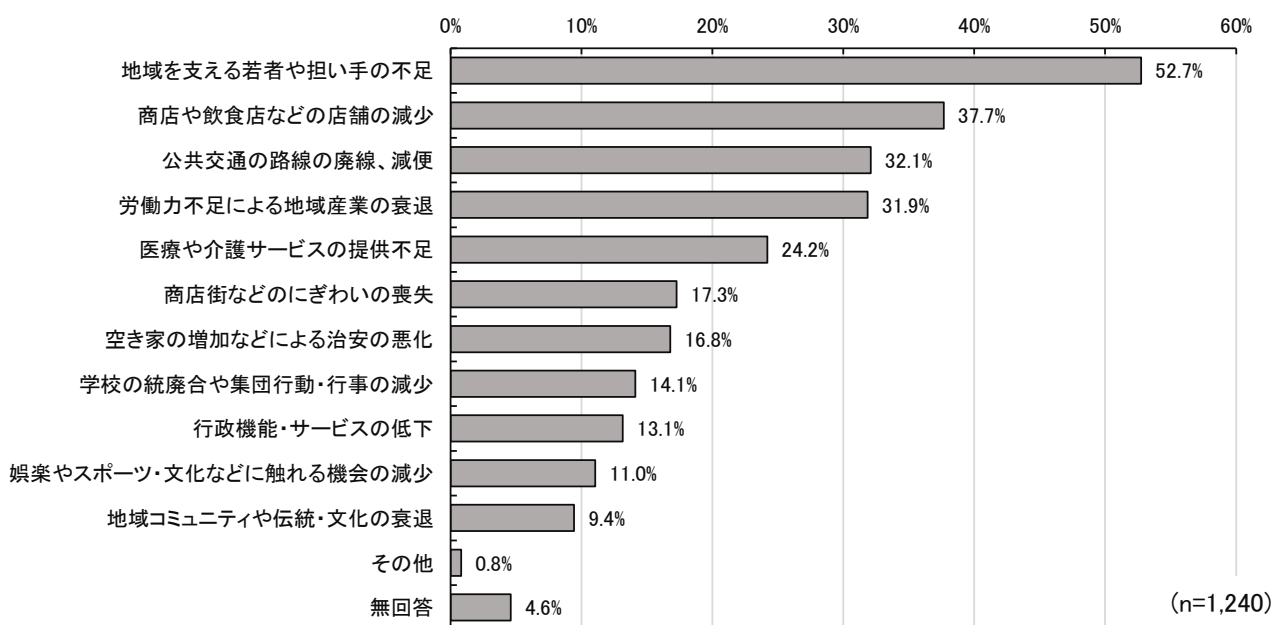
人口減少や少子高齢化が与える影響に関して、生活に関係するものについては、「地域を支える若者や担い手の不足」が52.7%と最も高く、次いで「商店や飲食店などの店舗の減少」(37.7%)、「公共交通の路線の廃線、減便」(32.1%)、「労働力不足による地域産業の衰退」(31.9%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「労働力不足による地域産業の衰退」では、男性が36.0%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「娯楽やスポーツ・文化などに触れる機会の減少」では、30歳未満が30.3%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「商店や飲食店などの店舗の減少」では、秋芳地域が53.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。通勤・通学先で比較すると、「労働力不足による地域産業の衰退」では、秋芳地域が47.8%で他の地区に比べて割合が高くなっています。普段の買い物先で比較すると、「医療や介護サービスの提供不足」では、萩市が36.7%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

[その他]

災害時の若者の協力が得られにくい/この生活に慣れて新しいこと、今の時代のことに触れることがない/働く場がない/地域産業のとりにくみ/秋芳町火災住宅の撤去は早く、秋芳洞の印象が悪いです!/国の愚策によって大都市に人口が集中し、他の都市で過疎化が進んでいるが、国民・市民住民の生活や生命を脅かすことは許されざるべき事である。少子高齢化は全てに影響を与える/あり余る土地活用の企業誘致/地域での生活が今のまま維持できるのか、不安である/上記全てです。3つには限定できません

【人口減少や少子高齢化が与える影響に関して、生活に関係するもの】



		労働力不足による地域産業の衰退	商店や飲食店などの店舗の減少	地域を支える若者や担い手の不足	医療や介護サービスの提供不足	商店街などにぎわいの喪失	地域コミュニティや伝統・文化の衰退	機会の減少	娯楽やスポーツ・文化などに触れる	行政機能・サービスの低下	公共交通の路線の廃線、減便	学校の統廃合や集団行動・行事の減少	空き家の増加などによる治安の悪化	その他	無回答
全体(n=1,240)		31.9	37.7	52.7	24.2	17.3	9.4	11.0	13.1	32.1	14.1	16.8	0.8	4.6	
性別	男性(n=564)	36.0	38.7	54.4	22.3	20.0	12.2	10.8	13.3	30.1	14.0	15.1	1.1	3.9	
	女性(n=651)	28.0	36.9	51.6	25.8	14.9	6.9	11.5	12.7	33.6	14.1	18.3	0.6	5.2	
年齢	30歳未満(n=66)	28.8	34.8	42.4	18.2	18.2	7.6	30.3	13.6	33.3	9.1	7.6		9.1	
	30歳代(n=79)	25.3	39.2	41.8	24.1	22.8	8.9	19.0	10.1	26.6	20.3	11.4	1.3	7.6	
	40歳代(n=125)	32.0	36.8	47.2	38.4	22.4	8.0	14.4	9.6	24.0	20.8	15.2		1.6	
	50歳代(n=207)	31.4	36.7	48.8	29.5	21.7	10.6	10.1	13.5	34.8	13.0	16.4	1.4	1.9	
	60歳代(n=296)	37.5	40.5	56.1	24.0	13.2	9.5	8.4	14.5	32.1	15.5	17.2	0.7	3.4	
	70歳代以上(n=439)	30.1	36.4	58.3	18.5	15.5	10.0	8.0	13.7	33.0	12.1	19.6	0.9	5.7	
居住地区	美祢地域(n=756)	31.5	34.7	51.3	24.7	19.7	8.9	12.2	12.8	32.8	14.7	16.7	0.9	4.4	
	美東地域(n=237)	31.6	32.9	54.0	27.0	12.7	10.5	9.3	13.9	29.5	16.5	17.3	0.8	5.9	
	秋芳地域(n=232)	33.2	53.0	56.9	19.0	14.2	10.3	9.5	12.9	32.8	10.3	16.4	0.4	3.4	
通勤・通学先	美祢地域(n=389)	36.5	35.0	53.5	24.2	20.1	9.0	12.6	11.6	32.4	14.9	15.9	0.5	2.8	
	美東地域(n=84)	22.6	35.7	51.2	26.2	16.7	10.7	8.3	17.9	23.8	25.0	19.0	2.4	3.6	
	秋芳地域(n=67)	47.8	46.3	56.7	25.4	9.0	11.9	4.5	14.9	28.4	9.0	16.4		3.0	
	山口市(n=90)	23.3	34.4	45.6	35.6	17.8	8.9	11.1	15.6	32.2	13.3	14.4		6.7	
	宇部市(n=29)	41.4	44.8	48.3	10.3	24.1	6.9	24.1	10.3	31.0	6.9	17.2		6.9	
	長門市(n=16)	25.0	50.0	43.8	31.3	18.8	6.3	6.3	25.0	50.0	31.3	6.3			
	萩市(n=8)	12.5	75.0	12.5	25.0	25.0	12.5	37.5	12.5	37.5		12.5	12.5		
	下関市(n=18)	27.8	38.9	55.6	33.3	5.6	22.2	11.1	22.2	5.6	22.2	11.1		5.6	
	山陽小野田市(n=30)	16.7	33.3	40.0	33.3	23.3		10.0	13.3	43.3	13.3	13.3		6.7	
	就業・就学していない(n=340)	28.8	38.5	55.3	22.9	14.4	11.2	10.6	10.6	33.5	12.1	20.0	1.2	5.3	
普段の買い物先	美祢地域(n=344)	32.1	37.9	53.1	24.3	19.0	9.2	10.7	12.9	33.2	13.3	17.3	0.8	3.9	
	美東地域(n=103)	28.2	41.7	52.4	21.4	16.5	8.7	8.7	13.6	26.2	10.7	18.4	2.9	6.8	
	秋芳地域(n=15)	40.0	53.3	53.3	6.7	13.3	13.3	13.3	6.7	20.0	20.0	26.7		6.7	
	山口市(n=204)	31.4	36.3	55.9	27.9	9.8	9.8	10.8	13.7	27.5	18.6	17.2	1.0	4.4	
	宇部市(n=30)	20.0	50.0	46.7	20.0	26.7	10.0	16.7	10.0	26.7	10.0	16.7	6.7	3.3	
	長門市(n=37)	24.3	48.6	59.5	13.5	16.2	5.4	8.1	10.8	40.5	16.2	16.2		5.4	
	萩市(n=30)	23.3	26.7	43.3	36.7	6.7	13.3	13.3	10.0	26.7	20.0	20.0		10.0	
	下関市(n=51)	25.5	37.3	39.2	19.6	19.6	9.8	9.8	11.8	27.5	21.6	23.5		9.8	
	山陽小野田市(n=50)	28.0	36.0	48.0	16.0	34.0	6.0	20.0	10.0	30.0	10.0	16.0	2.0	2.0	

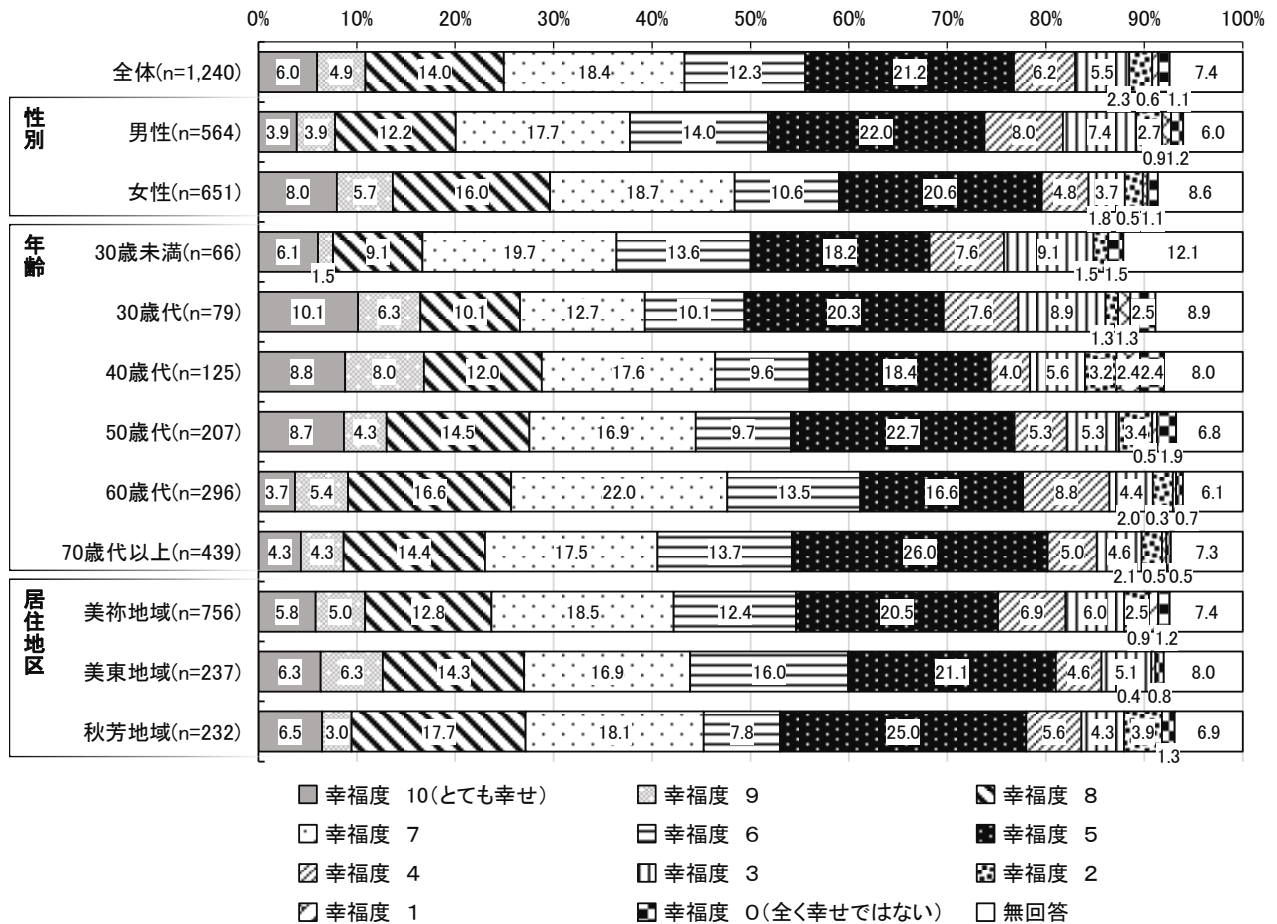
14 どの程度幸せですか？

問14 現在、あなたはどの程度幸せですか？「とても幸せ」を10点、「全く幸せではない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？(1つに○)

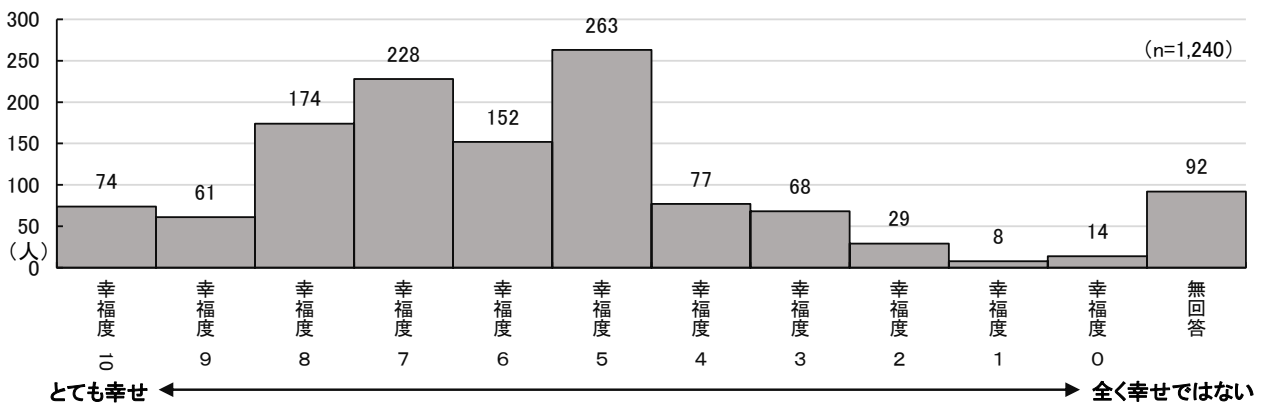
現在の幸福度については、「幸福度 5」が21.2%と最も高く、次いで「幸福度 7」(18.4%)、「幸福度 8」(14.0%)、「幸福度 6」(12.3%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「幸福度 10(とても幸せ)」では女性が8.0%で男性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「幸福度 5」では、70歳代以上が26.0%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「幸福度 6」では、秋芳地域が7.8%で他の地区に比べて割合がやや低くなっています。

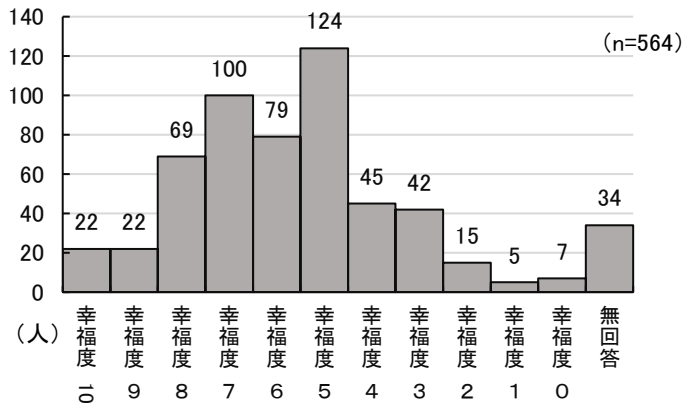
【現在の幸福度】



【全体】

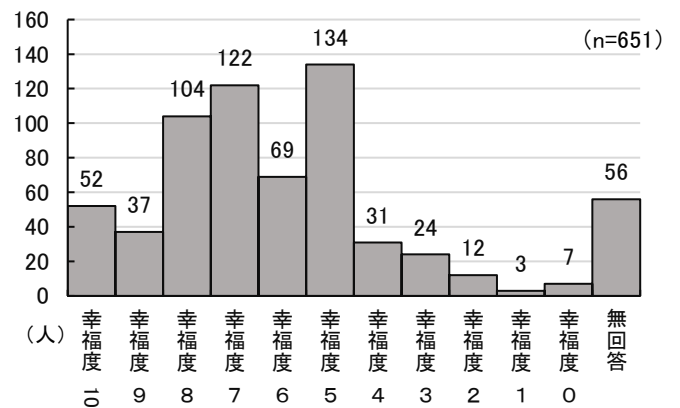


【男性】



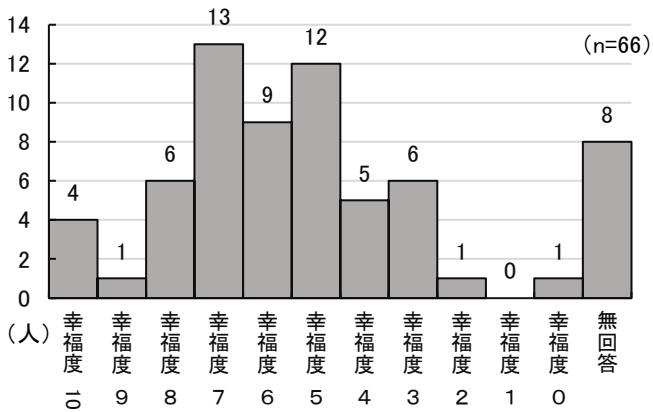
とても幸せ ← → 全く幸せではない

【女性】



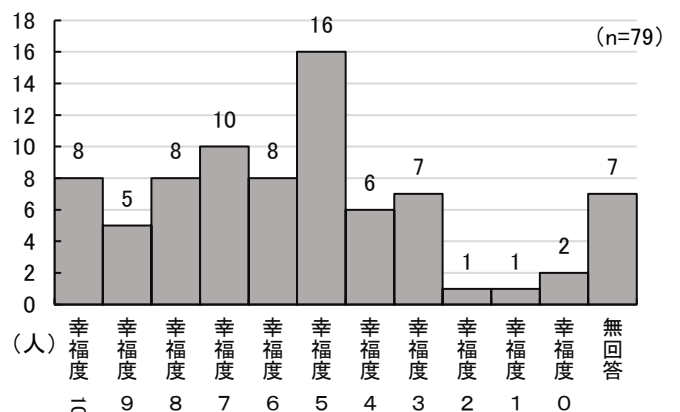
とても幸せ ← → 全く幸せではない

【30歳未満】



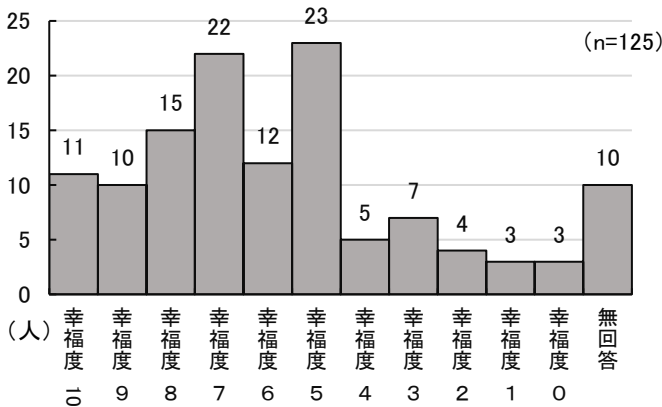
とても幸せ ← → 全く幸せではない

【30歳代】



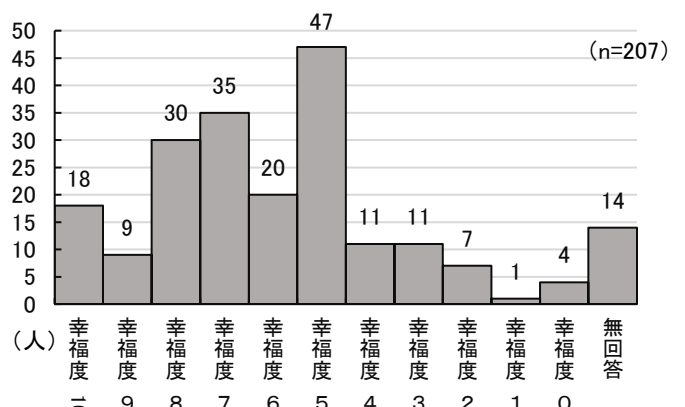
とても幸せ ← → 全く幸せではない

【40歳代】



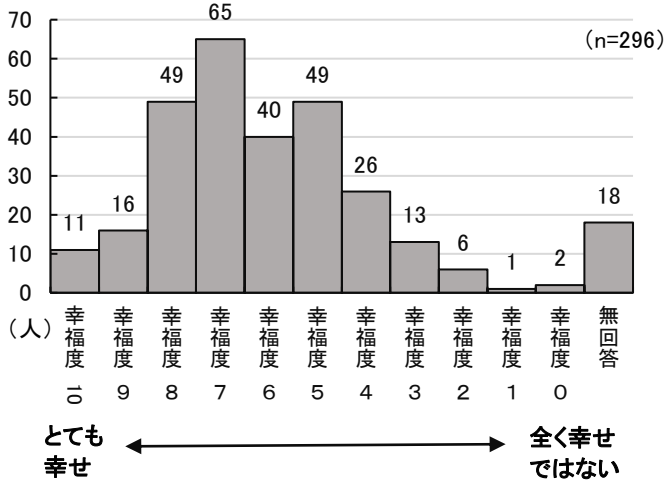
とても幸せ ← → 全く幸せではない

【50歳代】

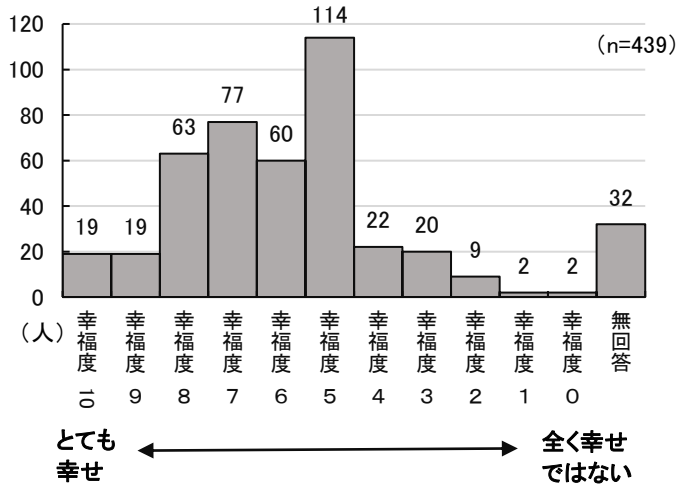


とても幸せ ← → 全く幸せではない

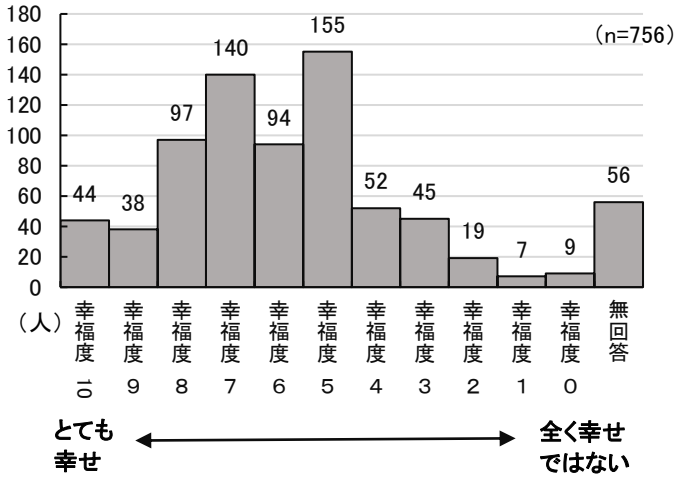
【60歳代】



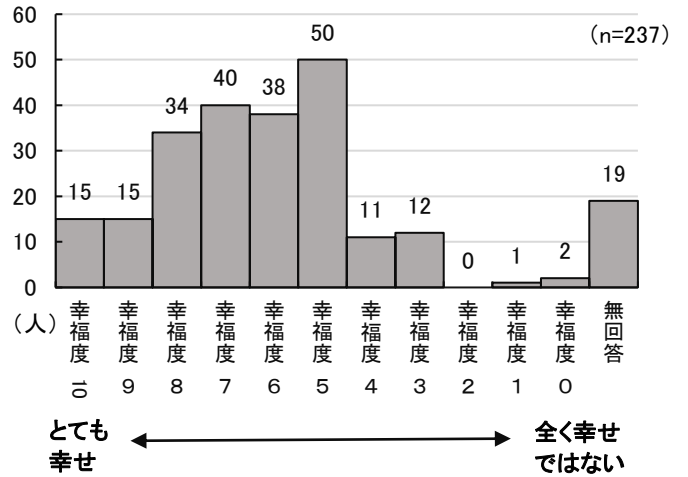
【70歳代以上】



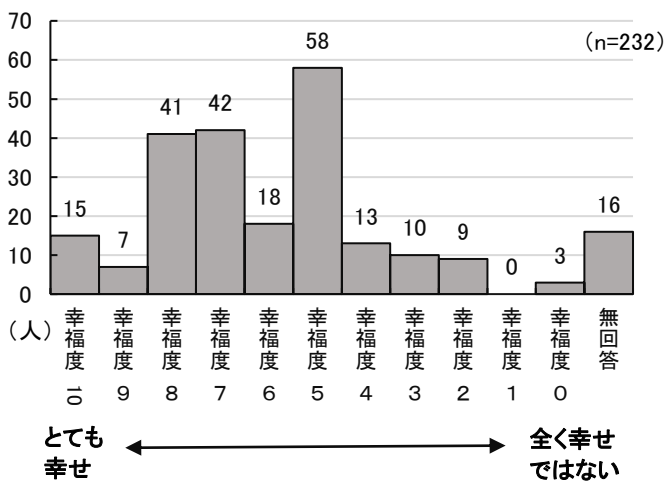
【美祢地域】



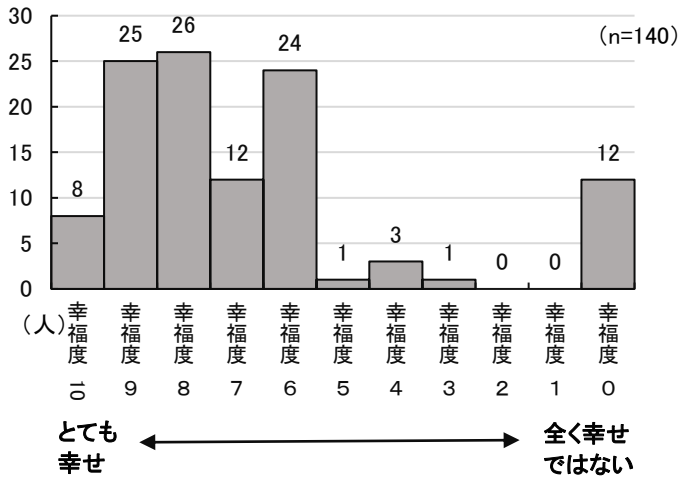
【美東地域】



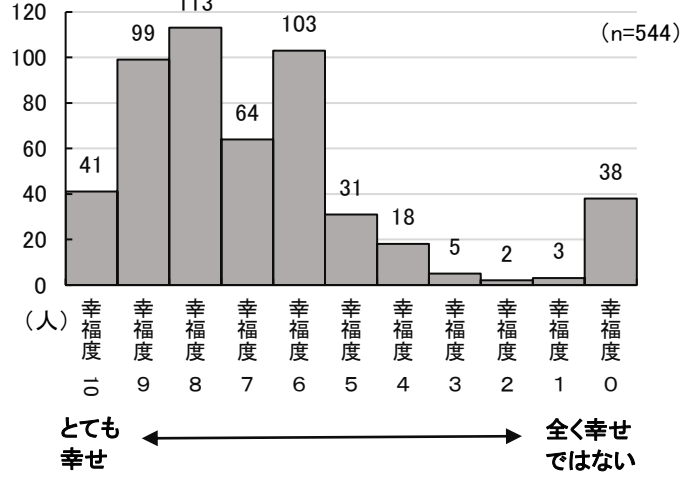
【秋芳地域】



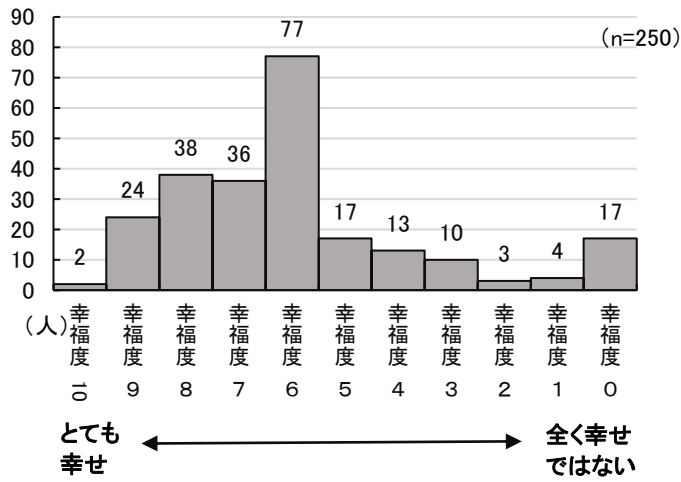
【住みよい】



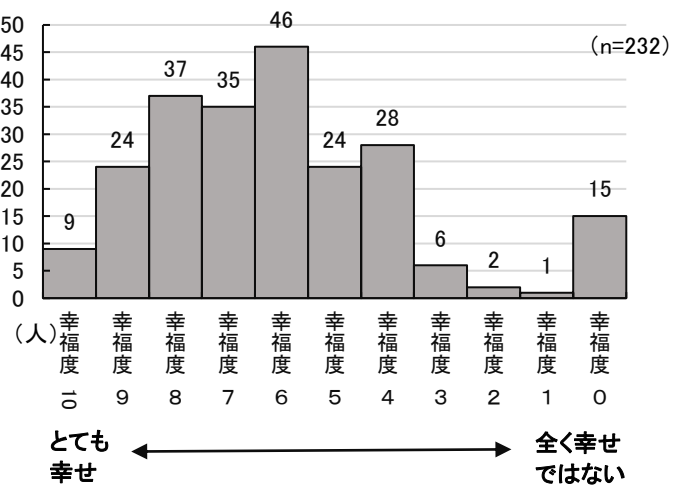
【まあまあ住みよい】



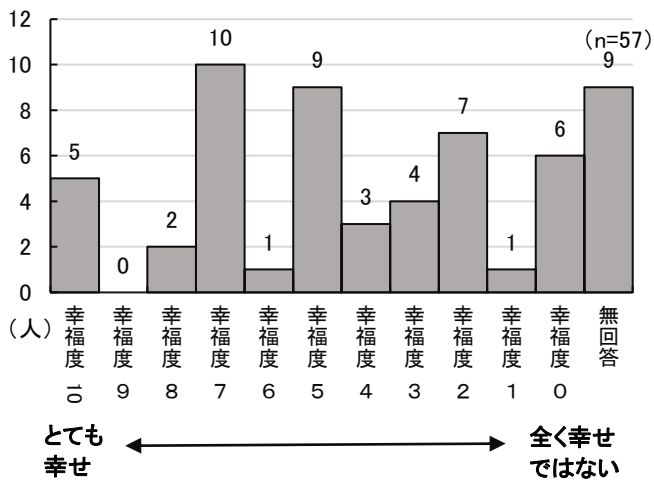
【どちらともいえない】



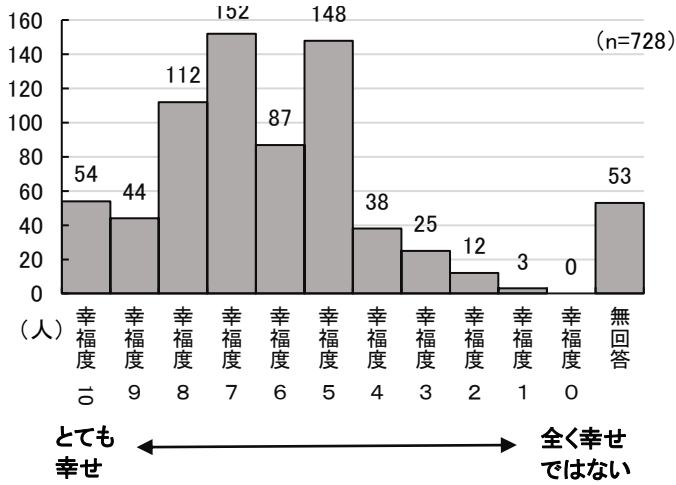
【あまり住みよいとはいえない】



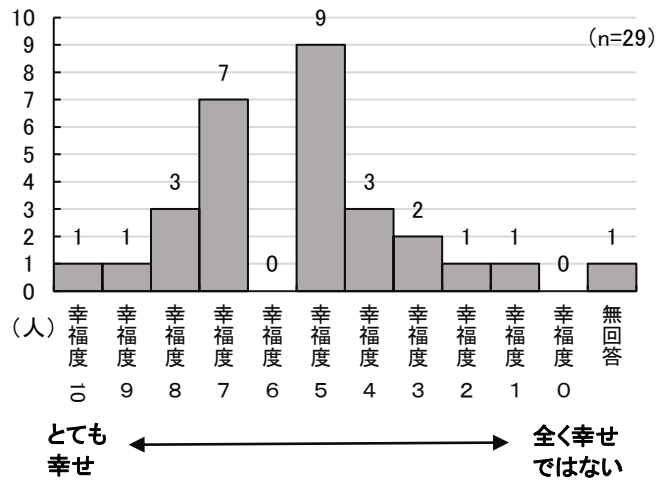
【住みにくい】



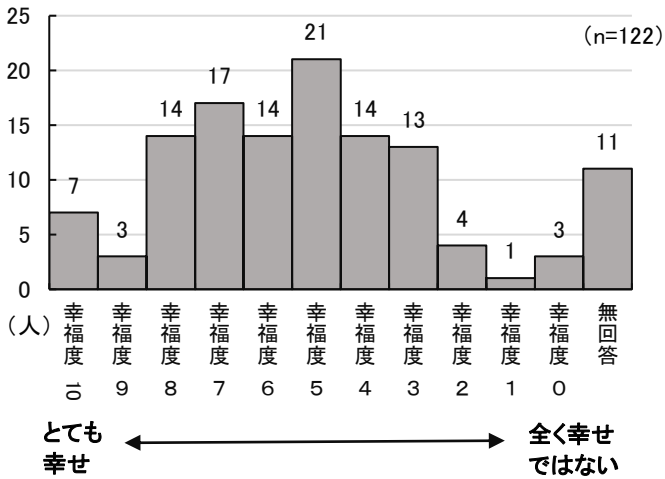
【このまま、ずっと美祢市で暮らし続けたい】



【たとえ市外へ引っ越したとしても、いずれは美祢市で暮らしたい】



【市外へ引っ越すと思う(美祢市に暮らし続けたい)】



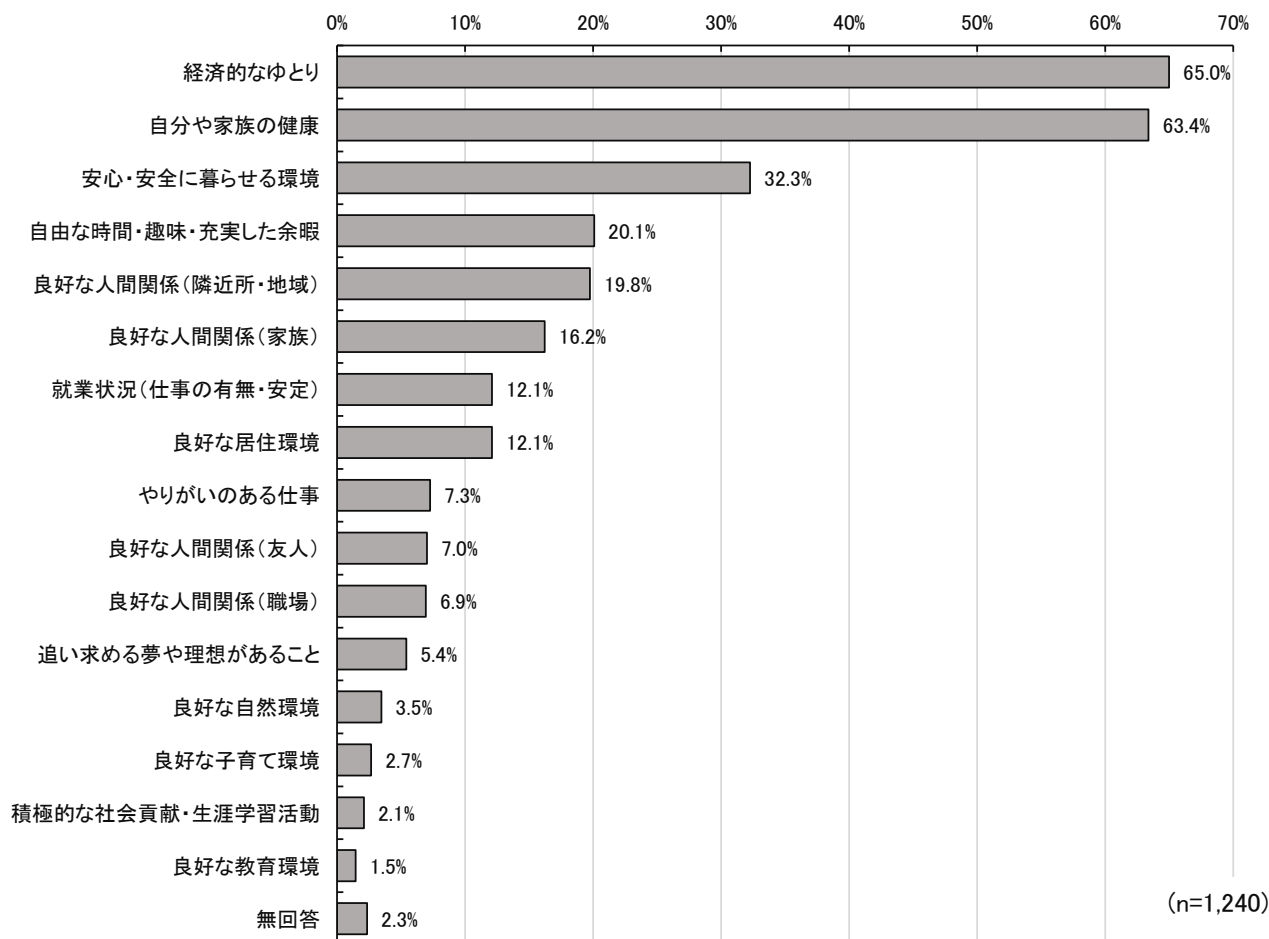
15 「幸せ」であるために、特に重要だと思うこと

問15 あなたが「幸せ」であるために、特に重要だと思うことは何ですか？(〇は3つまで)

「幸せ」であるために、重要だと思うことについては、「経済的なゆとり」が65.0%と最も高く、次いで「自分の家族の健康」(63.4%)、「安心・安全に暮らせる環境」(32.3%)、「自由な時間・趣味・充実した余暇」(20.1%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「自分や家族の健康」では、女性が67.1%で男性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「良好な人間関係(隣近所・地域)」では、70歳代以上が32.6%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、秋芳地域で「良好な人間関係(隣近所・地域)」が28.8%と他の地区に比べて割合がやや高くなっています。通勤・通学先で比較すると、「就業状況(仕事の有無・安定)」では、宇部市が31.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

【「幸せ」であるために、重要なこと】



		経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・ 充実した余暇	やりがいのある仕事	生涯学習活動	積極的な社会貢献・生 涯学習活動	良好な人間関係 (友人)	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	良好な自然環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想 があること	無回答
	全体(n=1,240)	65.0	12.1	63.4	20.1	7.3	2.1	16.2	7.0	6.9	19.8	2.7	1.5	12.1	3.5	32.3	5.4	2.8
性別	男性(n=564)	65.2	14.9	59.6	22.2	8.5	1.8	13.3	5.9	8.2	21.8	2.5	0.9	11.2	3.9	31.7	5.7	2.0
	女性(n=651)	64.8	9.8	67.1	17.4	6.0	2.5	18.6	8.1	5.7	17.8	2.6	1.8	12.9	2.9	33.0	5.3	2.8
年齢	30歳未満(n=66)	60.6	19.7	24.2	33.3	12.1	1.5	12.1	16.7	22.7	3.0	6.1		21.2	3.0	12.1	13.6	9.1
	30歳代(n=79)	63.3	19.0	51.9	36.7	12.7		12.7	7.6	19.0	5.1	12.7	5.1	7.6	2.5	12.7	5.1	5.1
	40歳代(n=125)	64.8	19.2	60.0	36.0	8.0		24.8	5.6	16.8	8.0	5.6	4.0	10.4	3.2	20.0	3.2	1.6
	50歳代(n=207)	65.7	24.2	63.8	21.3	10.1	1.4	14.5	6.8	5.9	11.6	1.0	0.5	15.9	3.9	27.5	6.9	0.5
	60歳代(n=296)	69.3	10.9	67.2	13.2	5.1	3.0	13.5	6.4	4.7	17.9	1.4	1.7	12.2	4.1	42.2	4.7	2.4
	70歳代以上(n=439)	62.4	3.4	69.5	13.9	5.5	3.0	17.8	6.2	2.1	32.6	0.9	0.7	10.0	3.4	37.4	5.2	2.1
居住地区	美祢地域(n=756)	65.1	12.7	61.2	18.8	6.2	2.5	16.3	7.4	7.7	16.9	3.0	1.5	13.1	2.8	33.3	6.2	2.5
	美東地域(n=237)	64.1	12.2	62.9	22.4	9.3	1.8	15.6	6.3	5.9	20.3	1.7	0.4	11.8	5.1	30.8	4.2	3.4
	秋芳地域(n=232)	65.9	10.9	70.3	20.7	8.2	1.7	17.2	6.0	6.0	28.0	2.2	2.6	8.6	4.3	30.2	4.3	0.9
通勤・通学先	美祢地域(n=389)	66.3	17.5	60.7	23.1	6.9	2.6	14.9	7.7	11.8	12.3	4.6	1.8	12.1	3.9	27.5	6.4	1.0
	美東地域(n=84)	73.8	14.3	59.5	19.0	13.1	2.4	15.5	4.9	9.5	17.9	1.2	1.2	8.3	4.9	31.0	4.9	3.6
	秋芳地域(n=67)	64.2	17.9	67.2	22.4	13.4	1.5	14.9	6.0	6.0	25.4	1.5	1.5	10.4	1.5	28.4	6.0	1.5
	山口市(n=90)	63.3	18.9	58.9	16.7	12.2	3.3	13.3	6.7	6.7	8.9	4.4	3.3	14.4	2.2	22.2	5.6	6.7
	宇部市(n=29)	89.7	31.0	44.8	13.8			13.8		13.8	10.3	3.4		17.2	6.9	34.5	6.9	
	長門市(n=16)	75.0	18.8	43.8	43.8		6.3	31.3	6.3	12.5	6.3			6.3	6.3	31.3	12.5	
	萩市(n=8)	62.5		50.0	62.5			25.0	25.0	12.5				12.5		12.5	12.5	
	下関市(n=18)	61.1	11.1	55.6	38.9	5.6		16.7		11.1	16.7			22.2		50.0		
	山陽小野田市(n=30)	70.0	10.0	70.0	36.7	10.0		10.0	6.7	10.0	10.0	3.3	3.3	6.7		23.3	6.7	3.3
	就業・就学していない(n=340)	61.8	5.3	71.8	14.1	4.7	2.6		18.5	6.5	1.2	30.3	1.5	0.9	12.1	2.9	41.5	2.6

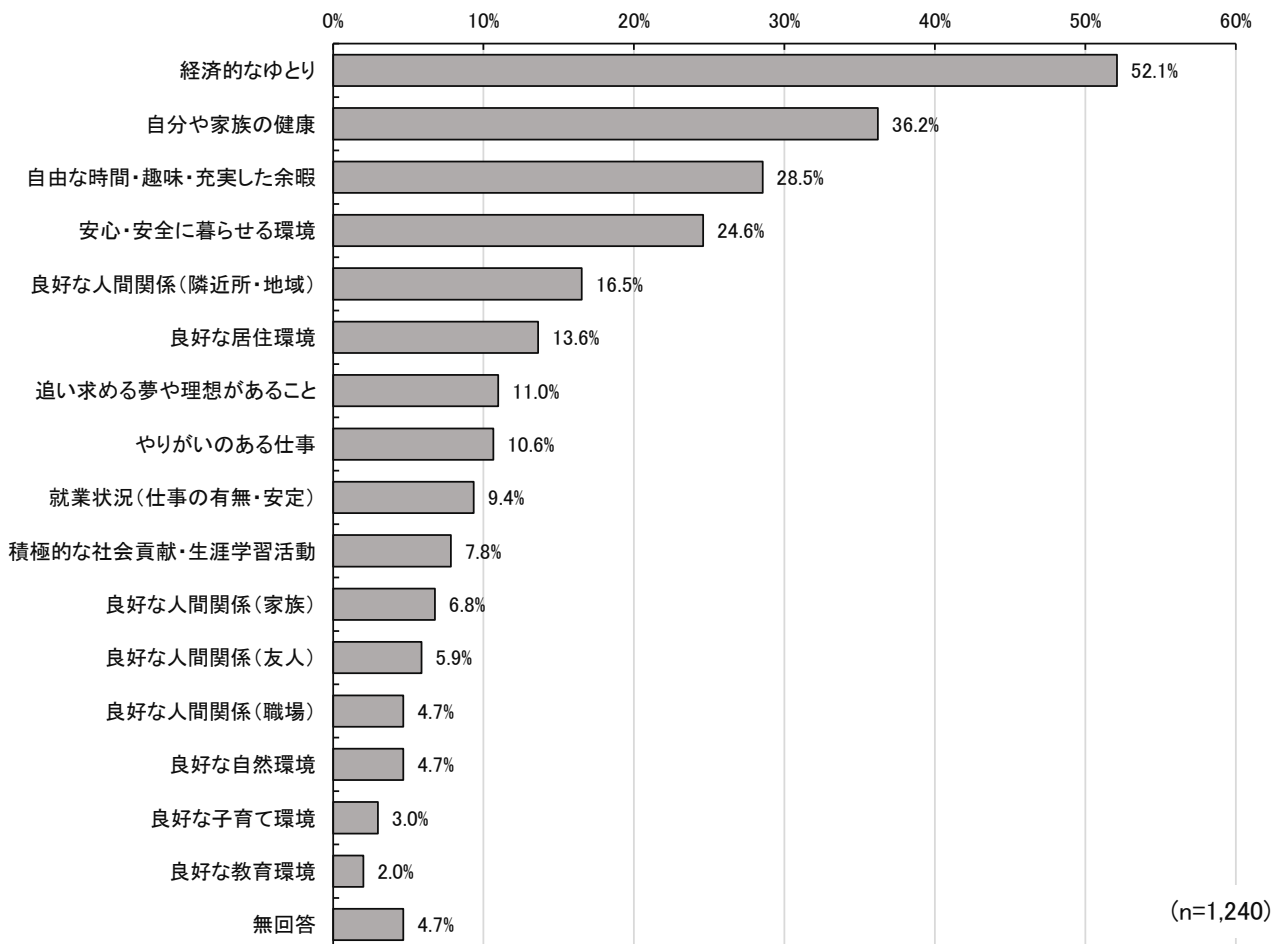
16 「幸せ」をさらに高めるために、今足りていない(高めたい)と思うこと

問16 あなたの「幸せ」をさらに高めるために、今足りていない(高めたい)と思うことは何ですか？
(〇は3つまで)

「幸せ」をさらに高めるために、今足りていない(高めたい)と思うことについては、「経済的なゆとり」が52.1%と最も高く、次いで「自分や家族の健康」(36.2%)、「自由な時間・趣味・充実した余暇」(28.5%)、「安心・安全に暮らせる環境」(24.6%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「経済的なゆとり」では、男性が57.6%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「安心・安全に暮らせる環境」では、70歳代以上が34.9%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「自分や家族の健康」では、秋芳地域が42.2%で他の地区に比べて割合が高くなっています。通勤・通学先で比較すると、「自分や家族の健康」では、45.3%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

【「幸せ」をさらに高めるために、足りていないこと】



		経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・ 充実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・生 涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	身近な人間関係	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	良好な自然環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
全体(n=1,240)		52.1	9.4	36.2	28.5	10.6	7.8	6.8	5.9	4.7	16.5	3.0	2.0	13.6	4.7	24.6	11.0	4.7	
性別	男性(n=564)	57.6	10.1	33.0	31.4	14.0	6.2	6.7	6.0	5.1	17.9	3.0	1.2	12.4	4.6	23.0	12.4	3.9	
	女性(n=651)	47.0	8.8	39.5	26.1	7.8	9.4	6.6	5.7	4.5	15.4	2.9	2.6	15.1	4.5	25.5	9.5	5.5	
年齢	30歳未満(n=66)	57.6	15.2	12.1	31.8	13.6	3.0	6.1	9.1	6.1	6.1	6.1	3.0	15.2	3.0	12.1	18.2	9.1	
	30歳代(n=79)	59.5	20.3	16.5	38.0	20.3	7.6	5.1	7.6	11.4	6.3	12.7	8.9	10.1	3.9	8.9	10.1	5.1	
	40歳代(n=125)	53.6	12.0	33.6	35.2	18.4	3.2	8.8	4.9	13.6	7.2	4.9	6.4	17.6	2.4	9.6	16.8	2.4	
	50歳代(n=207)	58.9	13.5	31.9	32.4	13.5	5.9	5.9	6.3	7.7	9.2	1.4	1.4	14.0	2.9	19.3	11.1	2.9	
	60歳代(n=296)	49.3	9.1	35.5	32.8	9.1	9.8	5.1	4.7	2.7	17.6	2.7	0.7	16.6	4.1	25.7	10.8	6.1	
	70歳代以上(n=439)	47.6	3.9	47.2	20.0	6.4	9.6	8.7	6.2	0.7	25.1	0.9	0.7	11.2	7.1	34.9	8.7	4.6	
居住地区	美祢地域(n=756)	53.3	8.6	34.7	28.0	11.6	8.7	6.9	6.0	4.9	14.0	3.3	2.1	13.2	5.4	25.3	11.5	4.6	
	美東地域(n=237)	48.9	15.2	34.6	31.2	10.1	6.8	4.2	5.9	3.9	17.7	2.1	1.8	13.5	3.4	20.3	12.2	5.9	
	秋芳地域(n=232)	51.3	6.0	42.2	28.0	8.6	6.0	9.1	6.0	5.6	23.3	2.6	2.6	14.7	3.9	25.4	8.2	3.9	
通勤・通学先	美祢地域(n=389)	54.2	10.3	31.6	31.9	12.6	6.4	7.2	7.2	8.5	10.5	5.4	3.3	14.7	4.1	20.3	12.6	2.6	
	美東地域(n=84)	54.8	20.2	31.0	32.1	16.7	4.9	3.6	3.6	4.9	13.1	1.2	2.4	13.1	4.9	21.4	14.3	6.0	
	秋芳地域(n=67)	53.7	3.0	35.8	34.3	16.4	7.5	9.0	4.9	6.0	10.4	4.5	3.0	11.9	1.5	19.4	9.0	9.0	
	山口市(n=90)	47.8	8.9	32.2	36.7	10.0	8.9	6.7	7.8	3.3	7.8	3.3	2.2	15.6	2.2	16.7	7.8	8.9	
	宇部市(n=29)	65.5	17.2	27.6	41.4	6.9	10.3	3.4		10.3	10.3		3.4	3.4	3.4	24.1	6.9		
	長門市(n=16)	56.3	6.3	18.8	56.3	12.5	6.3	6.3	6.3	12.5			6.3		12.5	6.3	25.0	25.0	
	萩市(n=8)	50.0	37.5	25.0	25.0			12.5	12.5		12.5			12.5	25.0			25.0	
	下関市(n=18)	61.1	16.7	33.3	44.4	11.1	5.6				27.8				11.1		11.1	16.7	5.6
	山陽小野田市(n=30)	66.7	3.3	23.3	40.0	23.3	3.3	6.7	3.3	16.7	6.7				13.3		26.7	6.7	6.7
	就業・就学していない(n=340)	45.6	7.1	45.3	21.8	8.2	12.1	7.4	5.6	0.3	22.4	1.8	0.9	16.8	5.9	30.6	9.4	4.4	

17 参加している（参加したことがある）活動

問17 あなたが参加している（参加したことがある）活動を教えてください。（〇はいくつでも）

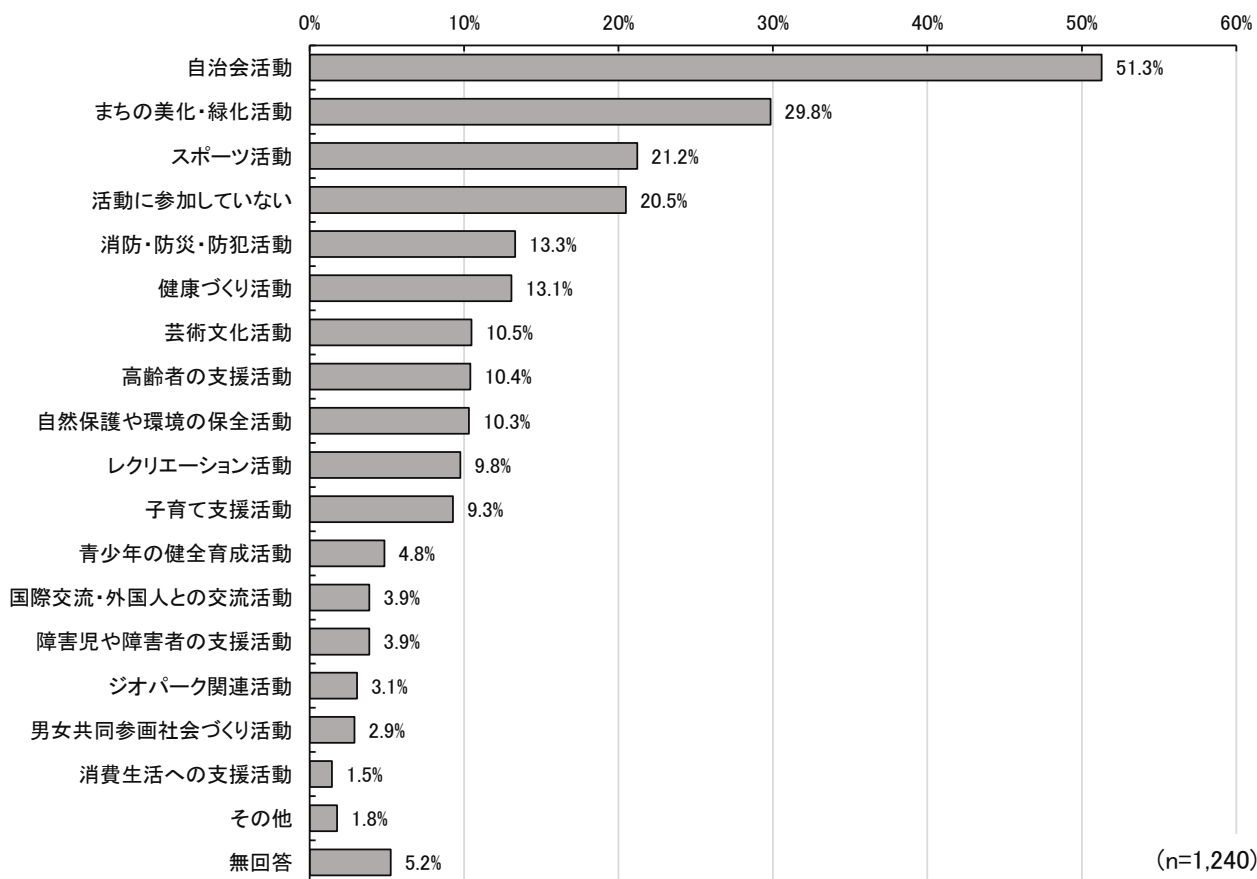
参加している（参加したことがある）活動については、「自治会活動」が51.3%と最も高く、次いで「まちの美化・緑化活動」（29.8%）、「スポーツ活動」（21.2%）、「活動に参加していない」（20.5%）等の順となっています。

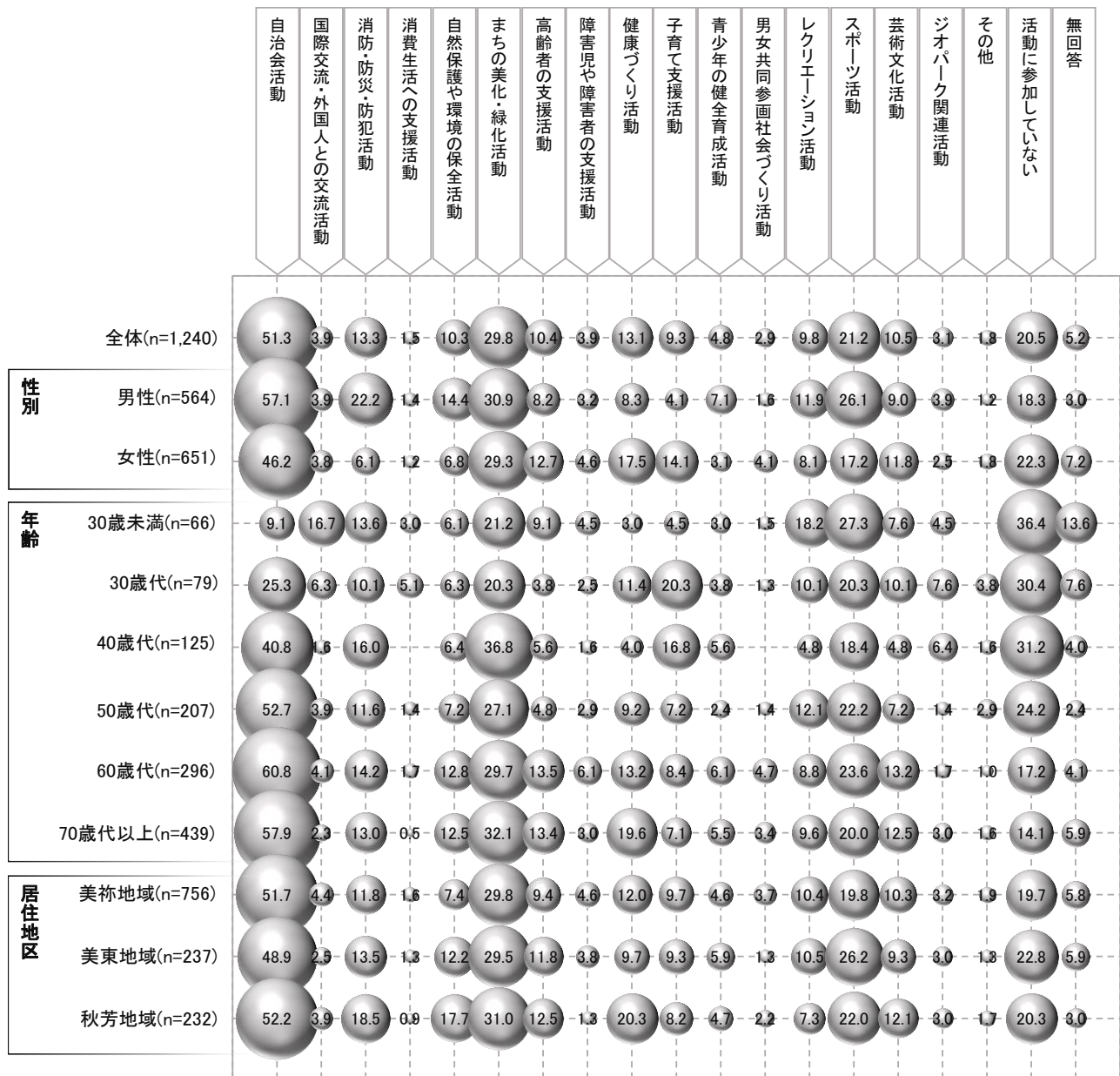
属性別にみると、性別で比較すると、「消防・防災・防犯活動」では、男性が22.2%で女性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「自治会活動」では、30歳未満が9.1%で他の年代に比べて割合が低く、年齢が高くなるにつれ、割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「健康づくり活動」では、秋芳地域が20.3%で他の地区に比べて割合がやや高くなっています。

[その他]

動物愛護/職業奉仕/地区業事/体操教室/犬猫保護活動/災害派遣/公民館活動、サロン/老人クラブ/阪神・淡路大震災復興支援・無償奉仕/サハラ砂漠緑化運動 他/災害時のボランティア/地域・ふれあいサロン・新型コロナ休会中（美祢社協）/赤間関街道中道筋協議会/献血/ボランティア/犬猫保護活動の手伝い/地域サロン活動/地域伝統の継承/イベントの手伝い

【参加している（参加したことがある）活動】





18 市民活動や協働でのまちづくりに参加しやすくなるためには

問18 あなたが市民活動や協働でのまちづくりに参加しやすくなるためには何が必要だと思いますか？(〇は3つまで)

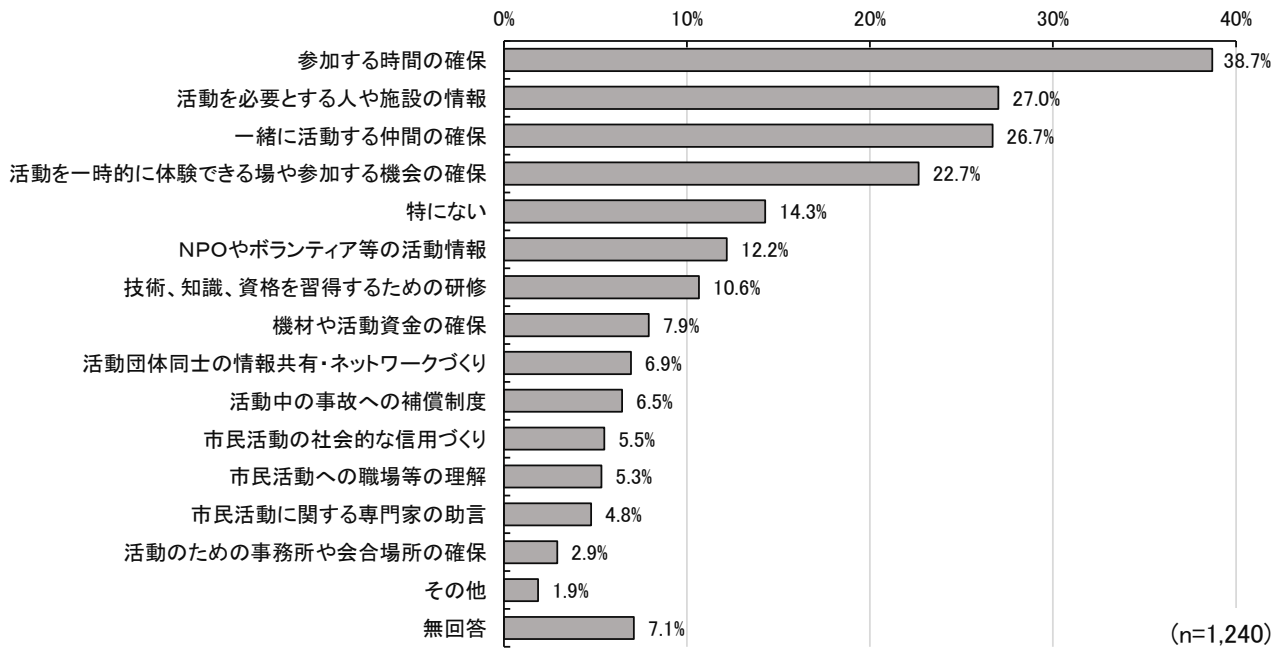
市民活動や協働でのまちづくりに参加しやすくなるために必要だと思うことについては、「参加する時間の確保」が38.7%と最も高く、次いで「活動を必要とする人や施設の情報」(27.0%)、「一緒に活動する仲間の確保」(26.7%)、「活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保」(22.7%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「一緒に活動する仲間の確保」では、女性が30.0%で男性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「参加する時間の確保」では、70歳代以上が26.4%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。

[その他]

集落の年間行事(道路、墓の草かり)に健康でいる間、参加するのが目標です/活動の為の情報→現状では充分とは言えない。知らなかった事が多い/参加することにメリットがあれば/高齢なので協働での活動が出来るかどうか不安/自分は高齢なのにいつまでも活動に出るより、若い人達为中心で活動するように行政がリードしてほしい/先が見えない/健康になる事/市民活動やまちづくりに参加したい気持ちは十分にある/情報発信(SNSの活用)をする/公共交通/積極的な行政の関与と支援、資金の供与を情報共有/参加したくなるようなPR性/高齢化のため市職員の参加/積極的な呼びかけ/健康の維持/その活動の全般的な認識を周りがある事/参加したいと思えるような余裕のある職場の労働環境/何のために協働が必要なのか、目的感の共有。なんとなく集まるのでは、ストレスとなる/楽しさ/参加しやすい環境/団体内の風通しのよさ

【市民活動や協働でのまちづくりに参加しやすくなるために必要なこと】



	参加する時間の確保	活動情報	ボランティア等の活動情報	機材や活動資金の確保	活動を必要とする人や施設の情報	活動を必要とする人や施設の情報	助言	市民活動に関する専門家の信用づくり	市民活動の社会的な信用づくり	活動を一時的に体験できる場や参加する機会の確保	活動のための事務所や会場場所の確保	技術、知識、資格を習得するための研修	活動中の事故への補償制度	一緒に活動する仲間の確保	市民活動への職場等の理解	ネットワークづくり	活動団体同士の情報共有	その他	特にない	無回答	
全体(n=1,240)	38.7	12.2	7.9	27.0	4.8	5.5	22.7	2.9	10.6	6.5	26.7	5.3	6.9	1.9	14.3	7.1					
性別																					
男性(n=564)	39.9	12.8	12.2	26.4	5.0	7.1	21.8	2.8	11.5	9.0	23.8	6.2	7.4	1.2	14.4	5.9					
女性(n=651)	37.5	11.7	4.0	27.5	4.3	4.0	23.7	2.8	9.8	4.5	30.0	4.9	6.5	2.0	14.1	8.4					
年齢																					
30歳未満(n=66)	53.0	10.6	9.1	22.7	1.5	4.5	21.2	1.5	16.7	1.5	19.7	6.1	6.1		7.6	12.1					
30歳代(n=79)	36.7	5.1	7.6	15.2	7.6	2.5	20.3	1.8	11.4	2.5	29.1	6.3	7.6	3.8	12.7	10.1					
40歳代(n=125)	56.0	12.8	12.0	22.4	4.0	1.6	20.8	0.8	12.0	4.0	25.6	9.6	5.6	4.0	12.8	4.8					
50歳代(n=207)	54.6	14.5	3.9	25.6	2.9	4.3	21.7	1.0	10.6	6.3	26.1	9.2	7.2	1.4	12.1	1.9					
60歳代(n=296)	35.8	12.5	11.5	35.8	5.7	5.4	27.4	2.7	10.8	8.4	26.0	5.1	8.1	1.0	12.5	5.7					
70歳代以上(n=439)	26.4	12.1	5.7	26.0	5.0	7.7	22.3	4.8	9.6	7.3	28.5	1.8	6.6	1.6	17.8	10.0					
居住地区																					
美祢地域(n=756)	39.8	10.7	7.1	26.6	5.2	5.7	22.8	2.9	11.0	6.6	26.5	6.5	6.9	2.1	14.4	6.7					
美東地域(n=237)	40.9	16.0	9.3	24.9	5.9	2.5	22.8	2.1	11.4	5.5	25.3	8.1	5.5	1.3	13.1	8.9					
秋芳地域(n=232)	34.5	12.5	8.6	30.6	1.7	7.8	23.3	8.4	8.6	7.3	29.3	8.9	8.6	0.9	14.2	6.9					

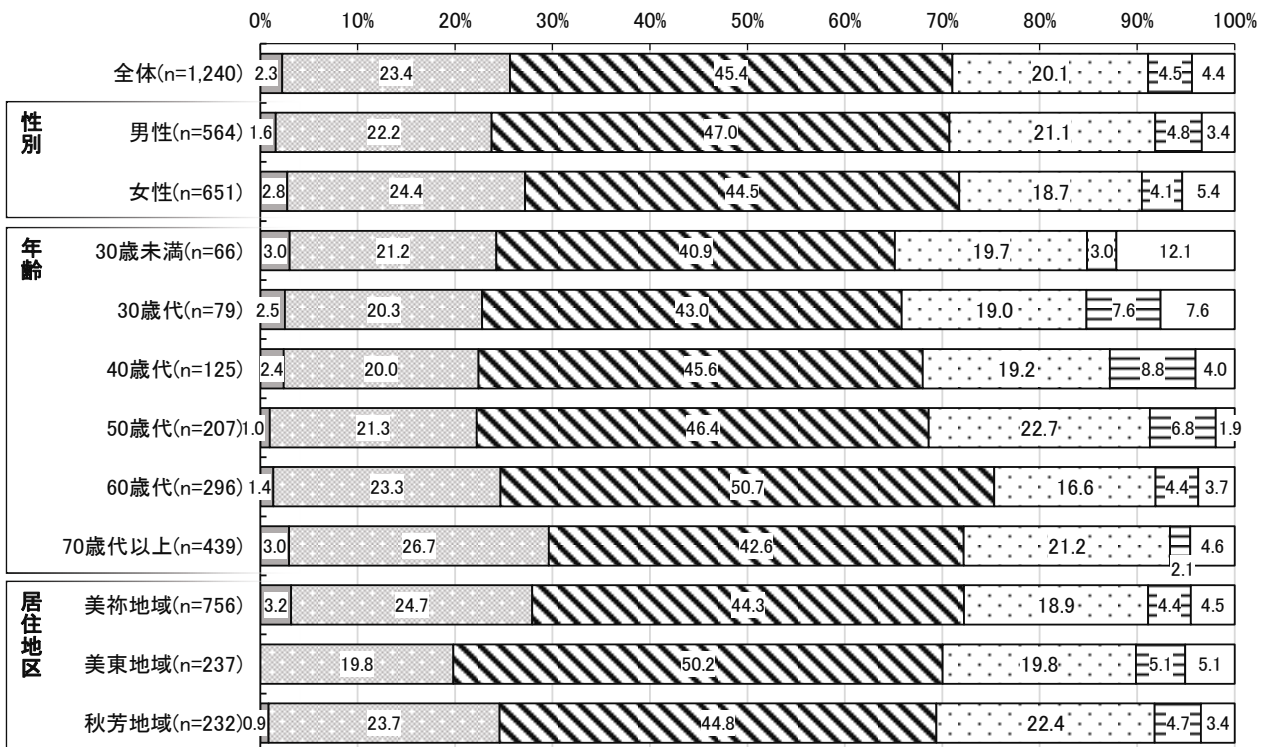
19 市民の意見の反映

問19 現在の市政は、市民の意見をまちづくりに反映していると思いますか？(1つに〇)

現在の市政は、市民の意見をまちづくりに反映していると思うかについては、「どちらともいえない」が45.4%と最も高く、次いで「まあまあ反映している」(23.4%)、「あまり反映していない」(20.1%)、「よく反映している」(2.3%)の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、あまり大きな差はありませんでした。年齢で比較すると、「どちらともいえない」では、60歳代が50.7%で他の年代に比べて割合がやや高くなっています。居住地区で比較すると、「どちらともいえない」では、美東地域が50.2%で他の地区に比べて割合がやや高くなっています。

【市政が市民の意見をまちづくりに反映しているか】



■ よく反映している ■ まあまあ反映している ■ どちらともいえない □ あまり反映していない □ まったく反映していない □ 無回答

20 市民の意見の反映のために力を入れるべきこと

問20 市民の意見をもっと市政に反映するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか？(〇は2つまで)

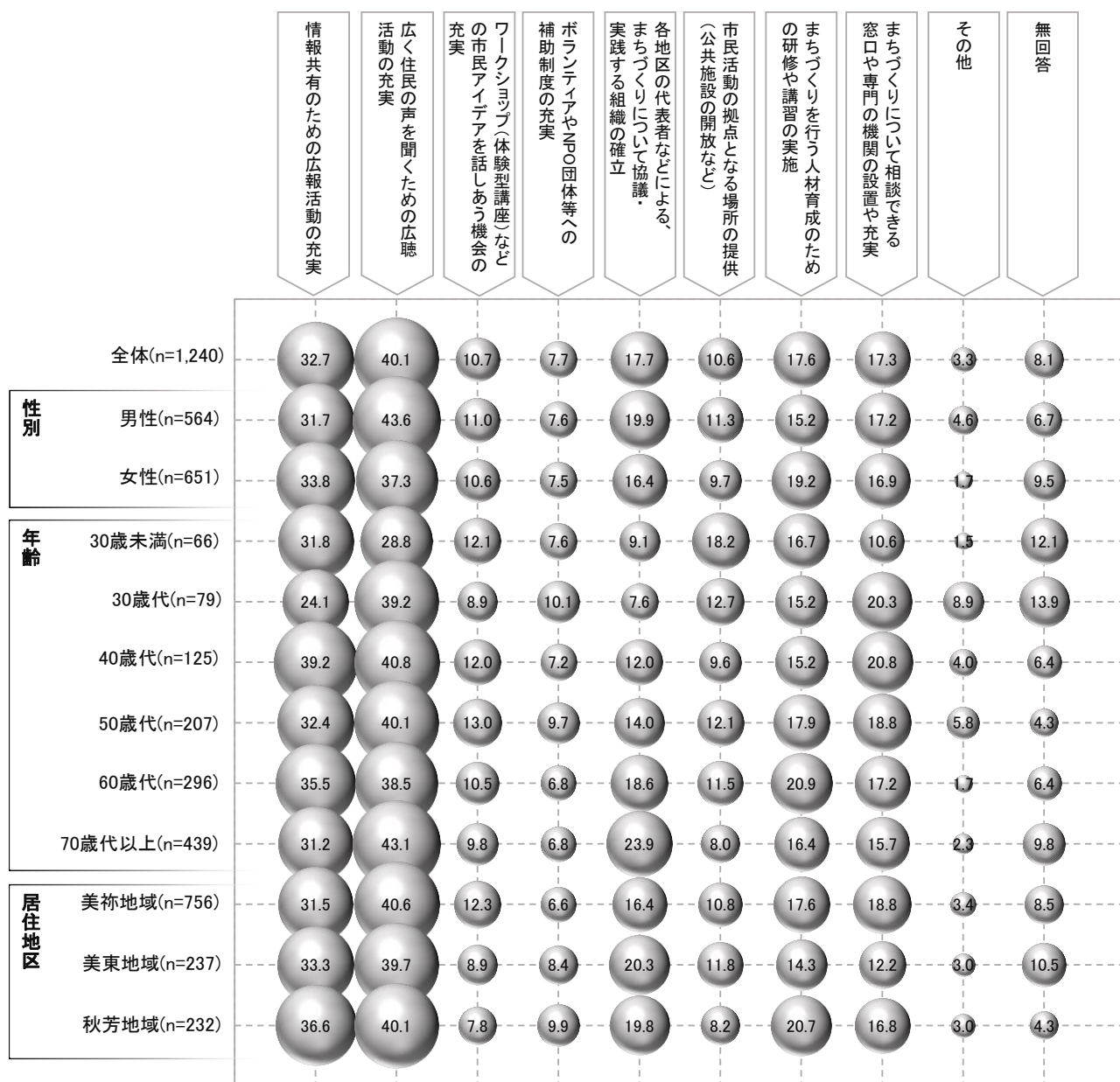
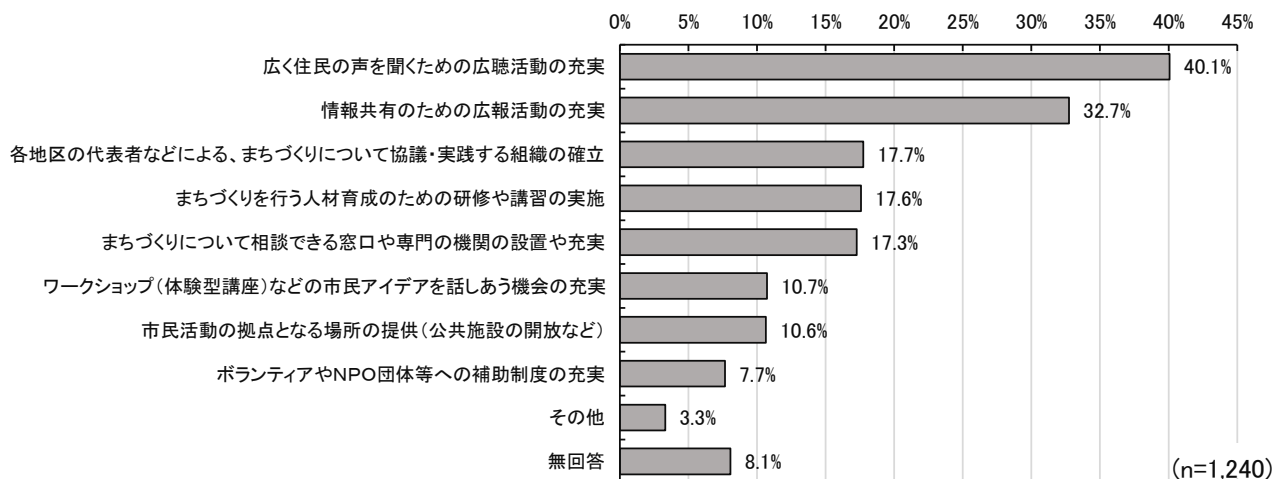
市民の意見をもっと反映させるために、力を入れるべきことについては、「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」が40.1%と最も高く、次いで「情報共有のための広報活動の充実」(32.7%)、「各地区の代表者などによる、まちづくりについて協議・実践する組織の確立」(17.7%)、「まちづくりを行う人材育成のための研修や講習の実施」(17.6%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「広く住民の声を聞くための広聴活動の充実」では、男性が43.6%で女性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「情報共有のための広報活動の充実」では、30歳代が24.1%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区で比較すると、「まちづくりについて相談できる窓口や専門の機関の設置や充実」では、美東地域が12.2%で他の地区に比べて割合がやや低くなっています。

[その他]

役場の人水戸黄門のような心で、市民生活をよく見ることではないだろうか/気軽に意見が言えるように投書箱(無記名)を役所に設置する/情報の公開/意見をネットで投稿できる様にする、そして見られる様にする/少子高齢化が進んでいる他市の意見や専門家の意見/どんな意見にも深掘りして取り組みれば何かが変わる筈。馬鹿にしすぎ!!/若い人の意見を積極的に反映させる/世代別の会合・ニーズ探し・内容の吟味・検討/市議会の議員の方々が、市民の声にしっかり目を向け、要望等を市に伝えていく/デジタル化による意見の吸い上げ(メール、ラインの活用)/どの未来を選択するのか?そこからの問題/市職員の情報収集力の育成、拡大など/今あるシステム・制度を着実に(よりよいねいに)運用すること←目先の改革よりも/中高生の若い世代を巻き込んでいけると良い。アイデアを実現してみることができるよう、予算も確保してあげられないか/ネット、メディアへの情報発信と、まず、興味をもたれる内容をつくる/役所に出向いた人の相談にもっと本気で解決に向うべきである/Webによる意見/地区長さんの意見を聞く場を作って下さい。一番地区ごとの事がわかるので。民生委員さんも/市民・住民の声を聞き反映する部署を設けその声に応えること、亦、不当や不適切な言動を為す者に対して毅然と対応し、対処すること/市民の意見の見える化(良い事も悪い事もオープンに)/市民がどんな意見をもってるか全く分からない/意見が必要な若者の増加・そのための働く場所の確保。このままでは高齢化、人口減がすすみ他市との合併を考えなくてはならなくなる。市職員の若者による美祢市の未来を継続協議し、人口が増加となるよう施策を考えてほしい。(若者が住める市に)住みたい市となるよう!!/市政のレベルアップ/形式ばらずに雑談の中から意見をひろいあげてくれる、ミステリーショッパーのような存在。/市民が意見するのではなく、市民が動いて市政がカバーするのが理想、どうせ市政側は人事移動するので前に進まない/聴いた意見を庁内でどのように進めていくのか?聴くだけではしょうがないし、縦割り連携を取って進めることが難しいのでは?/わからない/市長が明石市の元市長、泉さんと福岡市の高島市長に会いに行けば、わかると思う/企業誘致/まずは市民を増やすところから/こういう形のアンケート

【市民の意見をもっと反映させるために、力を入れるべきこと】



21 市政に関する情報の入手方法

問21 市からのお知らせなど、市政に関する情報をどのような方法で入手していますか？(〇は3つまで)

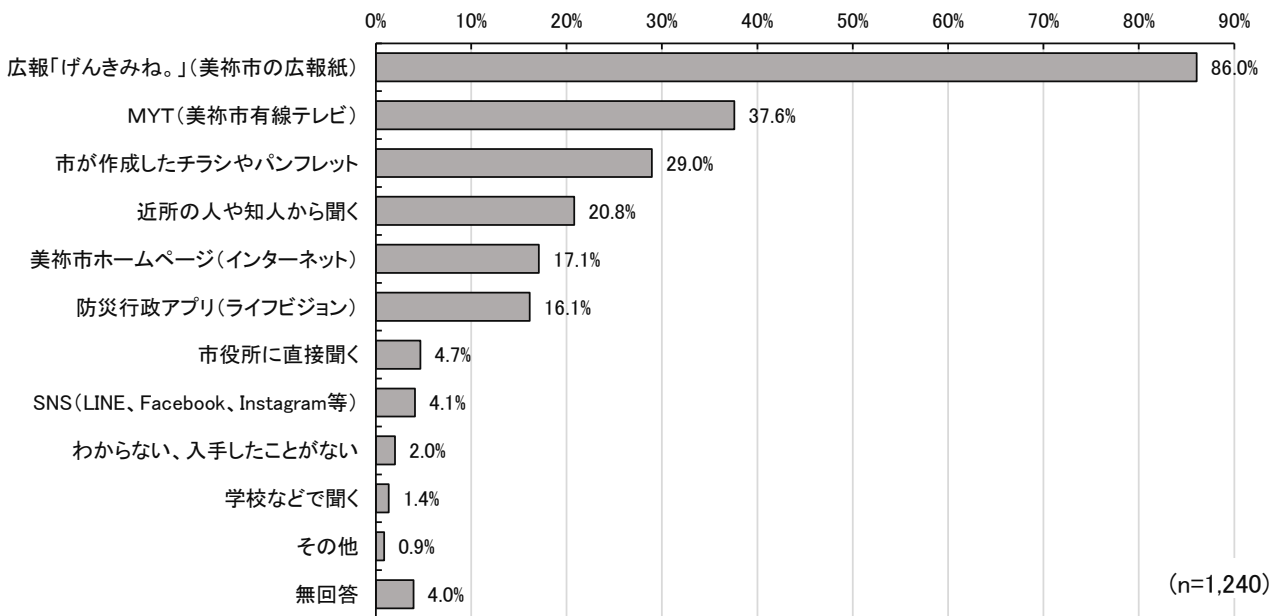
市政に関する情報の入手方法については、「広報「げんきみね。」(美祢市の広報紙)」が86.0%と最も高く、次いで「MYT(美祢市有線テレビ)」(37.6%)、「市が作成したチラシやパンフレット」(29.0%)、「近所の人や知人から聞く」(20.8%)等の順となっています。

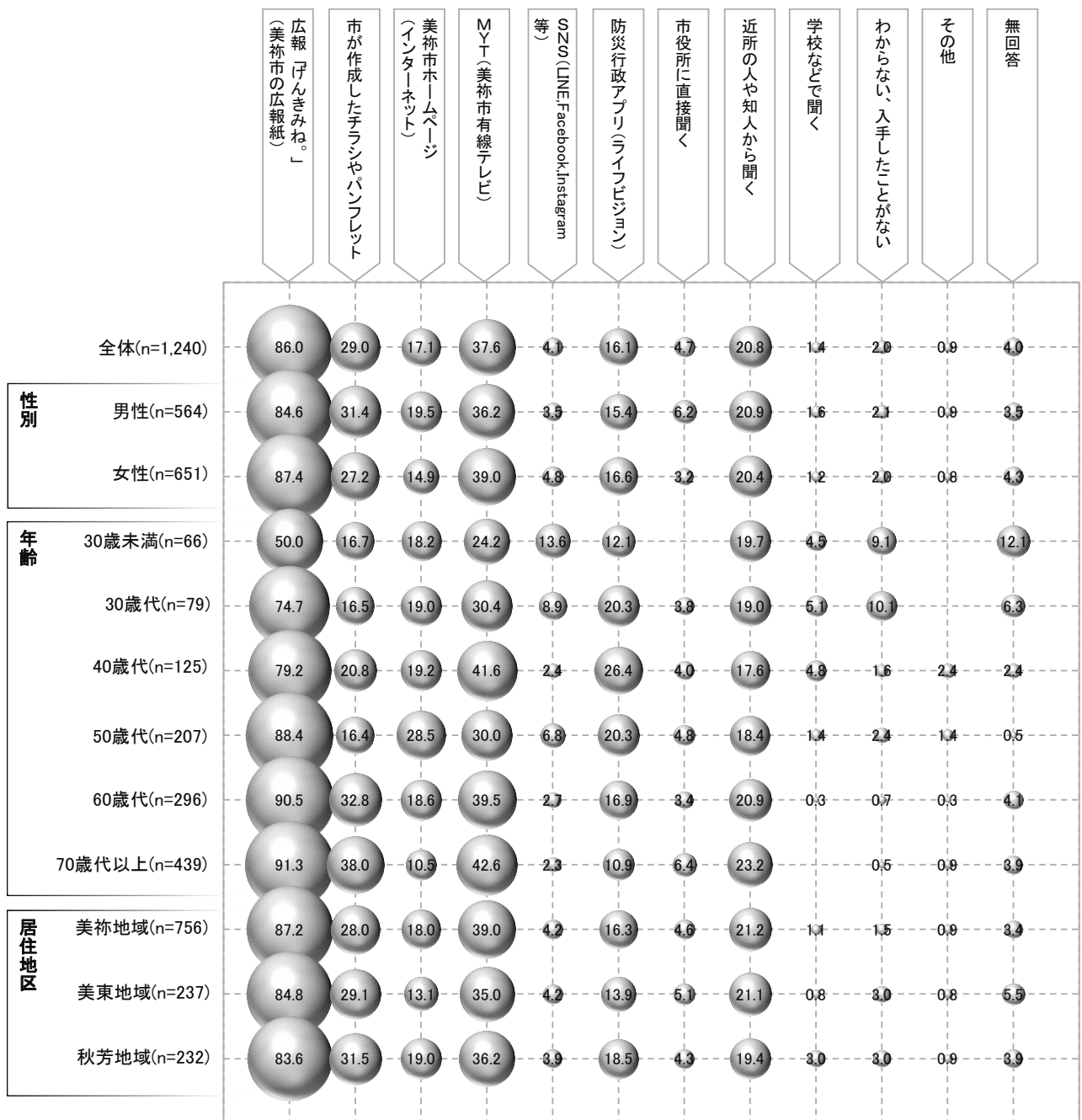
属性別にみると、性別、居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。年齢で比較すると、「広報「げんきみね。」(美祢市の広報紙)」では、30歳未満が50.0%で他の年代に比べて割合が低く、年齢が高くなるにつれ、割合が高くなっています。

[その他]

月、集会/今は入手していない/支所に聞く/家族/議員さんのチラシは解りやすい/有職者からの意見

【市政に関する情報の入手先】





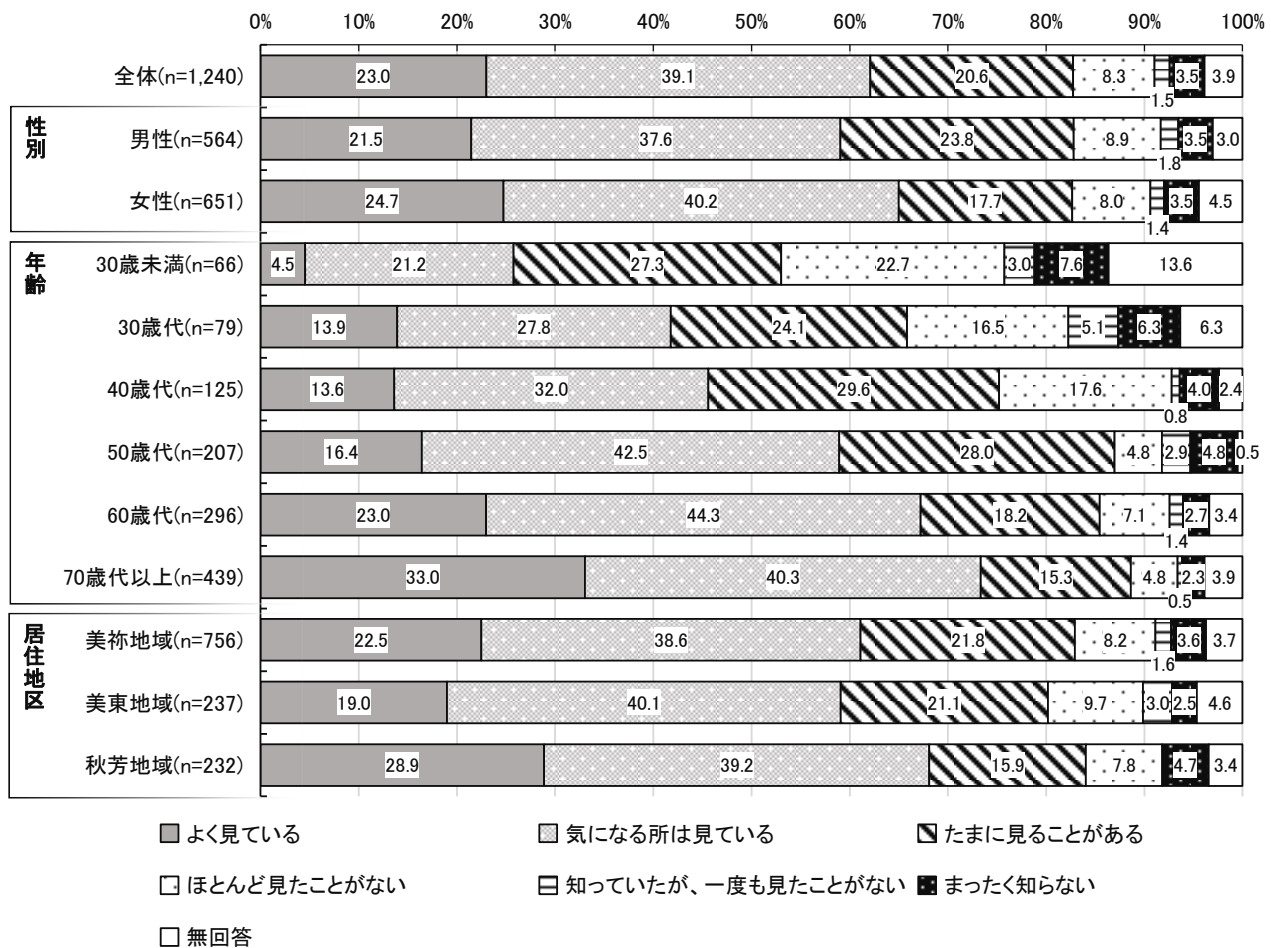
22 広報紙やホームページなどの活用程度

問22 美祢市から情報発信（広報紙やホームページなど）を行っていますか、どの程度活用していますか？（1つに○）

美祢市からの情報をどの程度活用しているかについては、「気になる所は見ている」が39.1%と最も高く、次いで「よく見ている」（23.0%）、「たまに見ることがある」（20.6%）、「ほとんど見たことがない」（8.3%）、「まったく知らない」（3.5%）、「知っていたが、一度も見たことがない」（1.5%）の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「たまに見ることがある」では、男性が23.8%で女性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「よく見ている」では、30歳未満が4.5%で他の年代に比べて割合が低く、年齢が高くなるにつれ、割合が高くなっています。居住地区で比較すると、「よく見ている」では、秋芳地域が28.9%で他の地区に比べて割合がやや高くなっています。

【美祢市からの情報の活用頻度】



23 入手したい情報の分野

問23 市政に関する情報で、入手したい情報の分野は何ですか？(〇は3つまで)

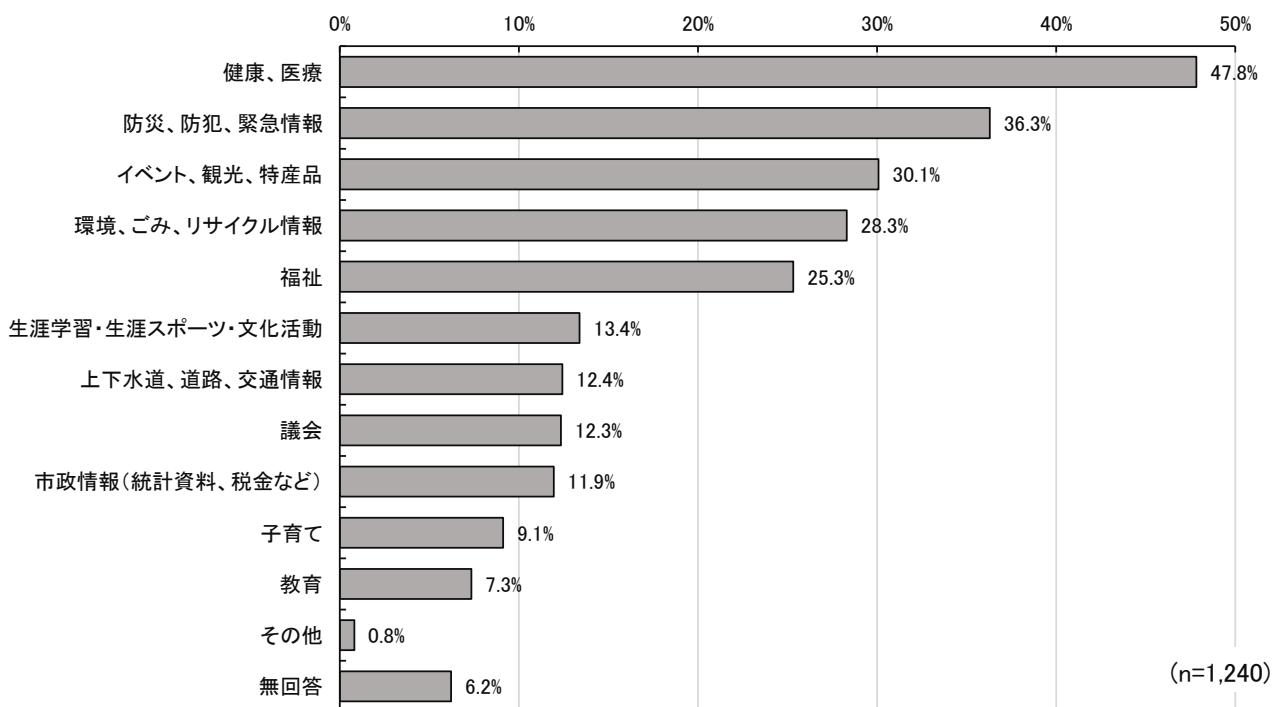
市政に関する情報で、入手したい情報の分野については、「健康・医療」が47.8%と最も高く、次いで「防災、防犯、緊急情報」(36.3%)、「イベント、観光、特産品」(30.1%)、「環境、ごみ、リサイクル情報」(28.3%)等の順となっています。

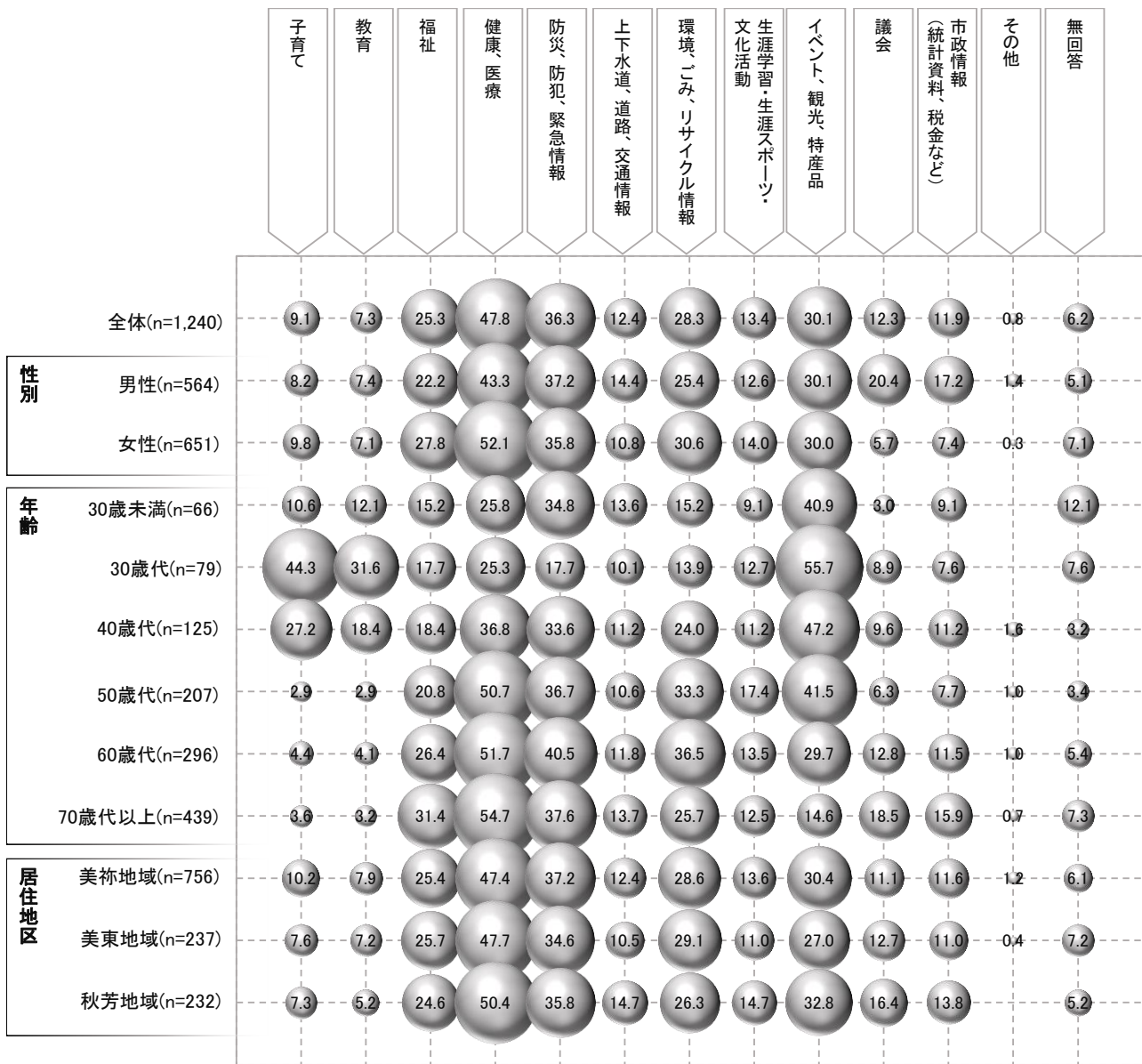
属性別にみると、性別で比較すると、「健康、医療」では、女性が52.1%で男性よりも割合が高くなっています。年齢で比較すると、「子育て」では、30歳代が44.3%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。

[その他]

現在の広報活動で十分では、他に発信できる情報はあるの!/すべて/今はない/議会開催時の公聴を市民に対し積極的に行なうこと/空き家バンク情報/就職、空き家、助成金、減税優遇措置、イベント情報に関しては、民間が行うイベントも情報として、市のホームページに載せるべき

【入手したい情報の分野】





24 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の利用

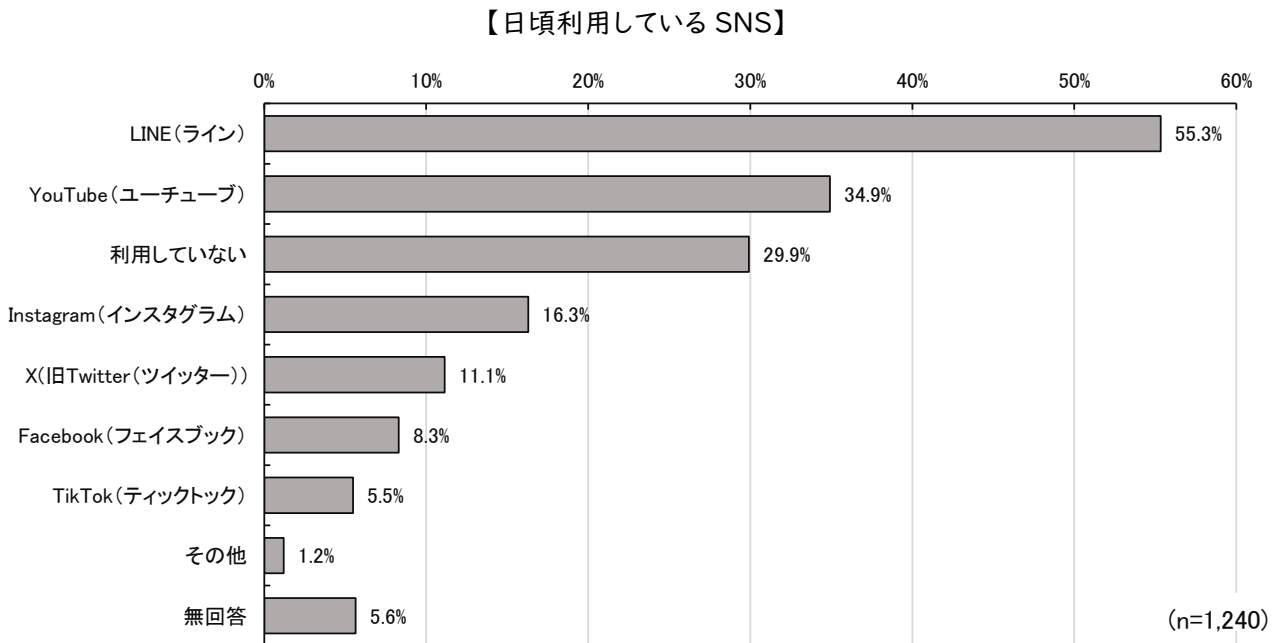
問24 日頃、主にどの SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を利用していますか? (該当するものすべてに○)

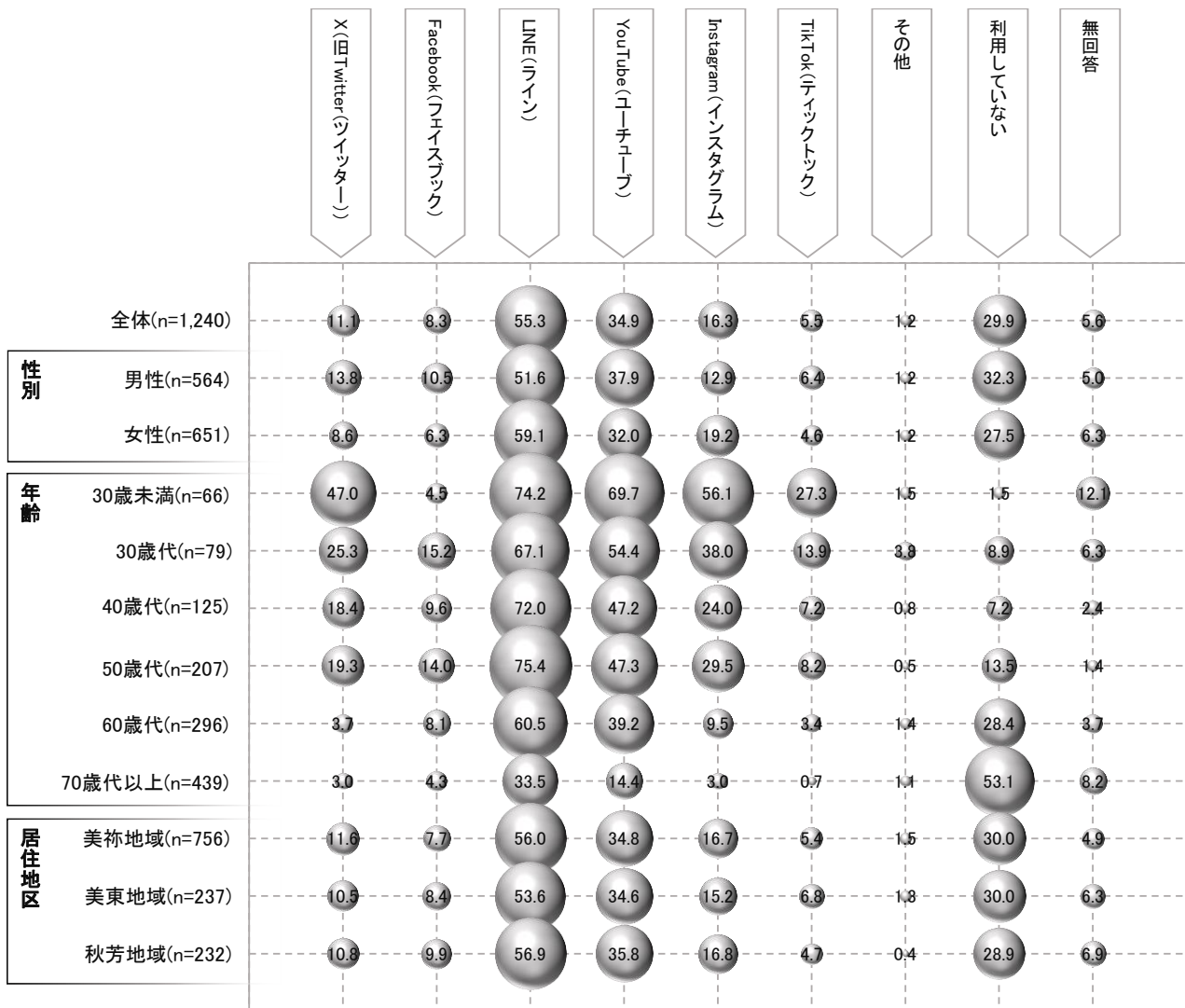
日頃利用している SNS については、「LINE (ライン)」が55.3%と最も高く、次いで「YouTube (ユーチューブ)」(34.9%)、「利用していない」(29.9%)、「Instagram (インスタグラム)」(16.3%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「LINE (ライン)」では、女性が59.1%で男性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「利用していない」では、70歳代以上が53.1%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。

[その他]

見たくない/ブログ/Bing/何の事か訳らない/friendtech/主要先進国の有職者に依る情報/ニュースアプリ





25 デジタル化の取組で期待すること

問25 市が行うデジタル化の取組で期待することを教えてください。(〇は3つまで)

デジタル化の取組で期待することについては、「市役所へ行かなくても申請や届出などの手続きができる」が52.7%と最も高く、次いで「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」(27.3%)、「市からのお知らせがスマートフォン等で簡単に分かりやすく入手できる」(26.6%)、「誰もがスマートフォン等を使えるように講習会や教室等を開催する」(19.3%)等の順となっています。

属性別にみると、性別で比較すると、「AIなどを活用して市の業務を効率化し、住民サービスを向上させる」では、男性が15.8%で女性よりも割合がやや高くなっています。年齢で比較すると、「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」では、60歳代が36.5%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、あまり大きな差はありませんでした。

[その他]

デジタル化は恐怖である/そもそもデジタルについて行ける年寄りがどのくらいいるのか?/スマートフォンを持っていないので情報を分かりやすくしてほしい/デジタル化も結構ですが対面をお願いしたい者が居ることを忘れないで欲しいです/通信、人権費の節約/デジタル化の取組により高齢者が利用出来る?/LINE、等中華製APは危険性が指摘されている。排除すべき/わからない/市のHPの適切な更新、更新が遅すぎる/インターネットも何もわからないし、又、ありません!/スマートフォンを持っていないし持つ気もない/移動車を利用した、説明会など。(高齢、移動手段がない方へ)/デジタル化もいいのですが、高齢者の方など、インターネットの環境が整ってない方はどのように今後対応されるのか?/市役所へ行かなくても申請や届出の手続きがだれでも『とても簡単に』出来る/5Gになること/インターネットスマホ取扱い出来ない/老人が多いのにデジタル化しても使えない/新しいものにはうとくて全然わからないので困りますね(2人共スマートフォンも持っていません)/高齢のため操作が出来ない/広報活動の活性化/アナログ世代で、ついて行けない/ホームページで知りたい情報をすぐに入手できる。現状は非常に入手しづらい/ラインはすべて韓国に情報が閲覧出来るようになっている(確認済み)ので、ラインを使うのはやめて頂きたい/便利と不便があるでしょう!/ネット回線の向上/お年寄りの多い町でのデジタル化は難しい気がします/まったく期待しない/スマートフォン等を持たない高齢者を取り残さないようお願い申し上げます

【デジタル化の取組で期待すること】

